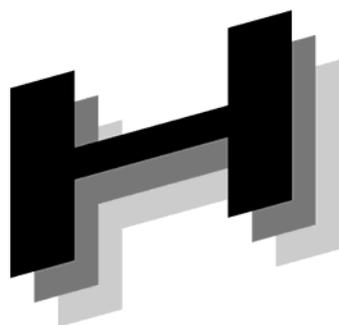




Japanese



Association of



Healthcare



Information



Systems Industry

医療情報交換仕様

J A H I S  
処方データ交換規約  
Ver. 2.0

平成 20 年 3 月

保健医療福祉情報システム工業会  
メッセージ交換委員会

# JAHIS 処方データ交換規約 Ver. 2.0

## まえがき

従来よりHIS(病院情報システム)と病院内部システム間のデータ交換において、メーカー間での統一はもとより、同一メーカーにおいても導入ユーザによってその仕様が異なり、接続するには多くの手間と時間を要していた。また、地域連携や病診連携等で病院内外でのデータ交換の必要性が求められる中、処方データ交換規約の策定が重要な課題となってきた。そこで、保健医療福祉情報システム工業会(JAHIS)では、そうした状況を踏まえ、広く処方データの交換に活用できる規約をめざし検討を行った。

既に、2001年9月に「処方データ交換規約 Ver.1.0」、2003年2月には、HL7 Ver.2.4に準拠した「処方データ交換規約 Ver.1.1」を発行しているが、本書では、HL7 Ver.2.5に対応したメッセージの見直しを行い、使用するメッセージタイプの変更を行っている。また、MERIT-9をはじめとする関係規約との調整、別途JAHISから発行されている「臨床検査データ交換規約」や「放射線データ交換規約」との共通部分の整合性、さらに経済産業省「医療情報システムにおける相互運用性の実証事業」の成果を考慮し、とりまとめたものである。

本規約に基づくインタフェースが多くのシステムに実装され、処方データ交換標準化に貢献できれば幸いである。

2008年3月

保健医療福祉情報システム工業会  
メッセージ交換委員会

### << 告知事項 >>

本規約は関連団体の所属の有無に関わらず、規約の引用を明示することで自由に使用することができるものとします。ただし一部の改変を伴う場合は個々の責任において行い本規約に準拠する旨を表現することは厳禁するものとします。

本規約ならびに本規約に基づいたシステムの導入・運用についてのあらゆる障害や損害について、本規約作成者は何らの責任を負わないものとします。ただし、関連団体所属の正規の資格者は本規約についての疑義を作成者に申し入れることができ、作成者はこれに誠意をもって協議するものとします。

Copyright©2007 日本HL7協会  
Copyright©2007 日本医療情報学会MERIT-9研究会  
Copyright©2007 保健医療福祉情報システム工業会

## 目 次

1. はじめに .....	1
2. HL7 概要 .....	2
3. 主な用語 .....	3
4. 処方データ交換規約の対象範囲 .....	4
5. 関連情報詳細 .....	5
5.1 HL7 メッセージについて .....	5
5.2 フィールドについて .....	5
5.2.1 (セグメント内の)位置 .....	5
5.2.2 最大長 .....	5
5.2.3 データタイプ (データ型) .....	6
5.2.4 オプション指定 .....	6
5.2.5 反復 .....	6
5.2.6 テーブル .....	7
5.2.7 ID 番号 .....	7
5.2.8 名称 .....	8
5.3 Message Delimiters メッセージ区切り文字 .....	9
5.4 Data types データ型 .....	11
5.5 HL7 定義以外のテーブル .....	23
6. 処方指示メッセージ構文 .....	24
6.1 処方依頼情報通知(RDE/RRE) .....	24
6.2 患者情報照会(QBP/RSP) .....	26
6.3 処方依頼情報照会(QBP/RSP) .....	27
7. 関連セグメント詳細 .....	28
7.1 MSH - Message Header Segment メッセージヘッダセグメント .....	28
7.2 MSA - Message Acknowledgment Segment メッセージ肯定応答セグメント .....	33
7.3 ERR - Error Segment エラーセグメント .....	35
7.4 QPD - Query Parameter Definition Segment 照会パラメータセグメント .....	40
7.5 QAK - Query Acknowledgment Segment 照会認知セグメント .....	42
7.6 PID - Patient Identification Segment 患者識別セグメント .....	44
7.7 PV1 - Patient Visit Segment 来院情報セグメント .....	51
7.8 AL1 - Patient Allergy Information Segment 患者アレルギー情報 .....	58
7.9 ORC - Order Common Segment 共通オーダーセグメント .....	60
7.10 RXE - Pharmacy/Treatment Encoded Order Segment 薬剤/処置 コード化したオーダーセグメント .....	75
7.11 TQ1 - Timing/Quantity Segment タイミング/数量セグメント .....	87
7.12 RXR - Pharmacy/treatment route segment 投薬経路セグメント .....	95
7.13 RCP - Response Control Parameter Segment 応答コントロールパラメータセグメント .....	102
付録 メッセージ使用例 .....	105

# 1. はじめに

本規約の検討は、国内の処方データ交換事例から、共通部分および使用頻度の高い項目を抽出し、標準のデータ項目をまとめることから始めた。

1998年7月に日本HL7協会が設立され、日本国内でもHL7によるデータ交換標準化の機運が高まり、本規約も将来的に広く使われる規約をめざすためと、処方以外のデータ交換との整合性を考慮し、HL7準拠で検討を進めている。

本規約の検討にあたっては、国内の接続事例から抽出したデータ項目とHL7のメッセージの対応づけを行い、使用するフィールドを明確にした。なお、処方依頼情報通知においては、V1.1まではOMPメッセージを使用していたが、今回見直しを行い、RDEメッセージを使用することにした。これまでは、RXOセグメントを使用して薬剤を表現していたが、米国では、このセグメントを医師から薬剤師や看護師への処方指示のために使用しており、具体的な薬剤を指示しないオーダーが出せるようになっている。これはわが国とは違って米国では実際の処方指示を薬剤師や看護師が行える背景にあるからだが、実際に処方箋として使われるセグメントにはRXEを用いており、また、RXEセグメントを使用した方が処方箋として使いやすいことことから、RXEセグメントを採用することにした。患者・処方依頼情報照会においては、QBP/RSPメッセージを使用する。

規約の策定にあたっては、HL7 Ver.2.5 日本語版より処方関連部分を取りまとめ、不足する項目および日本の実情に合わないテーブルについては、追加・差し替えを行い、解釈が曖昧になりやすい部分については、処方データに限定した注釈を加えている。また、メッセージ使用例については、日本の処方例をもとにメッセージ例を作成し、付録として追加した。このJAHIS標準が活用され、HL7の普及が促進されることを期待する。本規約の策定にあたって、ご指導ご鞭撻を賜った諸先生方と関係団体の皆様には、心から感謝する。

## 2. HL7概要

### (HL7とは)

ヘルスケア関連情報の電子的データ交換のための応用規約であり、また、規約の制定団体の名称でもある。異なるベンダの異なるシステム間のインタフェースとなる標準的書式である。本規約はOSI手順の第7層であるアプリケーション層に由来してHL7と名付けられたものであり、物理的規約は制定していない。

### (なぜ標準化なのか)

基本的目的は増大する医療費の削減と医療の質の向上である。それは医療費の効率化のためコスト計算を明らかにするとともにヘルスケア品質の計測化による質の向上を目指すものである。

1960年代は単独処理で他との接続は必要なかったが、1970-85年にかけて部門システムとの接続が始まり、1985年以降様々なシステム間で接続が要望され、インタフェース標準化の必要性が増大している。病院単独から病院の統廃合も手伝ってヘルスケア共同体が拡大し、今日のヘルスケアは病院を中心に事務所、製造業、販社、支払者、診療所、政府機関が一体となった情報連携が必要で、かつ患者を取り巻くすべての部門とのトランザクションが通信で出来ることが必要となってきた。

技術の進歩、通信環境の進歩、場所の多様化、システムの巨大化が背景となり標準化されたデータ交換が可能であり不可欠となっている。

### (HL7の歴史)

1987年3月ペンシルバニア大学病院にて初会合、3-4ヶ月かけV1.0のドラフトができた。V1.0は1987年10月に発表され全体的なインタフェースと入院、オーダー、オーダー照会がふくまれる。患者会計の重要性が認識されていたが時間的制約で含まれなかった。以後1988年9月にV2.0、1990年にV2.1が発表された。1991年にはANSIのメンバとなり、1992年にはANSI HISPP(Healthcare Informatics Standards Planning Panel)の起草メンバとなった。1994年にはANSIに認知された標準化組織となった。1994年末V2.2を発表し、最新版は2001年のV2.5で、ISO規格にも採用された。さらに、2005年の時点でV2.6も一部承認されており、またオブジェクト指向のV3.0も部分的に承認されている。2006年にはRIM(Reference Information Model)がISO/DISになっている。

### (HL7の組織)

HL7は会員制の組織であり会員は意見を反映させることができる。即ちHL7の情報源は会員の意見である。HL7の使用は会員であることを問わないが、HL7からのタイムリーな情報提供はない。理事会と作業グループがあり会員が参加できるし、作業グループに参加してなくても案に対して意見を述べることができる。また医療提供者顧問と工業会顧問のアドバイスを受ける。会員には、医療機関、コンピュータ会社、医療関連会社、コンサルタント会社などがある。また米国以外の国々の会員もいる。会員数は増加しており現在1500を超える会員数である。国際支部も既に30ヵ国以上になり各国での利用が進んできた。

### (HL7プロトコル概要)

HL7はOSI第7層(アプリケーション層)での規約であり、データの型や要素、要素の構成やグループ、コードや用語、機密保持、管理規約などが定義される。HL7の包含する対象はV2.1では入院、患者基本情報、オーダー、検査報告、財務的处理、照会などである、さらにV2.2では、マスタファイル更新、V2.3では、文書管理、予約、患者紹介、患者看護、V2.4、V2.5では自動検査、人事管理、保険請求、材料管理などが追加された。

HL7の基本的体系は、メッセージタイプID付電文で構成され、複数セグメントで論理的意味をなすメッセージとなる。メッセージ(例えば入院)は、具体的なきっかけとなる事象(例えば患者入院)により、データ構成要素(例えば患者名)からなるセグメント(例えば患者属性)の集合として構成される。メッセージ交換は会話的にもバッチ処理的にも行われるものである。

### (他の標準化組織との関連)

ASTM E1238検査システム間データ交換をもとに検査関連をまとめているので互換性がある。HL7を含めた標準化団体の調和を図るためANSIでは、HISPP(現HISB)部門を設置し、NCPDP(薬剤情報)、ACR/NEMA(画像DICOM)、IEEE MEDIX(医療情報記述交換)、ASTM(検査関連臨床情報交換)、ASC X12(会計保険情報の電子データ交換)と協調している。また国際的にもCEN-TC251(European Committee for Standardization Technical Committee 251)などと連絡を取り合っている。これら協調は重複の縮小、標準化のスピードアップ、コスト低減、国際関係の促進、政府によらない開発、販売者の共同作業の促進などのため必要なことである。さらにISO/TC215(Health Informatics)とHL7はPilot ProjectとしてHL7規格をISO規格にすることが決定されている。

### (日本HL7協会他国内の標準化組織との関連)

日本HL7協会が1998年7月に設立された。これを受け、JAHISでもHL7標準化規約の日本国内における普及を日本HL7協会と協力し、進めている。

### 3. 主な用語

**トリガーイベントTrigger Event** : メッセージの交換を始めるきっかけとなる事象をトリガーイベントという。HL7は、実際のヘルスケア現場でのシステム間データ通信の必要性に応じた事象を受けて書かれている。例えば、「患者が入院」というトリガーイベントは、その患者についての情報を幾つかの他のシステムに伝送する必要性を引き起こすであろう。それらメッセージ型とトリガーイベントコードは一对多の関係である。

**メッセージMessage** : 1つのメッセージは、システム間で転送されるデータの意味のある最小単位である。これは定義された順序のセグメントの集合からなる。各々のメッセージはその目的を定義するメッセージタイプを持つ。例えば、ADT(入退転)メッセージタイプはあるシステムから別なシステムに患者の入退転データの一部を伝送するために使用される。各々のメッセージに含まれる3文字のコードがそのタイプを識別する。

**セグメントSegment(record)** : セグメントはメッセージの1つの側面について記述するもので、データ要素(フィールド)の論理的集合体である。各々のセグメントはセグメントIDと呼ばれる3文字のコードで識別される。メッセージ中のセグメントは必要なものと任意のものとのある。それらはメッセージ中一回だけ出現する場合と繰り返しが許される場合とある。たとえば、単一のオーダー関連情報はOBRセグメントとして送られ、検査関連情報は別のOBXセグメントとして送られることがある。

**フィールドField** : 診断名などといったセグメント中の一つの意味付けされた属性であり、フィールドには基本属性をさらに詳細に記したデータ成分の集合を含むことがある。

**フィールド成分Field components** : フィールドへの入力要素として、成分という識別可能な部分を含むことがある。たとえば患者名は、姓、名、ミドルネーム(イニシャル)として記録されるが、それぞれの要素は別個のエンティティであり、成分区切り文字により分離される。成分はさらに副成分で構成される場合もある。

**メッセージ区切り文字Message Delimiters** : メッセージを構成するにあたっては、定義された文字が使用される。それらは、セグメントターミネータ、フィールドセパレータ、成分セパレータ、副成分セパレータ、反復セパレータ、そしてエスケープ文字である。

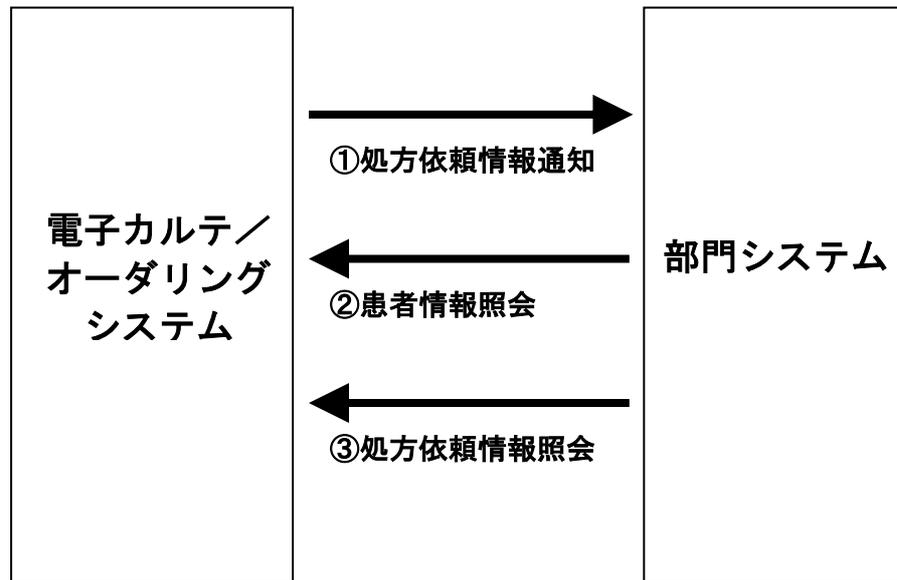
**依頼者Placer(Requestor)** : 処方依頼する人のことである。処方指示を出す医師が該当する。

**実施者Filler(Producer)** : 依頼された処方を実施する(オーダーに応える)人または部門のことである。調剤を行う薬剤師および、入院患者の服薬を支援する看護提供者が該当する。

**病院情報システム HIS (Hospital Information System)** : ADT(入院、退院、転院)機能など、通常、検査室の外部の機能をサポートするデータ管理システム。

## 4. 処方データ交換規約の対象範囲

処方データ交換規約は下図「システム間情報伝達イメージ」の範囲を対象とする。また、取り扱うメッセージタイプ及びトリガーイベントを表「メッセージとトリガーイベント」に示す。



システム間情報伝達イメージ

### メッセージとトリガーイベント

メッセージ定義	メッセージタイプ	HIS⇄薬剤	トリガーイベント	イベントタイプ
① 処方依頼情報通知	RDE/RRE	RDE→ ←RRE	処方オーダーメッセージ	O11/O12
② 患者情報照会	QBP/RSP	←QBP RSP→	患者問合せ	
③ 処方依頼情報照会	QBP/RSP	←QBP RSP→	オーダー状態問合せ	

#### メッセージの概要

- ① 処方指示 (RDE/RRE)  
処方オーダー情報をRDEメッセージで通知する。それに対する応答をRREメッセージで返す。
- ② 患者情報照会 (QBP/RSP)  
患者情報をQBPメッセージで問合せ。それに対する応答をRSPメッセージで返す。
- ③ オーダー状況照会 (QBP/RSP)  
オーダーの状況をQBPメッセージで問合せ。それに対する応答をRSPメッセージで返す。

## 5. 関連情報詳細

### 5.1 HL7メッセージについて

メッセージ(例えば処方指示)は具体的な事象トリガーイベント(例えば処方オーダー)により発生し、メッセージヘッダーセグメント(MSH)で始まり、データ構成要素フィールド(例えば患者名)からなるデータをもったセグメント(例えば患者属性)の集合として構成される。これらはコード化規則による区切文字で区切られた可読的な可変長メッセージであり、下記のように構成される。

メッセージ :                   MSH セグメント <CR>  
                                  xxx セグメント <CR>  
                                  yyy セグメント <CR>  
                                  zzz セグメント <CR>

セグメント :   セグメントID | フィールド1 | フィールド2 | フィールド3 | … <CR>

フィールド :   エレメント1 ^ エレメント2 ^ エレメント3 ^ …

### 5.2 フィールドについて

フィールドは文字列である。

システムが実際にアプリケーション内でどのようにデータを保管するかについて、HL7は関与しない。特に注記しないかぎり、HL7データフィールドはnull値を採ることがある。 null値を送ること、つまり2個の二重引用符 (“”) として送ることと、オプションのデータフィールドを省略することとは異なる。メッセージ内容が新規レコードを作成するためでなくデータベース内のレコードを更新するために使われるとき、その相違は出てくる。値を送信しない(すなわち省略する)場合、古い値はそのままである。 null値を送る場合は、古い値はnull値に変更されるべきである。

本規格のさまざまな章にセグメント属性テーブルが含まれている。これらのテーブルは、そのセグメント内のデータフィールドとその使用上の特徴を一覧・記述している。セグメントを定義する際、以下の情報が各フィールドについて述べられている。:

#### 5.2.1 (セグメント内の)位置

セグメント内のデータフィールドの順序位置。セグメント属性テーブルでは、この情報はSEQというコラムにある。

この番号は、セグメント定義テーブルに続くテキストコメントで示されるデータフィールドの説明を参照するために使われる。

#### 5.2.2 最大長

1つのデータフィールドの1反復が占めることができる文字の最大数。セグメント属性テーブルでは、この情報はLENというコラムにある。

フィールドの長さは標準であるが、施設独自の根拠で変更することができる。後に定義する成分セパレータと副成分セパレータは文字数として計算される。最大長は1つの発生長さなので、反復セパレータは、最大長を計算するときには含めない(章5.2.5 反復を参照)。複合データタイプは最も大きな成分データタイプの最大長より短い最大長を持ってはならない。

最大長が非常に大きな数の意向を伝える必要があるときは、ユーザに警告すべく値65536で表す。この規定は64Kと略記したHL7バージョン 2.4 以前の慣例に代わる。

### 5.2.3 データタイプ (データ型)

データフィールドの内容に対する制限。セグメント属性テーブルでは、この情報はDTというコラムにある。もしフィールドのデータタイプが不定なときは、”varies”が注記される。

HL7によって定義された多くのデータタイプがある。これらについては、5.4 Data types データ型で説明する。

JAHIS仕様の本規約書では「データ型」とも呼んでいる。

### 5.2.4 オプション指定

セグメント内のデータフィールドが、必須なのか、オプションなのかまたは条件付きなのかを示す。セグメント属性テーブルでは、この情報はOPTというコラムにある。

HL7での指定は以下のとおりである。

- R — 必須。
- O — オプション。
- C — トリガーイベントおよびその他のフィールド条件による。  
セグメント属性表に続くフィールド定義(説明)では、このフィールドの条件を定義するアルゴリズムを指定すべきである。
- X — 対象のトリガーイベントでは使用されない。
- B — HL7の前のバージョンへの後方互換性のために残した。セグメント属性テーブルに続くフィールド定義(説明)では、先のバージョンのため選択フィールドであると表示すべきである。

注：バージョン2.3以上のために：各セグメント定義テーブルに続くセグメントフィールド定義中でフィールドの選択性を明示的に文書化するのがよい；セグメント内のフィールドの選択性がトリガーイベントに依存して変わる場合、その選択性も明示的に文書化するのがよい。

注：多数の成分あるいは副成分を含んでいる、HL7データタイプによって定義されたフィールドについては、正式のセグメント属性テーブルに続く詳細なフィールド定義(説明)中で与えられた成分あるいは副成分の選択性を指定しなければならない(さらに「5.3 Message Delimitersメッセージ区切り文字」、「5.4 Data types データ型」を参照すること)。

JAHIS仕様(本規約書)での取り扱いは以下のとおりである。(R~BはHL7に同じ。)

セグメント属性テーブルでは、この情報はJapanというコラムにある。

- R — 必須。
- O — オプション。
- C — トリガーイベントおよびその他のフィールド条件による。  
セグメント属性表に続くフィールド定義(説明)では、このフィールドの条件を定義するアルゴリズムを指定すべきである。
- X — 対象のトリガーイベントでは使用されない。
- B — HL7の前のバージョンへの後方互換性のために残した。セグメント属性テーブルに続くフィールド定義(説明)では、先のバージョンのため選択フィールドであると表示すべきである。
- N — 通常、使用しない。施設内でのみ使用する。

### 5.2.5 反復

そのフィールドが反復されるかどうかを示す。セグメント属性テーブルでは、この情報はRP/#というコラムにある。

指定は以下のとおりである。

- Nまたは空白 — 反復なし。
- Y — 無限回または現場で決定した回数だけフィールドが繰り返される。
- (整数) — フィールドは、整数で指定された最大回数まで繰り返す。

繰り返しのそれぞれが、そのフィールドの最大長で指定した文字数を含めることができる（「5.2.2 最大長」を参照）。

使用上の注意：空白をそのフィールドが任意に反復してよいと解釈してはならない。

## 5.2.6 テーブル

データフィールド定義で説明されているテーブルの表題中の番号(4桁)は、そのコード化値セットのHL7識別子を意味する。

HL7はテーブルを3つの方法、つまり、使用者、HL7、外部により定義している。

**使用者定義表(User-defined Tables)：** ユーザまたは施設で定義された値を持つテーブルである。これはPV1-3-Assigned patient location のように確実なフィールドを与え、施設ごとに異なる値を持つ。このようなテーブルは規格では定義していないが、実現を容易にするために使用者定義テーブル番号が割り当てられる。HL7はしばしば施設が皮切りとして使えそうな推奨値を発行している（例えば表0001 性別）。ISデータタイプは、このような表で使う値をコード化するのによく使われる。このような表のなかには、共通のマスタファイルを参照する表もあるということに注意されたい（例えば、表0302 Point of cure）。

JAHIS仕様の本規約書では「使用者定義表nnnn」と表現している。

**HL7表(HL7 Tables)：** HL7表はHL7によって定義/発行された値の集合である。これらはその表を含むメッセージの解釈に影響を及ぼすのでHL7規格に含まれる。これらの値は現場で再定義してはならないが、現場で定義した値を含めるために表自身を拡張することができる。特にこのことは、HL7表0003 – イベント型 のケースに適用されている。IDデータタイプは、HL7表で使う値をコード化するのに最もよく使われる。

JAHIS仕様の本規約書では「HL7表nnnn」と表現している。

**外部テーブル(External Tables)：** 外部テーブルは他の標準または組織によって定義/発行されたものである。例えばLOINCコードを使って検査結果を符号化する。フィールドで記述するにはCE（旧版互換性確保のため）CF、CNE、CWE型で使用される。

9000とそれ以上のテーブル番号はHL7が発行する外部定義テーブルのために予約している。そのようなテーブルは、外部の機関が制定する概念やコードを、HL7と他の標準化機関との間で規格化要求し合意を得た場合に発生する。これらはHL7が他の機関に代わってHL7規約と共に発行される。しかし、これらはHL7規約より頻繁に改訂されるかもしれない。

### はい/いいえ標識テーブル (Yes/no indicator table)

はい/いいえ (Yes/No) の実際の使用は、説明内容に敏感である。各々の章ではそれぞれの文脈での意味で詳述される。

HL7表 0136 – Yes/no indicator はい/いいえ標識

Value	Description
Y	Yes はい
N	No いいえ

## 5.2.7 ID番号

規格の全体にわたるデータフィールドを一意的に識別する小さな整数。セグメント定義では、この情報はITEM#というコラムにある。

## 5.2.8 名称

フィールドの記述的な名前。セグメント属性テーブルでは、この情報は ELEMENT NAME というコラムにある。

同じ名前が複数のセグメント中で使用される場合、それは同じデータタイプおよび意味を同じID番号と同様に各セグメントが持っていなければならない。この慣行から発生する曖昧さを扱うため、フィールドがここで引用される場合は、セグメント名および位置が常に含まなければならない。

### 5.3 Message Delimitersメッセージ区切り文字

メッセージを構成するときに、セグメントターミネータ、フィールドセパレータ、成分セパレータ、副成分セパレータ、反復セパレータ、エスケープ文字の特殊文字が使われる。セグメントターミネータは必ずキャリッジ・リターン(16進0D)である。その他の区切り文字はMSHセグメントで定義される。つまり、フィールド区切り文字は4番目の文字位置で定義され、それ以外の区切り文字は、フィールド区切り文字に続くフィールドであるコード化文字フィールドで定義される。MSHセグメントで定義される区切り文字は、メッセージ全体に適用される。特に理由がなければ、下表の区切り文字を推奨する。

Delimiter values 区切り文字の値

文字位置	区切り文字	推奨値	用法
-	Segment Terminator セグメントターミネータ	<cr> hex 0D	セグメントレコードを終了する。 この値は、導入者によって変えることができない。
-	Field Separator フィールドセパレータ または フィールド区切り文字		セグメント内で2個の隣接データフィールドを分離する。 それはまたセグメント内の冒頭のデータフィールドとセグメントIDを分離する。
1	Component Separator 成分セパレータ	^	データフィールド内の隣接成分を分離する。 成分の使用法は、関連するデータフィールドの記述に述べられている。
2	Repetition Separator 反復セパレータ	~	反復の認められたデータフィールドにおいて、複数のデータを分離する。
3	Escape Character エスケープ文字	\(¥)	テキストフィールド(ST, TX, FTタイプまたはEDタイプの第4成分)では、エスケープ文字が使用できる。これを表す単一の文字は、MSHセグメントのコード化文字フィールドで指定する。このフィールドはオプションであり、エスケープ文字を使わないメッセージではこの文字は省略できる。しかし、副成分セパレータがメッセージの中で使われるならば、この指定は存在せねばならない。
4	Subcomponent Separator 副成分セパレータ	&	データフィールド内の使用が認められた隣接副成分を分離する。 副成分が無いときは、省略できる。

文字位置 1 ~ 4 は、各セパレータを表現するキャラクタを定義する (MSHセグメントの) コード化文字フィールド内の指定位置である。

注：区切り文字で囲まれる文字列中でASCII以外の文字セットを使用した場合(escape, invoke)、区切り文字に先立ちASCII文字セットにもどすこと。もし区切り文字が検出された場合は、文字セットはASCIIへリセットしたものとみなす。

#### テキストフィールドでのエスケープシーケンスの使用

TX, FT, ST または CF 型等のフィールドを符号化する場合、エスケープ文字を使用してテキストフィールドの特殊処理部を伝えることができる。エスケープ文字は、表示可能な任意の ASCII 文字で、MSH-2 符号化文字のエスケープ文字要素に指定する。本節の説明のためには、文字\を使用して、メッセージに指定するエスケープ文字とする。エスケープシーケンスは、エスケープ文字とそれに続く 1 文字のエスケープ・コード ID、0 個以上のデータ文字、それにもう 1 つのエスケープ文字から構成される。エスケープシーケンスの中の子エスケープシーケンスは禁止する。

詳細は、HL7 節 2.10、「テキストフィールドでのエスケープシーケンスの使用」を参照。

**特殊文字：** フィールド区切り、成分区切り、副成分区切り、反復区切り、およびエスケープ文字をテキストフィールド内に表現するために、以下のエスケープシーケンスが定義されている：

- \F) フィールド区切り (フィールドセパレータ)
- \S) 成分区切り (成分セパレータ)
- \T) 副成分区切り (副成分セパレータ)
- \R) 反復区切り (反復セパレータ)
- \E) エスケープ文字

例： MSH-2 で | ^ ~ ¥ & | の時、 ¥ 9, 8 0 0 は次の様に記述する。  
¥ E ¥ 9, 8 0 0

**推奨しない/規格外のエスケープシーケンス：** HL7では下記のエスケープシーケンスが定義されているが、本規約ではその使用を推奨しない。利用する場合は、適用施設/アプリケーション間の取り決めが必

要である。尚、これらのエスケープシーケンスを受信したことで本来実行すべき処理を中断することがないように配慮すべきである。

## FT、STおよびXTデータ型のためのマルチ文字セットをサポートするエスケープシーケンス

`\Cxyy\`      `\Mxyyzz\`

本規約では MSH-18で ISO IR87 を指定するので、文字セットのエスケープシーケンスを必要としない。

## 強調表示

`\H\`      `\N\`

表示等の表現は受信側アプリケーションで扱うこととする。

## 16進法

`\Xdd...dd\`

このデータの扱い/解釈はHL7規格の範囲外であり、本規約でも規定できない。

## フォーマット化テキスト

`\.sp<数>\`      `\.br\`      `\.fi\`      `\.nf\`

`\.in<数>\`      `\.ti<数>\`      `\.sk<数>\`      `\.ce\`

(報告書等の) 書式制御は受信側アプリケーションで扱うこととする。

## ローカル

`\Zdd...dd\`

このデータの扱い/解釈はHL7規格の範囲外であり、本規約でも規定できない。

## エスケープ文字の例外的解釈

エスケープ文字は他の表示可能な文字、区切り文字と違って、その一文字だけでは意味を成さない。エスケープシーケンスは一对のエスケープ文字を使い、前項に示す記述以外の使い方をしない。しかし、下記に示すケースが想定され、本節ではその場合の解釈を示す。説明では、文字 `\` を使用して、メッセージに指定するエスケープ文字とする。

一对のエスケープ文字の間にエスケープ・コード **ID**、データ文字がない場合：

表示可能な文字 `\` と見なす。つまり、`\E\` を記述したのと同じとする。

記述例	解釈
<code>\\</code>	<code>\</code> (エスケープ文字)
<code>\E\\</code>	<code>\\</code> (エスケープ文字が3個)

エスケープ文字の後のエスケープ・コード **ID** が前項以外である場合：

一对のエスケープ文字の間を無視する。つまり、そのエスケープシーケンスを無視する。受信アプリケーションは警告を発するべきである。

記述例	解釈
<code>\ABC\</code>	省略またはnull (受信アプリケーションに害のない処理)

エスケープ文字が対を成さない場合：

フィールドの終わりでそのエスケープシーケンスが完結したと見なす。但し、受信アプリケーションは警告を発するべきである。

記述例	解釈
<code>[...X0506XY]</code>	...16進数の05,06 (最後のXYは16進数のデータの筈だが誤りである。その処置は本規約では規定外。)
<code>[...S]</code>	...^ ( <code>\S\</code> と見なされる。)
<code>[...]</code>	... (最後の <code>\</code> のみは無視する。)

## 5.4 Data types データ型

HL7表 0440 - データ型(抜粋)

データ型	データ型名称	長さ	コメント
英数			
ST	文字列	199	
TX	テキストデータ	65536	
FT	フォーマットされたテキスト	65536	
数値			
CQ	単位付き複合数量	500	CQは他のデータ型に埋め込まれた場合正式には表現できない。よってこれの使用はセグメントフィールドに限られる。
NM	数値	16	
SI	シーケンス ID	4	
識別子			
ID	HL7 表用の符号化値	Variable	
IS	ユーザ定義表用の符号化値	20	
HD	階層指定	227	
EI	エンティティ識別子	427	
PL	個人の位置	1230	
PT	処理型	3	
日付/時間			
DT	日付	8	
DTM	日付/時間	24	
TM	時間	16	
TS	タイムスタンプ	26	
コード値			
CE	符号化要素	483	v 2.3.1 時で CNE と CWE と取り替えられた。 v 2.5 時では下位互換性のためのために保持された。
CWE	例外有り符号化	705	
CK	チェックディジット付き複合 ID		削除
CX	チェックディジット付き拡張複合 ID	1913	
XCN	拡張された複合 ID 番号と名称	3002	v 2.3 で CN から変更
一般			
CM	複合		削除。v 2.5 ではいくつかの新しい明瞭なデータ型となった。
患者属性			
XAD	拡張住所	631	v 2.3 で AD から変更
XPN	拡張された個人名	1103	v 2.3 で PN から変更
XON	機関に関する拡張された複合名称と ID 番号	567	

データ型	データ型名称	長さ	コメント
XTN	拡張された通信番号	850	v 2.3 で TN から変更
時系列			
RPT	繰り返しパターン	984	
TQ	タイミング/量	1209	v 2.5 では、下位互換性のためにのみ保持される。

## Data types データ型解説（抜粋）

### ST 文字列データ

文字列データは、左詰めにされこれに空白がうしろに続いてよい。任意の表示可能な(印刷可能な)ASCII文字(20から7Eまでの16進値)である。例：|almost any data at all|

### TX テキスト・データ

文字列データは、使用者に対しターミナルまたはプリンターによって表示するためにある。文字列に先行空白を挿入した方が使用者が見やすいということもあるので、文字列は必ずしも左詰めにするわけではない。この種のデータは表示することが目的なので、表示装置を制御するためのエスケープ文字シーケンスを含むことがある。先行空白文字を挿入し、後書き空白を取り除くとよい。例：|leading spaces are allowed.|

TXデータは表示するためにあるので、反復区切文字をTXデータ・フィールドで使うと、それは一連の反復行がプリンターまたはターミナル上に表示されることを意味する。したがって反復区切文字は、パラグラフ・ターミネータまたはハード・キャリッジ・リターンとみなされる。(そのテキスト内にCR/LFが挿入されたように表示される)。

受信システムでは、任意の大きさの表示ウィンドウに合わせるためテキストを繰り返し区切り文字間でワードラップするが、反復区切文字で始まる行はすべて新たな行になる。

### FT 書式付テキスト・データ

このデータ型は、書式を埋め込み追加することで文字列データ型を拡張したものである。これらの書式は固有であり、フィールドの使用環境から独立している。文字列データ(ST)フィールドとFTフィールドとの違いは、長さが任意(64kまで)であることと、エスケープ文字で囲まれた書式を含むことである。例：|\.sp\ (skip one vertical line)|

### CQ 単位付き合成量

Components: <数量(NM)>^<単位(CWE)>

第1成分は数量である。第2成分はその数量の単位である。デフォルトの単位で検査を測定した場合、その単位は送信する必要ない。その単位がISO+単位であるなら小文字の省略形を使用するとよい。その単位がANSIまたはローカル定義のものならその単位と出典を記録しなければならない。

例：

|123.7^kg| kilograms is an ISO unit

|150^lb&&ANSI+| weight in pounds is a customary US unit defined within ANSI+.

### NM 数字

ASCII数字列として表記される数字は、オプションの先行符号(+または-)、数字、そしてオプションの小数点から構成される。符号がない場合、その数値は正数であると仮定される。

小数点がない場合、その数値は整数であると仮定される。例：|999| |-123.792|

先行ゼロまたは小数点の後の後書きゼロは無意味である。01.20と1.2という2つの数値は同一である。オプションの先行符号(+または-)およびオプションの小数点(.)を除いては、数字以外のASCII文字は許されない。したがって、値“<12”は、文字列データ型としてコード化しなければならない。

## SI シーケンスID

NMフィールド形式の正整数。このフィールドの使用方法は、それが現われるセグメントとメッセージを定義している章で定義する。

## ID HL7定義コード化値

この種のフィールドで使う値は、正当な表の値から引用される以外はSTフィールドで使う書式規則に従う。IDフィールドの例として性別などがある。

## IS 使用者定義コード化値

このフィールドの値は、使用者定義テーブルから引用され、STフィールドの書式規則に従う。ISデータ型に関連したHL7テーブル番号があるものとする。例えば事象理由コードである。

## HD 階層的デジグネータ

Components: <namespace ID (IS)> ^ <universal ID (ST)> ^ <universal ID type (ID)>

HDデータタイプは他のデータタイプ構成要素の一部として用いられる。それは、ローカルで定義されたアプリケーション識別子や公に割り当てられたUIDのいずれかとして使用される。HDは、HL7の初期の版でISデータ型を使用したフィールドの中で使用される。その場合、第一成分のみである。HDデータ型の第1の成分が存在する場合、第2と第3の成分はオプションである。第3成分が存在する場合、第2成分も存在せねばならない。

HDの第2の成分、汎用ID(UID)は、第3の成分、汎用IDタイプ(UIDタイプ)によって定義される書式の文字列である。UIDはUIDタイプ内で時間が経過しても一意的になるよう定義されている。UIDタイプによって定義された各UIDは、UIDを構築する特に列挙された計画のうちの1つに属さなければならない。UID(第2の成分)は、第3の成分によって定義された汎用ID構文規則に従わなければならない。

HL7表 0301—Universal ID type 汎用IDタイプ

Value	Description
DNS	インターネットで指定された名前。ASCII文字あるいは整数値のいずれか。
GUID	UUIDと同じ。
HCD	CENヘルスケアコード体系デジグネータ(DICOMで使用される識別子はこの割当計画に従う)。
HL7	将来のHL7登録計画のためにリザーブ。
ISO	国際標準化機構オブジェクト識別子
L、M、N	ローカルで定義されたコード体系のためにリザーブ。
ランダム	一般的にランダムビットのbase64コード化文字列。一意性は、ビットの長さに依存する。メール・システムは、ランダムビットおよびシステム名の組合せから、ASCII文字列の「一意的な名」を生成することが多い。明らかに、そのような識別子はbase64文字集合によって束縛されない。
UUID	DCE 汎用一意性ID
x400	X400 MHS書式ID
x500	X500 ディレクトリ名

例：

1.2.34.4.1.5.1.5.1,1.13143143.131.3131.1^ISO

14344.14144321.4122344.14434.654^GUID  
falcon.iupui.edu^DNS

40C983F09183B0295822009258A3290582^RANDOM

LAB1 Local use only: an HD that looks like an IS data type.

PathLab^UCF.UC^L A locally defined HD in which the middle component is itself structured. This can be considered the combination of 'PathLab' with the locally defined UID system "L".

LAB1^1.2.3.3.4.6.7^ISO An HD with an ISO "Object Identifier" as a suffix, and a locally defined system name.

^1.2.344.24.1.1.3^ISO An HD consisting only of an ISO UID.

## EI エンティティ識別名

Components: <entity identifier (ST)> ^ <namespace ID (IS)> ^ <universal ID (ST)> ^ <universal ID type (ID)>

エンティティ識別名は、識別子の指定されたシリーズ内の与えられたエンティティを定義する。

指定されたシリーズ、すなわち割り当て権限は、成分2~4によって定義される。割り当て権限は階層的指名者データ型(HD)である。しかし、それは3つの個別の成分としてEIデータ型の中で定義され、これは通常単一の成分として定義されるのとは異なる。これはいくつかの既存のデータ分野の成分としてのEIの使用と下位互換性を維持するためである。そうでなければ、成分2~4は「HD 階層的デジグネータ」の中で定義される。階層的指名者は、与えられたHL7導入を通じて一意的である。

第1成分、エンティティ識別名は、識別子のシリーズ内で一意的であるよう定義され、割り当て権限によって作成され、これは階層的指名者によって定義され成分2~4で表わされる。

#### PL 患者所在

Components: <point of care看護単位 (IS)> ^ <room病室 (IS)> ^ <bedベッド (IS)> ^ <facility施設 (HD)> ^ <location status場所の状態 (IS)> ^ <person location type所在場所タイプ (IS)> ^ <building建物 (IS)> ^ <floor階 (IS)> ^ <location description場所の詳細 (ST)>

このデータ型は医療施設内の個人の所在場所を特定するため使用される。どのコンポーネントに値を付けるかはサイトの必要性によって異なる。それは患者の所在場所を特定するため使用されることが最も多いが、しかし医療施設内の患者以外の個人を指すことやその場所の状態を表現する場合もある。

看護単位とは診療室や病棟など部門をいう。場所の状態はベッドのあき状況などを表示する。所在場所のタイプをコードで表現する。

注：成分の順序によって、以前のバージョンのHL7と互換性がある。下位互換性の制約がない場合、成分の階層構造オーダーは次のようになる：<所在場所タイプ(IS)> ^ <施設(HD)> ^ <階(IS)> ^ <看護単位(IS)> ^ <病室(IS)> ^ <ベッド(IS)> ^ <場所の詳細(ST)> ^ <場所の状態(IS)>。

#### PT 処理タイプ

Components: <processing ID (ID)> ^ <processing mode (ID)>

このデータ型は、HL7アプリケーションがHL7メッセージの処理をするべきか否かを示す。処理IDで、メッセージが生成、訓練あるいはシステムデバッグかどうか定義する値。有効な値については「HL7表0103-処理ID」を参照すること。処理モードで、メッセージが文書累積の処理あるいはイニシャルロードの一部かどうか定義する。有効な値については「HL7表0207-処理モード」を参照すること。

#### DT 日付

常に書式YYYY[MM[DD]]で表記、桁数により精度が規定される。 例：|19880704|

#### TM 時間

Format: HH[MM[SS[.S[S[S[S]]]]] [+/-ZZZZ]

以前のHL7バージョンでは、24時間表記法による書式HHMM[SS[.SSSS]][+/-ZZZZ]を常に使用していた。表記する桁数で精度が規定される。秒指定(SS)はオプションである。存在しない場合、分までの精度と解釈される。小数の秒指定は同様にオプションである。小数の秒は、秒より高い精度の時間を必要とする場合に送信される。分、時間、またはそれ以上の時間単位を小数で表記することはできない。発信者の時間帯は、万国標準時(以前はグリニッジ標準時として知られていた)からのオフセットとしてオプションで送られることがある。発信者の時間帯が特定のTMフィールドに存在しないが、MSHセグメントの日時フィールドの一部として含まれる場合は、MSH値がデフォルトの時間帯として使われる。それ以外の場合、その時間は発信者の現地時間を参照するものと解釈される。真夜中は0000と表記する。

例：

|235959+1130| 1 second before midnight in a time zone eleven and half hours ahead of Universal Coordinated Time (i.e., east of Greenwich).

|0800| Eight AM, local time of the sender.

|093544.2312| 44.2312 seconds after Nine thirty-five AM, local time of sender.

#### TS タイムスタンプ

Format: YYY[MM[DD[HHMM[SS[.S[S[S[S]]]]]]] [+/-ZZZZ] ^ <精度>

日付と時間を含む、イベントの正確な時間から成る。書式はつぎのようである。

YYYYLLDD[HHMM[SS[.SSSS]]][+/-ZZZZ]^<精度>

タイムスタンプの日付部は日付フィールドの規則に従う。時間部は時間フィールドの規則に従う。表記する桁数により精度が規定される。すなわち、誕生日として使われるとき、HHMM部が省略されれば日付であり、HHMM部を0000とすると、まさに明けようとしているその日の真夜中(0時0分)になる。HL7コード化規則の中で使われる特定のデータ表記はISO 8824-1987(E)との互換性がある。オプションの精度は下位互換性のためにあり、その日時の精度を示す(Y = 年、L = 月、D = 日、H = 時間、M = 分、S = 秒)。例:

|17760704010159-0600| 1:01:59 on July 4, 1776 in the Eastern Standard Time zone.

|17760704010159-0500| 1:01:59 on July 4, 1776 in the Eastern Daylight Saving Time zone.

|198807050000| Midnight of the night extending from July 4 to July 5, 1988 in the local time zone of the sender.

|198807050000^D| Same as prior example, but precision extends only to the day. Could be used for a birthdate.(=|19880705|)

HL7規格では、すべてのシステムが日常的に時間帯オフセットを送るよう強く推奨するが、強制はしない。HL7システムではすべて時間帯オフセット受け入れる必要があるが、その実装はアプリケーションに任される。多くのアプリケーションの場合、関心ある時間はその発信者の現地時間である。たとえば、東部標準時間帯にあるアプリケーションが12月11日午後11:00にサンフランシスコで入院が発生したという通知を受けた場合、その入院を12月12日ではなくて(現地時間の)12月11日に発生したものとして扱うのがよい。

この規則における例外は、臨床システムが、互いに近くに存在しながら時間帯の異なる複数の病院で収集された患者データを処理する場合である。そのようなアプリケーションは、そのデータを共通の表記に変換することがある。同じような問題は、サマータイムとの切り替え時にも発生する。HL7は、情報の送信時に時間帯情報を含めるようにすることで対応する。しかし、ここで検討した処理のどちらを受信システムが採用するかは指定しない。

## CE コード化値

Components: <identifier識別子 (ST)> ^ <textテキスト (ST)> ^ <name of coding systemコーディング方式名 (IS)> ^ <alternate identifier代替識別子 (ST)> ^ <alternate text代替テキスト (ST)> ^ <name of alternate coding system代替コーディング方式名 (ST)>

例: |54.21^Laparoscopy^I9^42112^^AS4|

|F-11380^CREATININE^I9^2148-5^CREATININE^LN|

このデータ型は、コード、およびそのコードと関連するテキストを送る。この型は、次に述べる通り、代替成分を含め6個の成分を持つ:

識別子: 後ろの<text>によって参照される項目を一意に識別する文字列(コード)。異なるコーディング方式では、異なる要素を持つ。

テキスト: 問題としている項目の名前または記述。たとえば、心筋梗塞とかX線撮影所見など。そのデータ型は文字列(ST)である。

コーディング方式名: コーディング方式には一意な識別子が割り当てられる。この成分は、識別子成分内で使われているコーディング方式を識別するのに役立つ。識別子成分とコーディング方式名成分の組合せは、データに対して一意なコードである。ここに指定されるコーディング方式の例は、ICD-9、ICD-10、SNOMEDなどである。各方式には一意な識別文字列が与えられる。ここにHL7表を使用する場合、HL7表番号をnnnnとしHL7nnnnとして定義する。

代替成分: 3つの代替成分は、上記と同様、代替方式または現地コーディング方式を定義するためである。代替テキスト成分が存在せず、代替識別子が存在すると、代替テキストはテキスト成分と同じであると解釈される。代替コーディング方式成分が存在しない場合、それはローカル定義の方式であると解釈される。

注記: このデータ型では2組の等価コードを表現しているが、それはCE型フィールドの反復とは意味が違っている。反復を用いる場合は、いくつかの明瞭なコード(明瞭な意味を持つコード)を送信するのが普通である。

## CWE 例外を含むコード化値

Components: <identifier識別子 (ST)> ^ <textテキスト(ST)> ^ <name of coding systemコーディング方式名 (ID)> ^ <alternate identifier代替識別子 (ST)> ^ <alternate text代替テキスト (ST)> ^ <name of

alternate coding system代替コーディング方式名 (ID)>^ <coding system version ID コーディング方式バージョンID(ST)> ^ < alternate coding system version ID 代替コーディング方式バージョンID(ST)> ^  
<original textオリジナルテキスト(ST)>

第1成分：文字のつながり（コード）それはユニークに < テキスト>によって参照されて項目を識別する。異なったコード化方式がここで異なった要素を持つであろう。

第2成分：問題の項目の名前あるいは記載。例えば、 myocardial 梗塞あるいはレントゲン写真印象。

第3成分：それぞれのコーディング方式がユニークな識別子を割り当てられる。

このコンポーネントは識別子コンポーネントで使われて符号体系を識別するのに役立つであろう。

識別子成分とコーディング方式名成分の組合せはデータ項目に一意的なコードである。それぞれの方式は一意的な識別文字列を持っている。

使用者定義テーブル0396(HL7-節7.18.1参照)-コーディング方式-が許されている値を含んでいる。テーブルは「ASTM E1238 -94、診断、処置、検査、薬剤ID、健康結果」と、ASTM-7.1.4でテーブルで識別されるように、コードしている「コード化方式」を含む。必要に応じて、他の方式が追加される。

コード集合を発行するいくつかの機関が1つ以上を著作する。

それから、ユニークであるコーディング方式はコーディング権限機関の名前とそのコードセットあるいはテーブルの名前の結合である。

HL7表が CE データタイプのために使われるとき、コーディング方式名成分は nnnn が HL7表番号である HL7nnnn と定義される。

同様に、ISO テーブルが ISO nnnn と命名されるであろう、そしてそこで nnnn は ISO テーブル番号である。

第4成分：上の「識別子」に類似している。データタイプCWEの「使用上の注意」を参照。

第5成分：上記の「テキスト」に類似している。データタイプCWEの「使用上の注意」を参照。

第6成分：上記の「コーディング方式の名前」に類似している。データタイプCWEの「使用上の注意」を参照。

第7成分：これは第1成分-第3成分によって識別されるコーディング方式のためのバージョンIDである。それは概念的に構成する第1成分-第3成分のグループに帰属して、そして逆方向互換性の理由だけのためにここで現われる。

第8成分：これは第4成分-第6成分によって識別されるコーディング方式のためのバージョンIDである。それは概念的に代わりの成分のグループに帰属する（見なさい、と0が指摘する、上記の「テキスト」に類似している。データタイプCWEの「使用上の注意」を参照。

第9成分：特定の規約が割り当てられる前に、自動化されたプロセスあるいは人に利用可能であったオリジナルのテキスト

使用上の注意：こちらは一般に送られるフィールドがコード、しかしどこにコードが卓越したインスタンスであるいはサイト契約によって除かれるかもしれないか使っている。

使われているコーディング方式がテキストでコンセプトを記述するためにコードを持っていないとき、卓越した事例が起こる。

1) Coded : 識別子はコーディング方式から正当なコードを含んでいる。

コーディング方式はあるいは存在していて、そして許されたコーディング方式のセットから、あるいはもし存在していないなら値を持っていないかではない、それはコードが「HL7 コーディング方式」を意味するという状態で、もしそれが高く評価されたならと比べて同じ意味を持つと解釈されるであろう。

使用者定義テーブル0396-コーディング方式が許されている値を含んでいる。

テーブルは「ASTM E1238 -94、診断、処置、検査、薬剤ID、健康結果」と、ASTM-7.1.4でテーブルで識別されるように、コードしている「コード化方式」を含む。

もしコーディング方式が「HL7 コーディング方式」以外のどんな方式でもあるなら、バージョンIDが実際のバージョンIDで高く評価されなくてはならない。

もしコーディング方式が「HL7 コーディング方式」であるなら、バージョンIDは実効値を持っているかもしれない、あるいは存在しないかもしれない。もしバージョンIDが存在しないなら、それはメッセージヘッダで HL7 バージョン番号と比べて同じ値を持っていると解

積されるであろう。

テキスト記述は任意である、しかしその使用はテストの間のそしてデバッグするメッセージの判読性で支援に奨励されるべきである。

例 1a : CWE 値と値が SNOMED ・ インターナショナルから取られる (とき・から・につれて・ように) 、観測識別子が LOINC コードと観測値である OBX 部分が送られている。

```
OBX|1|CWE|883-9^ABOGroup^LN|1|F-D1250^Type  
0^SNM3^^^3.4||N||F<cr>
```

例 1b : 観測識別子が LOINC コードと観測値である OBX 部分が CWE 値として送られている、そして値は (現在仮説の) HL7 テーブルから取り出される。

```
OBX|1|CWE|883-9^ABOGroup^LN|1|0^Type 0^HL74875^^^2.3.1||N||F<cr>
```

2) Uncoded : テキストが高く評価される、識別子は値を持っていない、そしてコーディング方式とバージョン ID がオプション 1 のために論じられると比べて同じ規則に従う。

例 2 : 検査結果 ID を LOINC コードとする OBX セグメントと検査結果が CWE 値として送られており、そして、正しい臨床結果「Wesnerian」が許容値の中に見いだされなかったことのテキストとして送られる。

```
OBX|1|CWE|883-9^ABO Group^LN|1|^Wesnerian^SNM3^^^3.4||A||F<cr>
```

3) データ消失 : コーディング方式の名前は「HL7 CE 状態」である、バージョン ID が 1 レアルいずれかであるバージョン、あるいはもし存在していないなら、それはメッセージヘッダでバージョンと比べて同じ意味を持っている、そして識別子は許された CE フィールド statuses の 1 人からその値を取る。

許された CE フィールド statuses のコードは下に示されて、そして HL7 用語の一部としてテーブルで維持されるであろう。

コードのテキスト記載は任意である。

例 3 : 検査結果 ID を LOINC コードとする OBX セグメントと検査結果が LCE 値として送られており、この検査がされなかったことから送られることができる値がない。

```
OBX|1|CWE|883-9^ABOGroup^LN|1|NAV^NotAvailable^  
HL70353^^^2.3.1||N||F<cr>
```

第9成分 : これは、特定の規約が割り当てられる前に、自動化されたプロセスあるいは人に利用可能であったオリジナルのテキストである。このフィールドは任意である。

第4 - 6成分 & 第8成分 : 成分4-6&8は任意である。

それらはローカルまたはユーザによって見られたコードを表すために使われる。

もし存在しているなら、第4 - 6成分と第8成分は (CWE データタイプの) 第1 - 3成分と第7成分の記述と同じ使用規則と翻訳に従う。

もし両方ともが存在しているなら、第4成分と第1成分でのアイデンティファイアは正確に同じ意味を持つべきである ; すなわち、それらは正確な同義語であるべきである。

例 4 : 検査結果 ID を LOINC コードとする OBX セグメントと検査結果が CWE 値として送られており、結果は SNOMED インターナショナルから得られる。

ユーザによって見られたフィールドは (99LAB) が送信しているシステムで使ったローカルなコーディング方式を表すために使われている。

```
OBX|1|CWE|883-9^ABOGroup^LN|1|F-D1250^Type0^SNM3^0^otype  
Blood^99LAB^3.4^||||F<cr>
```

CWE 使用法のサマリが値がない種々の国家のために状態値のテーブルで指摘する : データタイプが (そのために) 使われるべきである CWE は任意である、あるいはもうではなく公認の値セットの一部である項目のためのテキストを送ることは許されるフィールドをコードした。

標準的な状況で、識別子は値セットからコードで高く評価される。

もしフィールドの値が知られているが、値セットの一部ではないなら、テキストと識別子が値を持っていない (とき・から・につれて・ように) 、値は送られる。

もしフィールドが未知の状態を持っているなら、フィールドの3番目のフォームが (上にデータ消失を見なさい) 使われる、そしてフィールドのための適切な状態は許された statuses のテーブルから選択される。

コードが存在しないとき、HL7表0353を利用する。

HL7表 0353 – CWE statuses CWEステータス

Value	Description
U	Unknown 無し
UASK	Asked but Unknown 返答無し
NAV	Not available 利用可能でない
NA	Not applicable 適用可能でない
NASK	Not asked 問い合わせなし

テキスト変更子がコードに伴うかもしれないところに、HL7 メッセージの「フィールド」はデータタイプ CWE のことであるであろう、そして繰り返すことを許されるであろう。フィールドの最初のインスタンスは、オプション1に従って、使われるであろう；すなわち識別子は正当なコードを持っているであろう。繰り返すフィールドの2番目のインスタンスは使われるであろう、オプション2に従って、すなわち、テキスト記載は自由なテキスト変更子の値をとるであろう。

### CK チェックディジット付き複合ID

Components: <ID number ID番号 (NM)> ^ <check digitチェックディジット (NM)> ^ <code identifying the check digit scheme employedチェックディジット方式 (ID)> ^ < assigning authority割当権限者(HD)>

このデータ型は、たとえばPID-3-患者ID(内部ID)など、通常チェックディジットを含むフィールドで使われる。現場で、あるCKフィールドにチェックディジットを使っていない場合、第2、第3成分はNullである。

例： |128952^6^M11^ADT01|

このデータ型のチェックディジットは、メッセージ処理システムが追加生成するわけではない。それは、送信アプリケーション内で使われる識別番号に含まれる。送信アプリケーションが識別番号内にチェックディジットを含まない場合、この成分はnullとすべきである。

チェックディジット方式は、HL7表0061—チェックディジット方式で定義する。

HL7表 0061—Check digit scheme チェックディジット方式

Value	Description
NPI	Check digit algorithm in the US National Provider Identifier
ISO	ISO 7064: 1983
M10	Mod 10 アルゴリズム
M11	Mod 11 アルゴリズム

Mod10チェックディジットを計算するためのアルゴリズムは以下の通り

あなたが識別子=12345を持つと仮定する。右側から数えて奇数桁、つまり531を考える。この数を2倍して1062を得る。右から数えて偶数桁、すなわち42を取り、これに1062を付けたして421062を得る。この数字の6桁すべてを加算して15を得る。15の次に大きい10の倍数からこの数を減ずる、つまり20-15により5を得る。これがMod10である。401の場合のMod10チェックディジットは0である；9999の場合は4である；99999999の場合は8である。

Mod11チェックディジットを計算するためのアルゴリズムは以下の通り。

用語

d = 1の位から始まり、以降10の位、100の位、... と続く各位の数字

w = 1の位から始まり、以降10の位、100の位、... と続く各位の重み。Wの値は2、3、4、5、6、7、2、3、4、5、6、7、... と続く(6桁単位で繰り返す)

c = チェックディジット

計算

(ステップ1) m = 1の位から開始し、それぞれの位について計算した(d \* w)の合計  
d = 1の位から最高桁の位までの各桁の数字

w = 1の位から始まり、6桁単位で繰り返す2から7までの各桁の重み

(ステップ2) c1 = m mod 11

(ステップ3) c1 = 0の場合はc1 = 11に置き換える。

(ステップ4) c = (11 - c1) mod 10

例: if the number is 1234567, then the mod 11 check digit = 4

計算は以下の通り

$$m = (7*2)+(6*3)+(5*4)+(4*5)+(3*6)+(2*7)+(1*2)$$

$$\begin{aligned}
&= 14 + 18 + 20 + 20 + 18 + 14 + 2 \\
&= 106 \\
c1 &= 106 \bmod 11 \\
&= 7 \\
c &= (11 - c1) \bmod 10 \\
&= 4 \bmod 10 \\
&= 4
\end{aligned}$$

上記以外のチェックディジットは、現場双方の取り決めにより使うことができる。

## CX チェックディジット付拡張複合ID

Components: <ID (ST)> ^ <check digitチェックディジット (ST)> ^ <code identifying the check digit scheme employedチェックディジット方式 (ID)> ^ < assigning authority割当権限者 (HD) > ^ <identifier type code IDタイプコード (IS)> ^ < assigning facility割当施設 (HD) > ^ <effective date 有効日付(DT)> ^ <expiration date満了日付 (DT)>

例：|1234567 ^ 4 ^ M11 ^ ADT01 ^ MR ^ University Hospital|

ID：CKデータ型と同様、ただしSTデータ型がNM・データ型の代わりに許可される。

チェックディジット：CKデータ型と同様、ただしSTデータ型がNM・データ型の代わりに許可される。このチェックディジットはメッセージ処理で追加されるものではなく、送信アプリケーションの中で使用される識別番号の一部である。送信アプリケーションが識別番号中にチェックディジットを含んでいない場合、この値はヌルであるのがよい。

識別子タイプコード：IDのタイプに対応するコード。ある場合には、「割当権限」成分への修飾語としてこのコードを使用してもよい。

HL7表 0203 - Identifier type 識別子タイプ

Value	Description	Value	Description
AM	アメリカン・エクスプレス	MS	マスターカード
AN	勤定番号	NE	米国雇用者ID
BA	銀行勤定番号	NH	米国保健計画ID
BR	出生登録番号	NI	米国個別ID
BRN	品種登録番号	NNxxx	米国個人ID XXX=ISOテーブル3166の3文字(アルファベット)の国コード
DI	ダイナースクラブ・カード	NPI	米国プロバイダーID
DL	運転免許証番号	PEN	年金番号
DN	医師番号	PI	患者内部ID
DR	ドナー登録番号	PN	個人番号
DS	ディスカバー・カード	PRN	プロバイダー番号
EI	従業員番号	PT	患者外部ID
EN	雇用者番号	RR	鉄道退職番号
FI	設備ID	RRI	地方登録ID
GI	保証人内部ID	SL	滞在許可
GN	保証人外部ID	SR	滞在登録ID
HC	保健証番号	SS	社会保障番号
JHN	管轄区域の保健番号(カナダ)	U	無指定
LN	免許番号	UPIN	メディケア/HCFAの汎用医師ID
LR	地方登録ID	VN	訪問回数
MA	メディケイド番号	VS	ビザ
MC	メディケア番号	WC	WIC ID
MCN	マイクロチップ番号	WCN	労働者番号
MR	医療記録番号	XX	組織ID

## XCN 拡張複合IDと名前

Components: <ID number (ST)> ^ <family name姓 (FN)> ^ <given name 洗礼名 (ST)> ^ <second and further given names or initials thereof セカンドネームまたはイニシャルの頭文字(ST)> ^ <suffix接尾辞 (e.g., JR or III) (ST)> ^ <prefix接頭辞 (e.g., DR) (ST)> ^ <degree学位 (e.g., MD) (ST)> ^ <source tableソーステーブル (IS)> ^ < assigning authority割当て権限者 (HD)> ^ <name type code名前タイプコード(ID)> ^ <identifier check digitチェックディジット (ST)> ^ <code identifying the check digit scheme employedチェックディジット方式 (ID)> ^ <identifier type code識別タイプコード (IS)> ^ < assigning facility割当て施設 (HD)> ^ <name representation code名前表示コード(ID)> ^ <name context 名前コンテキスト(CWE)> ^ <name validity range名前有効範囲(DR)> ^ <name assembly order 名前の組み立て指示(ID)>

コード値およびテキスト名により人物を識別するフィールド。第1成分は、第8の成分で示されるテーブルに従ったIDである。第2成分から第7成分は人物名を表すPNフィールドである。第8成分は、第1成分で使われるソーステーブルを指定する。特定の現場では、それぞれの現場でIDまたは名前を省略することができる。名前タイプコードについては、XPN—拡張人名を参照。識別タイプコードは「使用者定義テーブル0203—識別子タイプ」(HL7 V2.5の2.A.14.5)を参照すること。第10成分と第15成分は必須である。

例: |^中田^隆^^^^^^L^^^^||  
|^TORANOMON^ICHIRO^^^^^^L^^^^A~虎ノ門^一郎^^^^^^L^^^^||

### CM 複合フィールド

他の有意データフィールドと組合せるフィールド。それぞれの部分は成分と呼ばれる。CMフィールドの特定成分は、そのフィールド記述の範囲内で定義される。HL7 V2.5ではいくつかの新しい明瞭なデータ型となった。以下に本書で使用されているデータ項目についての構成を記載している。詳細については、HL7 V2.5の2.Aを参照されたい。

### XAD 拡張住所

Components: <street address町名 (SAD)> ^ <other designation他の表示 (ST)> ^ <city都市 (ST)> ^ <state or province州あるいはプロビンス (ST)> ^ <zip or postal code ZIPあるいは郵便番号(ST)> ^ <country国 (ID)> ^ <address type (ID)> ^ <other geographic designation他の地理的な表示 (ST)> ^ <county/parish code郡/教区コード (IS)> ^ <census tract国勢調査標準地域 (IS)> ^ <address representation code住所表示コード (ID)> ^ <address validity range 住所有効範囲(DR)>

例: |1234、 Easy St. ^ Ste. 123 ^ San Francisco ^ CA ^ 95123 ^ USA ^ B ^ ^ SF ^ |

他の表示では町名を修飾する。例: Suite 555あるいは4階など。住所・タイプはオプションであり、HL7表0190—アドレスタイプ (HL7 V2.5の2.A.1.7参照)によって定義される。他の地理的な表示は国、バイオリージョン、SMSAなどを含んでいる。Name/address representation codeはHL表0465—名前/アドレス表記 (HL7 V2.5の2.A.55.16参照)の値を使用。

### XPN 拡張人名

Components: <family name姓 (FN)> ^ <given name 洗礼名 (ST)> ^ <second and further given names or initials thereof 中間名のイニシャルあるいは名前 (ST)> ^ <suffix (e.g., JR or III) 接尾辞 (ST)> ^ <prefix (e.g., DR) 接頭辞 (ST)> ^ <degree (e.g., MD) 学位 (ST)> ^ <name type code名前タイプコード (ID)> ^ <name representation code名前表示コード (ID)> ^ <name context名前コンテキスト (CWE)> ^ <name validity range 名前有効範囲(DR)> ^ <name assembly order 名前の組み立て指示(ID)>

第7成分と第8成分は必須である。

例: |Smith^John^J^III^DR^PHD^L|  
|日本^太郎^^^^D^I~にほん^たろう^^^^D^P~ NIHON^Tarou^^^^D^A|

上にリストしたように、名前は複数のフリーテキスト成分から成る。送信システムは大文字と小文字の混合、またはすべて大文字を送ることができる。必要なら、受信システム側ですべて大文字に変換してもよい。名前タイプコードで法律上の名前や現地名などを示す。取りうる値はHL7表0200 - 名前タイプを参照。一般的に法的な名前は現在の既婚の名前と同じである。

HL7表 0200 - Name type 名前タイプ

Value	Description
A	Alias Name 別名
B	Name at Birth 出生時の名前
C	Adopted Name 養子名
D	Display Name 表示名称
I	Licensing Name 許可された名前

L	Legal Name 法律名前
M	Maiden Name 旧姓
N	Nickname /"Call me" Name/Street Name
P	Name of Partner/Spouse (retained for backward compatibility only)
R	Registered Name (animals only) 動物の登録名
S	Coded Pseudo-Name to ensure anonymity 匿名性を確保するためのコード化された偽名
T	Indigenous/Tribal/Community Name 現地での/部族での/社会での名前
U	Unspecified 不明

学位は使用者定義表0360の値を使用。

**使用者定義表 0360 - Degree 学位**

Value	Description
AAS	Associate of Applied Science 応用科学系準学士
AA	Associate of Arts 文系準学士
ABA	Associate of Business Administration 経営管理学準学士
AE	Associate of Engineering エンジニアリング準学士
AS	Associate of Science 理系準学士
BA	Bachelor of Arts 文学士
BBA	Bachelor of Business Administration 経営管理学士
BE	Bachelor of Engineering エンジニアリング士
BFA	Bachelor of Fine Arts 美術士
BN	Bachelor of Nursing 看護師
BS	Bachelor of Science 理学士
BSL	Bachelor of Science – Law 理学士－法則
BT	Bachelor of Theology 神学士
CER	Certificate 証明書
DIP	Diploma 卒業証書
DBA	Doctor of Business Administration 経営管理学博士
DED	Doctor of Education 教育博士
PharmD	Doctor of Pharmacy 薬学の医者
PHE	Doctor of Engineering エンジニアリング博士
PHD	Doctor of Philosophy 哲学博士
PHS	Doctor of Science 科学博士
MD	Doctor of Medicine 医学博士
DO	Doctor of Osteopathy 骨学博士
HS	High School Graduate 高校卒業生
JD	Juris Doctor 法学博士
MA	Master of Arts 文学修士
MBA	Master of Business Administration 経営学修士
MCE	Master of Civil Engineering 土木工学修士
MDI	Master of Divinity 神学修士
MED	Master of Education 教育修士
MEE	Master of Electrical Engineering 電気工学修士
ME	Master of Engineering エンジニアリング修士
MFA	Master of Fine Arts 美術学修士
MME	Master of Mechanical Engineering 機械工学修士
MS	Master of Science 理学修士
MSL	Master of Science – Law 理学修士－法則
MT	Master of Theology 神学のマスター
NG	Non-Graduate 非卒業生
SEC	Secretarial Certificate
TS	Trade School Graduate 専門学校卒業生

名前表示コードでは、データ項目によって提供される名前の表現を指示する。この成分は受信者にヒントを提供する。それにより、なにが送られており、なにを表示できるかに関する選択を行うことができる。

**HL7表 0465 - Name representation 名前表示コード**

Value	Description
I	Ideographic (i.e., Kanji) 表意文字(漢字)
A	Alphabetic (i.e., Default or some single-byte) シングルバイト英数字
P	Phonetic (i.e., ASCII, Katakana, Hiragana, etc) 表音文字(ASCII,仮名)

## XON 拡張複合組織IDと名称

Components: <organization name組織名 (ST)> ^ <organization name type code組織の名前タイプ (IS)> ^ <ID number ID番号 (NM)> ^ <check digitチェックディジット (NM)> ^ <code identifying the check digit scheme employedチェックディジット方式 (ID)> ^ <assigning authority割当て権限者 (HD)> ^ <identifier type code識別子タイプ (IS)> ^ <assigning facility ID 割当て施設ID (HD)> ^ <name representation code 名前表示コード(ID)>

例: |HL7 Health Center ^ L ^ 6 ^ M11 ^ HCFA|

組織の名前タイプでは、法的な名前、表示する名前などを表わす。

**HL7表 0204—Organizational Name Type 組織の名前タイプ**

Value	Description
A	別名
L	法的な名前
D	表示する名前
SL	株式取引所に登録する名前

## XTN 拡張電話番号

Components: [NNN国番号] [(999地域)]999局番-9999番号 [X99999] [B99999] [C any text] ^ <telecommunication use code通信使用コード (ID)> ^ <telecommunication equipment type通信機器 (ID)> ^ <email address電子メール (ST)> ^ <country code国番号 (NM)> ^ <area/city code地域市外局番 (NM)> ^ <phone number電話番号 (NM)> ^ <extension内線番号 (NM)> ^ <any text (ST)>

例: (415) 555-3210 ^ ORN ^ FX ^

**HL7表 0201—Telecommunication use code 通信使用コード**

Value	Description
PRN	主要な自宅番号
ORN	他の自宅番号
WPN	勤務先番号
VHN	別荘番号
ASN	留守電話応答サービス番号
EMR	緊急番号
NET	ネットワーク(電子メール)アドレス
BPN	ポケットベルの番号

**HL7表 0202 —Telecommunication equipment type 遠隔通信機器タイプ**

Value	Description
PH	電話
FX	ファックス
MD	モデム
CP	携帯電話
BP	ポケットベル
INTERNET	インターネットアドレス: 通信使用コードがNETである場合のみ使用
X.400	X.400電子メールアドレス: 通信使用コードがNETである場合のみ使用

注: 成分5~9は、定形の形式で第1の成分の基本機能を反復する。そしてローカルおよび世界の電話番号の両方が表現できる。電話番号のための形式は、定形形式を使用することを推奨し、第1の成分は下位互換性のために残される。

## RPT 繰り返しパターン

Components: <Repeat Pattern Code 繰り返しパターンコード (CWE)> ^ <Calendar Alignment カレンダー上の位置 (ID)> ^ <Phase Range Begin Value フェーズ範囲開始値(NM)> ^ <Phase Range End Value フェーズ範囲終了値 (NM)> ^ <Period Quantity 期間数値(NM)> ^ <Period Units 期間単位(IS)> ^ <Institution Specified Time 施設設定の時刻(ID)> ^ <Event イベント(ID)> ^ <Event Offset Quantity イベントオフセット数値(NM)> ^ <Event Offset Units イベントオフセット単位(IS)> ^ <General Timing Specification 汎用タイミング指定(GTS)>

## TQ タイミング数量

Components: <quantity数量 (CQ)> ^ <interval時間間隔 (CM)> ^ <duration継続時間 (ST)> ^ <start date/time開始日時 (TS)> ^ <end date/time終了日時 (TS)> ^ <priority優先度 (ST)> ^ <condition条件 (ST)> ^ <textテキスト (TX)> ^ <conjunction連結 (ID)> ^ <order sequencingオーダー

シーケンス化(CM)> ^ <occurrence duration発生持続(CWE)> ^ <total occurrences発生からの合計(NM)>

サービスの実施時期とその頻度を指定する。

Priority component 優先度成分 (ST)

定義： 要求の緊急度を述べる。次の値が提案される(優先度のデフォルトはRである)：

S	= 緊急	最も高い優先度で
A	= できるだけ早く	Sオーダーの後
R	= ルーチン	デフォルト
P	= 術前	
C	= 返信	
T	= タイミングがクリティカル	要求は、要求された時間に最も近いことが重要であるという意味である。 たとえば、抗生物質血中濃度である
PRN	= As Needed	

値『T』(タイミングクリティカル)の程度は次のように明示できる：

Format:

TS<integer>	=	秒以内で
TM<integer>	=	分以内で
TH<integer>	=	時間以内で
TD<integer>	=	日以内で
TW<integer>	=	週以内で
TL<integer>	=	月以内で

オーダーの連続指定の場合、これらの値は、先行オーダーから後に続くオーダー全部に対してタイミングの重要性を規定する。優先度成分を反復する場合はスペースで区切る。

## 5.5 HL7定義以外のテーブル

当規約においては、HL7の標準定義表および使用者定義表以外の定義表を使用することができる。

HL7で定義された表以外の表を使用する場合、当該テーブルを規定している規約を明らかにする必要がある。要素として <name of coding system> を有するデータタイプにおいては、ここにテーブルを規定した規約をあらわす略号を設定する。

当規約においては、次の略号を使用するものとする。

MR9P： MERIT-9 処方オーダー Ver 1.1 で規定されていることを示す

JHSP： 当規約で規定したことを示す

## 6. 処方指示メッセージ構文

### 6.1 処方依頼情報通知(RDE/RRE)

処方指示は、RXEおよびRXRセグメントを詳細セグメントとして備えたRDE/RREメッセージを使用する。

#### RDE 処方オーダーメッセージ (イベントO11)

RDE	Pharmacy/Treatment Encoded Order Message	は未使用セグメント
		(HIS→部門)
MSH	Message Header	
[[ SFT ]]	Message Acknowledgment	
[[ NTE ]]	Notes and Comments (for Header)	
[		
PID	Patient Identification	
[PD1]	Additional Demographics	
[[NTE]]	Notes and Comments (for Patient ID)	
[PV1]	Patient Visit	
[PV2]]	Patient Visit - Additional Info	
[[IN1	Insurance	
[IN2]	Insurance Additional Info	
[IN3]	Insurance Add'l Info - Cert.	
]]		
[GT1]	Guarantor	
[[AL1]]	Allergy Information	
]		
{		
ORC	Common Order	
[[		
TQ1	Timing/Quantity	
[[ TQ2 ]]	Timing/Quantity Order Sequence	
]]		
[		
RXO	Pharmacy/Treatment Order	
[[NTE]]	Notes and Comments (for RXO)	
{RXR}	Pharmacy/Treatment Route	
[[		
RXC	Pharmacy/Treatment Component	
[[NTE]]	Notes and Comments (for RXC)	
]]		
]		
RXE	Pharmacy/Treatment Encoded Order	
[[NTE]]	Notes and Comments (for RXE)	
{		
TQ1	Timing/Quantity	
[[TQ2]]	Timing/Quantity Order Sequence	
}		
{RXR}	Pharmacy/Treatment Route	
[[RXC]]	Pharmacy/Treatment Component (for RXE)	
[[		

OBX	Results
[{{NTE}}]	Notes and Comments (for OBX)
}]	
[{{FT1}}]	Financial Transaction
[BLG]	Billing Segment
[{{CTI}}]	Clinical Trial Identification
}]	

注： [ ]は省略可能、{ }は繰返し可能を示す。

- MSHセグメントはオーダの出力単位(メッセージ)に一つ必須である。
- AL1セグメントはアレルギー情報が無い場合は省略する。
- RXEセグメントは、処方オーダの最小単位である。

### RRE 処方オーダ確認応答メッセージ (イベントO12)

RRE	Pharmacy/Treatment Encoded Order Acknowledgment Message (HIS←部門)
MSH	Message Header
MSA	Message Acknowledgment
[ERR]	Error
[{{ SFT }}]	Message Acknowledgment
[{{ NTE }}]	Notes and Comments (for Header)
[	
[PID	Patient Identification
[{{NTE}}]	Notes and Comments (for Patient ID)
]	
{	
ORC	Common Order
[	
[	
TQ1	Timing/Quantity
[{{ TQ2 }}]	Timing/Quantity Order Sequence
]	
[	
RXE	Pharmacy/Treatment Encoded Order
[{{NTE}}]	Notes and Comments (for RXE)
{	
TQ1	Timing/Quantity
[{{ TQ2 }}]	Timing/Quantity Order Sequence
}	
[{{RXR}}]	Pharmacy/Treatment Route
[{{RXC}}]	Pharmacy/Treatment Component
]	
}	
]	

注： [ ]は省略可能、{ }は繰返し可能を示す。

## 6.2 患者情報照会(QBP/RSP)

薬剤の配送先照会はパラメータによる参照メッセージ(QBP)を用い、応答はセグメントパターン応答メッセージ(RSP)を使用する。その場合のセグメントと構文規則は以下のとおりである。薬剤部門においては、薬剤の配送先確認のため、入院病床を照会する。

### QBP 患者情報照会メッセージ

		[ ] は未使用セグメント (部門→HIS)
QBP	Query By Parameter	
MSH	Message Header	
[ {SFT} ]	Software Segment	
QPD	Query Definition	
RCP	Response Control Parameters	
[ DSC ]	Continuation Pointer	

### RSP 患者情報応答メッセージ

		[ ] は未使用セグメント (部門←HIS)
RSP	Segment Pattern Response	
MSH	Message Header	
[ {SFT} ]	Software Segment	
MSA	Message Acknowledgement	
[ { ERR } ]	Error	
QAK	Query Acknowledgement	
QPD	Query Parameter Definition Segment	
{		
PID	Patient Identification	
[ {NK1} ]	Next of Kin / Associated Parties	
PV1	Patient Visit	
[ {PV2} ]	Patient Visit - Additional Info	
[ {AL1} ]	Allergy Information	
[ {OBX} ]	Observation/Result	
[ {IN1} ]	Insurance	
}		
[ DSC ]	Continuation Pointer	

注： [ ]は省略可能、{ }は繰返し可能を示す。

### 6.3 処方依頼情報照会(QBP/RSP)

#### QBP オーダ情報照会メッセージ

		□ は未使用セグメント (部門→HIS)
QBP	Query By Parameter	
MSH	Message Header	
[ {SFT} ]	Software Segment	
QPD	Query Definition	
RCP	Response Control Parameters	
[ DSC ]	Continuation Pointer	

#### RSP オーダ情報応答メッセージ

		□ は未使用セグメント (部門←HIS)
RSP	Segment Pattern Response	
MSH	Message Header	
[ {SFT} ]	Software Segment	
MSA	Message Acknowledgement	
[ { ERR } ]	Error	
QAK	Query Acknowledgement	
QPD	Query Parameter Definition Segment	
{		
PID	Patient Identification	
[PV1]	Patient Visit	
[{AL1}]	Allergy Information	
{		
ORC	Common Order	
RXE	Pharmacy/Treatment Encoded Order	
{TQ1}	Timing/Quantity	
{RXR}	Pharmacy/Treatment Route	
}		
}		
[ DSC ]	Continuation Pointer	

注: []は省略可能、{}は繰り返し可能を示す。

## 7. 関連セグメント詳細

### 7.1 MSH - Message Header Segment メッセージヘッダセグメント

MSHセグメントは、メッセージの構文の目的、発信源、宛先、特性を定義する。

HL7属性表 MSH-Message Header メッセージヘッダ

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	ITEM #	ELEMENT NAME	NOTE
1	1	ST	R	R		00001	Field Separator フィールド区切文字	
2	4	ST	R	R		00002	Encoding Characters コード化文字	
3	227	HD	O	O		00003	Sending Application 送信アプリケーション	
4	227	HD	O	O		00004	Sending Facility 送信施設	
5	227	HD	O	O		00005	Receiving Application 受信アプリケーション	
6	227	HD	O	O		00006	Receiving Facility 受信施設	
7	26	TS	O	R		00007	Date/Time Of Message メッセージ日付/時間	
8	40	ST	O	O		00008	Security セキュリティ	
9	15	MSG	R	R		00009	Message Type メッセージ型	
10	20	ST	R	R		00010	Message Control ID メッセージ制御ID	
11	3	PT	R	R		00011	Processing ID 処理ID	
12	60	VID	R	R		00012	Version ID バージョンID	
13	15	NM	O	O		00013	Sequence Number シーケンス番号	
14	180	ST	O	O		00014	Continuation Pointer 継続ポインタ	
15	2	ID	O	O		00015	Accept Acknowledgment Type 受諾肯定応答型	
16	2	ID	O	O		00016	Application Acknowledgment Type アプリ肯定応答型	
17	3	ID	O	N		00017	Country Code 国コード	
18	16	ID	O	R	Y	00692	Character Set 文字セット	
19	250	CWE	O	O		00693	Principal Language of Message 主要言語	
20	20	ID	O	C		01317	Alternate Character Set Handling Scheme 文字セット操作法	
21	427	EI	O	O		01598	Message Profile Identifier メッセージプロファイル識別子	

#### Optionality

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7

#### Japan (JAHIS仕様での取り扱い)

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7
- N - not used usually. use only on the site

#### Repetition

- N - no repetition
- Y - the field may repeat an indefinite or site determined number of times (integer)- the field may repeat up to the number of times specified in the integer

## MSHフィールド定義

### MSH-1 Field Separator フィールド区切文字 (ST) 00001

定義：セグメントIDと最初の実フィールド(MSH-2-コード化文字)間のセパレータ。そのようなセパレータとしての他に、残りのメッセージでセパレータとして使う文字を定義する。推奨値は | (ASCII 124)である。

### MSH-2 Encoding Characters コード化文字 (ST) 00002

定義：次の順番で並べられた4文字、つまり、成分セパレータ、反復セパレータ、エスケープ文字、副成分セパレータ。推奨値は ^^& (ASCII 94,126,92 and 38) である。メッセージ区切文

字の解説を参照。

**MSH-3 Sending Application 送信アプリケーション (HD) 00003**

定義：送信アプリケーションを識別するために用いる。

**MSH-4 Sending Facility 送信施設 (HD) 00004**

定義：送信元施設を区別するため送信側の施設コードや略称などをセットする。

**MSH-5 Receiving Application 受信アプリケーション (HD) 00005**

定義：受信アプリケーションを識別するために用いる。

**MSH-6 Receiving Facility 受信施設 (HD) 00006**

定義：受信先施設を区別するため受信側の施設コードや略称などをセットする。

**MSH-7 Date/time Of Message メッセージ日時 (TS) 00007**

定義：送信システムがメッセージを作成した日時。時間帯を指定した場合、それはメッセージ全体でデフォルトの時間帯として使われる。

**MSH-8 Security セキュリティ (ST) 00008**

定義：セキュリティの実装に関する情報であるが、その使用法は未定である。

**MSH-9 Message Type メッセージ型 (MSG) 00009**

Components: <message code (ID)> ^ <trigger event (ID)>

定義：第1成分は、HL7表0076 - メッセージ型にリストされているメッセージ型である。第2成分は、HL7表0003 - イベント型コードにリストされているトリガーイベント・コードである。受信システムはこのフィールドを使い、認識すべきデータ・セグメントを知り、また、これを転送するアプリケーションを知る。

**HL7表 0076 - Message type メッセージ型 (処方データ交換規約関連のみ掲載)**

Value	Description
QBP	Query by parameter 変数による照会
RDE	Pharmacy/treatment encoded order message 薬剤/処置の符号化オーダーメッセージ
RRE	Pharmacy/treatment encoded order acknowledgment message 薬剤/処置の符号化オーダー肯定応答メッセージ
RSP	Segment pattern response セグメントパターン応答

**HL7表 0003 - Event type イベント型 (処方データ交換規約関連のみ掲載)**

Value	Description
K11	RSP - Segment pattern response in response to QBP^Q11 セグメントパターン応答
O11	RDE - Pharmacy/treatment encoded order 薬剤/処置符号化オーダー
O12	RRE - Pharmacy/treatment encoded order acknowledgment 薬剤/処置符号化オーダーの肯定応答
Q11	QBP - Query by parameter requesting an RSP segment pattern response 部類パターン応答を要求するパラメータによる参照

**MSH-10 Message control ID メッセージ制御ID (ST) 00010**

定義：メッセージを一意に識別する番号または他の識別子。

**MSH-11 Processing ID 処理ID (PT) 00011**

Components: <processing ID (ID)> ^ <processing mode (ID)>

定義：メッセージを処理するかどうか決めるのに使用する。

**HL7表 0103 - Processing ID 処理ID**

Value	Description
D	Debugging デバギング
P	Production プロダクション
T	Training トレーニング

**HL7表 0207 - Processing mode 処理モード**

Value	Description
A	Archive アーカイブ
R	Restore from archive アーカイブからの復元
I	Initial load 初期ロード

T	Current processing, transmitted at intervals(scheduled or on demand) 現在の処理、とびとびに転送される (計画的又は要求に応じて)
not present	Not present (the default, meaning <i>current</i> processing) 存在しない (デフォルト、すなわち現在の処理)

**MSH-12 Version ID バージョンID (VID) 00012**

定義：受信システムは、バージョンIDを認識しメッセージが確実に解釈されるようにする。本規約のバージョンIDは2.5を指定する。

**HL7表 0104 - Version ID バージョンID**

Value	Description	
2.0	Release 2.0 リリース2.0	September 1988 1988年9月
2.0D	Demo 2.0 デモ2.0	October 1988 1988年10月
2.1	Release 2.1 リリース2.1	March 1990 1990年3月
2.2	Release 2.2 リリース2.2	December 1994 1994年12月
2.3	Release 2.3 リリース2.3	March 1997 1997年3月
2.3.1	Release 2.3.1 リリース2.3.1	May 1999 1999年5月
2.4	Release 2.4 リリース2.4	November 2000 2000年11月
2.5	Release 2.5 リリース2.5	May 2003 2003年5月

**MSH-13 Sequence Number シーケンス番号 (NM) 00013**

定義：値がヌルでなければ、シーケンス番号管理が行われているものとする。送信側では受信アプリケーション・施設毎にシーケンス管理することとし、増分は1とする。

**MSH-14 Continuation Pointer 継続ポインタ (ST) 00014**

定義：アプリケーションに特有の方法で継続を定義するのに使用する。施設にて定義 (但し、推奨しない)。

**MSH-15 Accept Acknowledgment Type 受諾肯定応答型 (ID) 00015**

定義：このメッセージに回答して受諾肯定応答を返すことが要求される条件を定義する。拡張肯定応答モードで要求される。取りうる値をHL7表0155に示す。

**HL7表 0155 - Accept/application acknowledgment conditions アプリケーション肯定応答型**

Value	Description
AL	Always 常に
NE	Never 決してない
ER	Error/reject conditions only エラー/リジェクト状態のみ
SU	Successful completion only 正常終了時のみ

注記： MSH-15とMSH-16が省略(または両方ともnull)の場合、オリジナルの肯定応答モード規則が使われる。

**MSH-16 Application Acknowledgment Type アプリケーション肯定応答型 (ID) 00016**

定義：このメッセージに回答してアプリケーション肯定応答を返すことが要求される条件を定義する。拡張肯定応答モードで要求される。取りうる値をHL7表0155に示す。

**MSH-17 Country Code 国コード (ID) 00017**

定義：メッセージの発信国を定義する。主に通貨単位などのデフォルト要素を指定するのに使用される。ISO 3166は、使用可能な国コードのリストを提供する。通常本フィールドは使用しない。

**MSH-18 Character Set 文字セット (ID) 00692**

定義：メッセージ全体に使用する文字セットコードを定義する。有効な文字セットをHL7表0211に示す。

**HL7表 0211 - Character sets 文字セット**

Value	Description	Comment
ASCII	The printable 7-bit ASCII character set 印刷可能な7ビットの文字セット	(このフィールドを省略する場合、これがデフォルトである)

8859/1	The printable characters from the ISO 8859/1 Character set ISO 8859/1の文字セットからの印刷可能な文字	
8859/2	The printable characters from the ISO 8859/2 Character set ISO 8859/2の文字セットからの印刷可能な文字	
8859/3	The printable characters from the ISO 8859/3 Character set ISO 8859/3の文字セットからの印刷可能な文字	
8859/4	The printable characters from the ISO 8859/4 Character set ISO 8859/4の文字セットからの印刷可能な文字	
8859/5	The printable characters from the ISO 8859/5 Character set ISO 8859/5の文字セットからの印刷可能な文字	
8859/6	The printable characters from the ISO 8859/6 Character set ISO 8859/6の文字セットからの印刷可能な文字	
8859/7	The printable characters from the ISO 8859/7 Character set ISO 8859/7の文字セットからの印刷可能な文字	
8859/8	The printable characters from the ISO 8859/8 Character set ISO 8859/8の文字セットからの印刷可能な文字	
8859/9	The printable characters from the ISO 8859/9 Character set ISO 8859/9の文字セットからの印刷可能な文字	
ISO IR14	Code for Information Exchange (one byte) (JIS X 0201-1976) 情報交換用コード(1バイト)(JIS X 0201-1976)	コードはスペースを含んでいることに注意。すなわち“ISO IR14”
ISO IR87	Code for the Japanese Graphic Character set for information interchange (JIS X 0208-1990) 日本のグラフィック文字集合用の情報交換コード(JIS X 0208-1990)	コードはスペースを含んでいることに注意。すなわち“ISO IR87” 日本ではJIS X 0208はエスケープシーケンスを必要としており、エスケープ技術はISO2022である。標準ASCIIでは、エスケープシーケンス“escape”\$B(16進数、1B 24 42)は以下のバイトは2バイトの幅であることを自身に知らせる。ASCIIへもどるには1B 28 42である。
ISO IR159	Code of the supplementary Japanese Graphic Character set for information interchange (JIS X 0212-1990) 補助的な日本のグラフィック文字集合用の情報交換コード (JIS X 0212-1990)	コードはスペースを含んでいることに注意。すなわち“ISO IR159”
<b>注:</b> 文字セットにかかわらずフィールド区切り文字は 7-bit ASCII 文字セットである。		

異なる文字セットの反復はデータ型PNとXPNのみに適用される。本フィールドの指定がないもしくは反復の第一成分がNullの場合はsingle-byte character set (ASCII (ISO IR-6))が適用される。本フィールドが出現し第一成分が特定される場合この文字セットがメッセージのデフォルト文字セットとなる。これはシングルバイト文字セットでなければならない。(例えば ISO-IR 6, ISO-IR 13, ISO-IR 14, ISO-IR 100, etc.) 第二第三成分は代替文字セットが使用できダブルバイト文字セットも含まれる。(例えば ISO IR87) デフォルト文字セットは常にシングルバイト文字セットであり、ISO-IR 6 (ISO 646) or ISO-IR 14 (JIS X 0201-1976)の G0 域である。

半角カタカナは全てのフィールドで使用しないようにすること。漢字を使用する場合~ISO IR87が一般的で、さらにJIS補助漢字を使用する場合続けて~ISO IR159とする。

#### MSH-19 Principal language of message 主要言語 (CWE) 00693

定義：メッセージの主要言語を定義する。コードはISO 639を使用。

**MSH-20 Alternate character set handling scheme 文字セット操作法 (ID) 01317**

定義：文字セットを切り替えるためのエスケープシーケンス方式を定義する。ISO 2022-1994を使用する。

**MSH-21 Message Profile Identifier メッセージプロファイル識別子 (ED) 01598**

定義：サイトは、このフィールドを、メッセージプロファイルの準拠を主張するか、もしくは参照する際に使用することができる。メッセージプロファイルは、文法、構文および特定のメッセージやメッセージのセットの詳細化された説明を含む。

このフィールドの反復は、メッセージプロファイルの作成と名前付けに、より柔軟性を持たせる。反復を用いることで、このフィールドは、メッセージが従うメッセージプロファイルのセットを指定できる。

V2.5において、HL7メッセージプロファイル識別子は適合要求や発行/購読システムに使われているかもしれない。

V2.5より以前、このフィールドは適合文書IDと呼ばれていた。下位互換性のため、ここでは適合文書IDを使うことができる

## 7.2 MSA - Message Acknowledgment Segment メッセージ肯定応答セグメント

MSAセグメントは、他のメッセージの肯定応答の特性を定義する。

HL7属性表 MSA—Message Acknowledgment メッセージ肯定応答

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	ITEM #	ELEMENT NAME	NOTE
1	2	ID	R	R		00018	Acknowledgment Code 肯定応答コード	
2	20	ST	R	R		00010	Message Control ID <u>メッセージ制御ID</u>	
3	80	ST	B	B		00020	Text Message <u>テキストメッセージ</u>	
4	15	NM	O	O		00021	Expected Sequence Number <u>予想シーケンス</u>	
5			W	W		00022	Delayed Acknowledgment Type <u>遅延肯定応答タイプ</u>	
6	250	CWE	B	B		00023	Error Condition <u>エラー状態</u>	

### Optionality

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7
- W - withdrawn

### Japan (JAHIS仕様での取り扱い)

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7
- N - not used usually. use only on the site
- W - withdrawn

### Repetition

- N - no repetition
- Y - the field may repeat an indefinite or site determined number of times (integer)- the field may repeat up to the number of times specified in the integer

## MSAフィールド定義

### MSA-1 Acknowledgment Code 肯定応答コード 00018

定義：このフィールドでは肯定応答コードを含んでおり、メッセージ処理規則に従っている。  
テーブル0008—肯定応答コードを参照。

HL7表 0008 - Acknowledgment Code 肯定応答コード

Value	Description	Comment
AA	基本モード:アプリケーション受諾 拡張モード:アプリケーション肯定応答:受諾	
AE	基本モード:アプリケーションエラー 拡張モード:アプリケーション肯定応答:エラー	
AR	基本モード:アプリケーションリジェクト 拡張モード:アプリケーション肯定応答:リジェクト	
CA	拡張モード:受諾肯定応答:コミット受諾	
CE	拡張モード:受諾肯定応答:コミットエラー	
CR	拡張モード:受諾肯定応答:コミットリジェクト	

### MSA-2 Message Control ID メッセージ制御ID (ST) 00010

定義：このフィールドは送信システムから送られてきたメッセージのメッセージ制御IDを含んでいる。送信システムは、この応答と、それが目的とするメッセージを関連づける。

### MSA-3 Text Message テキストメッセージ (ST) 00020

定義：エラー条件をより詳細に記述するオプションのテキストフィールド。このテキストは、エラーログに印刷するか、あるいはエンドユーザに提示することができる。

MSA-3はv 2.4で否定された。エラー内容についてはERRセグメントを参照のこと。ERRセグメントはエラー状況についてより詳細な記述が可能である。

**MSA-4 Expected Sequence Number 予想シーケンス (NM) 00021**

定義： シーケンス番号プロトコルで使用するオプションの数値フィールド。

**MSA-5 Delayed Acknowledgment Type 遅延肯定応答タイプ (ID) 00022**

定義： このフィールドは下位互換性のためのものである。

**HL7表 0102 - Delayed acknowledgment type 遅延肯定応答タイプ**

Value	Description	Comment
D	メッセージが受領され、後の処理に備えて蓄積された	
F	処理の後の承認	

注意:MSA-5はv2.2で否定されたので、詳細はv2.5の規格からは削除されている。

**MSA-6 Error Condition エラー条件 (CWE) 00023**

Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義： このフィールドは肯定応答システムがユーザ定義のエラーコードを使用し、ARタイプまたはAEタイプの肯定応答をさらに規定することができる。このフィールドは、MSA-3でカスタムメッセージの代わりに一般に使われる。

※エラーコードに関しては両者間で調整の上用いる。

MSA-6はv 2.4で否定された。エラー内容についてはERRセグメントを参照のこと。ERRセグメントはエラー状況についてより詳細な記述が可能である。

## 7.3 ERR - Error Segment エラーセグメント

ERR セグメントを使用して、エラーコメントを肯定応答メッセージに加える。

ユースケース:

**影響度(Severity):**受信アプリケーションは2つのメッセージ、一つはエラー、もう一方は警告、を生成し、どちらか一方を送信する。アプリケーションは両方を表示し、メッセージに適切な影響度を付加する。

**アプリケーションエラーコード:**受信アプリケーションは、アプリケーションエラーコードを報告するエラーを生成し、その応答でエラー情報を返す。結果としてこのコードは、エラーの正確な原因を特定するためにヘルプデスク・スタッフに使用されるか、ユーザに対して適切な応答を指示するためにアプリケーションに使用される。(例:死亡日は誕生日と同日かもしくは後の日付でなければならない)

**アプリケーションエラーパラメータ:**受信アプリケーションは、トランザクションの処理中にエラーを生じることがある。エラーコードに加えて、そのアプリケーションはエラーの正確な性質を示すように詳細情報を表すエラーパラメータを提供する。受信アプリケーションはエラーコードと対応するメッセージおよびパラメータの内容を調べ、ユーザに対して結果メッセージを表示する。

**診断インフォメーション:**トランザクション処理中、受信アプリケーションが例外に遭遇するとする。例外が生じた時、遭遇したエラーに関係する詳細情報を提供する。受信アプリケーションは情報を所得し、応答としてそれを返す。ユーザはヘルプデスクにエラーを報告し、依頼に応じて、問題分析を援助するために診断インフォメーションのコピーをファックスする。

**ユーザメッセージ:**ユーザは、処理をさらに進めるため、別のアプリケーションに送られたトランザクションを発生させるアプリケーション機能を実行する。この処理の間、受信アプリケーションはエラーに遭遇し、エラー対処ルーチンの一環として、その応答として返ってくるユーザメッセージを取り出す。元のアプリケーションは、エンドユーザがその問題を解決してエラー無しで再実行できるようにするために、応答されたエラーを受け取り、それを表示する。

**人への通知コード:**処方箋のトランザクションを発行した後、患者が薬を誤用しているかもしれないことをユーザに知らせる応答が返されるとする。警告に対する感度を与えるため、このエラーを患者に知らせるべきではないという指標と、この警告を無視するか確認するかのステップの影響とを含むエラーが返される。

**無効型:**業務ルールが保留中の処方箋が施せないと提示している場合、ルールの例外として処方箋を施すことを許可するため、無効型は“保留中の処方箋を施す”となる。

**無効理由コード:**処方箋が患者に与えられ処方箋が完全に終了する前で、残った錠剤がなくなったとする。患者は薬局に戻り、状況を薬剤師に説明する。薬剤師はなくなった薬の代わりに新たな薬を処方すると決めるが、このイベントを記録しようと試みると、処方箋の最大限量を超えたというメッセージが返る。薬剤師はこのルールを無効にし、紛失した製品の代わりであることを示す無効理由コードを指定する。

**ヘルプデスクコンタクト:**ヘルプデスクに問合せた情報はデータベースに蓄積される。アプリケーションエラーに遭遇したとき、そのデータベースは照会され、最新のヘルプデスクコンタクト情報がエラーメッセージとして返される。このメッセージが受信アプリケーションによってユーザに表示される。

最適エラー場所情報:受信システムが、ROL.4(役割人物-XCN).16(氏名状況-CWE).4(代替識別子-IS)の3回目の反復エラーを感知するとする。そのアプリケーションはエラーが発生した際に、反復と成分を特定し、問題の分析を単純化する。

複数のエラーロケーションのサポート:二つのフィールドが条件付であり、そのうち一つは指定されなければならないとする。送信アプリケーションが両方をブランクとして残した場合を考える。受信アプリケーションは問題を感じ、フィールドのうちの一つは指定されていなければならないことを示す単一のエラーを戻す。ERRセグメントは、エラーに関するメッセージに含まれる両方の位置を指定する。

### HL7属性表 ERR-Error エラー

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	ITEM #	ELEMENT NAME	NOTE
1	493	ELD	B	B	Y	00024	Error Code and Location エラーコードと位置	
2	18	ERL	O	O	Y	01812	Error Location エラー位置	
3	705	CWE	R	R		01813	HL7 Error Code HL7エラーコード	
4	2	ID	R	R		01814	Severity 影響度	
5	705	CWE	O	O		01815	Application Error Code アプリケーションエラーコード	
6	80	ST	O	O	Y/10	01816	Application Error Parameter アプリケーションエラーパラメータ	
7	2048	TX	O	O		01817	Diagnostic Information 診断情報	
8	250	TX	O	O		01818	User Message ユーザメッセージ	
9	20	IS	O	O	Y	01819	Inform Person Indicator 人への通知指標	
10	705	CWE	O	O		01820	Override Type 無効型	
11	705	CWE	O	O	Y	01821	Override Reason Code 無効理由コード	
12	652	XTN	O	O	Y	01822	Help Desk Contact Point ヘルプデスクコンタクトポイント	

#### Optionality

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7

#### Japan (JAHIS仕様での取り扱い)

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7
- N - not used usually. use only on the site

#### Repetition

- N - no repetition
- Y - the field may repeat an indefinite or site determined number of times
- (integer)- the field may repeat up to the number of times specified in the integer

## ERRフィールド定義

### ERR-1 Error Code and Location エラーコードとロケーション (ELD) 00024

Components: <Segment ID (ST)> ^ <Segment Sequence (NM)> ^ <Field Position (NM)> ^ <Code Identifying Error (CWE)>

Subcomponents for Code Identifying Error (CWE): <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義:このフィールドは別のメッセージ内の誤ったセグメントを識別する。V2.5のみにおいて下位互換性のため維持される:ERR-2とERR-3をかわりに参照のこと。

有効な値については HL7 表 0357 メッセージエラー条件コード を参照のこと

#### ERR-2 Error Location エラー位置 (ERL) 01812

Components: <Segment ID (ST)> ^ <Segment Sequence (NM)> ^ <Field Position (NM)> ^ <Field Repetition (NM)> ^ <Component Number (NM)> ^ <Sub-Component Number (NM)>

定義:識別されたエラー、警告、もしくはメッセージに関するメッセージ内の位置を識別する。もし複数の反復が存在した場合、エラーは場所を組み合わせた値に起因する。

#### ERR-3 HL7 Error Code HL7エラーコード (CWE) 01813

Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義:HL7(コミュニケーション)エラーコードを識別する。有効な値については HL7 表 0357-メッセージエラー条件表を参照のこと。

HL7表 0357 - メッセージエラー条件表

Value	Description	Comment
0	メッセージ受諾	成功。オプションでは、AAが成功を伝えるだけ。常時状態コードを返す必要があるシステムのために利用される
100	セグメントシーケンスエラー	エラー:メッセージセグメントが適当な順番でないか、要求されたセグメントが失われている
101	要求されたフィールドの消失	エラー:要求されたセグメントが消失している
102	データ型エラー	エラー:フィールドが不正なエラーを含んでいる。例えば NM フィールドが"FOO"を含んでいる
103	表の値が見つからない	エラー: データ型IDかISのフィールドが対応する表と比較され、合致するものが無い
200	提供されていないメッセージ型	却下:そのメッセージ型は提供されていない
201	提供されていないイベントコード	却下:そのイベントコードは提供されていない
202	提供されていない処理 ID	却下:その処理 ID は提供されていない
203	提供されていないバージョン ID	却下:そのバージョン ID は提供されていない
204	不明なキー識別子	却下: 患者、オーダ等の ID が見つからない。付加以外ではトランザクションに用いられる。例えば存在しない患者の転送
205	キー識別子の重複	却下:患者やオーダ等の ID が既に存在している。付加トランザクションの応答で用いられる(許可、新オーダ等)
206	アプリケーションレコードがロックされている	トランザクションが、アプリケーション格納レベルで実行することができなかった(例えばデータベースのロック)
207	アプリケーション内部エラー	却下: 他のコードで明示的に対象としていない、包括的な内部エラー用

#### ERR-4 Severity 影響度 (ID) 01814

定義:アプリケーションエラーの影響度を識別する。もし何かエラーであるとわかると、警告や情報にアプリケーションがそのエラー内容に対処する方法が示される。有効な値は HL7 表 0516-エラー影響度を参照のこと。もし ERR-3 の値が"0"の場合、ERR-4 の値は"1"となる。

例:警告は、注意すべきことがあるが、それは自動的に処理されず、さらに情報が消失してしまったことを示すために使われる。

情報の例:要求を受理した際、受理者は下限値の範囲内であることを示してよい。

**HL7表 0516 – エラー影響度**

Value	Description	Comment
W	警告	トランザクションは成功したが、何か問題がある
I	情報	トランザクションは成功したが、何か情報を含む、例)患者へ伝えるべき情報
E	エラー	トランザクションが失敗した。

**ERR-5 Application Error Code アプリケーションエラーコード (CWE) 01815**

Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義:発生した特定のエラーを識別するためのアプリケーション特定のコード。推奨される値は HL7 表 0533-アプリケーションエラーコードを参照のこと。

もしコードと関連するメッセージにパラメータがある場合、メッセージは java .text.MessageFormat approach<sup>1</sup>フォーマットで表されることが推奨されている。このスタイルはパラメータ型の情報に数値、データ、時間を供給することができ、それらは言語に合わせて適当にフォーマットされる。

**HL7表 0533 – アプリケーションエラーコード**

Value	Description	Comment
	推奨値なし	

**ERR-6 Application Error Parameter アプリケーションエラーパラメータ (ST) 01816**

定義:特別なエラー条件/警告/その他を理解するために、アプリケーションエラーコードと共に付加される追加情報。このフィールドは最大 10 パラメータまで反復が可能である。

例:ERR-5 で指定されているアプリケーションエラーコードが英語のメッセージ”この患者は、{1,日付,媒体}までの期間、{0,数字,通貨単位}の免責をうけることができる”と一致し、ERR-6 の最初の 2 つの反復が”250”と”20021231”であった場合、アメリカの受信アプリケーションは”この患者は 2002 年 12 月 31 日までの期間、250 ドルの免責をうけることができる”というメッセージを表示する。

**ERR-7 Diagnostic Information 診断情報 (TX) 01817**

定義:ヘルプデスクや、問題を診断するサポート人物によって使われる情報。

**ERR-8 User Message (TX) 01818**

定義:アプリケーションユーザに対して表示されるテキストメッセージ。

例:

|この問題は他のシステムとの通信トラブルです。ヘルプデスクに連絡して下さい。|

これは実際のエラーコードと違い、より詳細な診断情報を提供する。

**ERR-9 Inform Person Indicator (IS) 01819**

定義:誰(だれでも)に対してエラーを知らせるかを示すコード。このフィールドはまた、特定の人物にエラーを知らせてはいけない場合にも使用される(患者に知らせてはいけない場合など)。推奨される値は使用者定義表 0517-情報人物コードを参照のこと

<sup>1</sup> メッセージフォーマットの詳細は下記 URL を参照のこと  
<http://java.sun.com/products/jdk/1.2/docs/api/java/text/MessageFormat.html>

**使用者定義表 0517 – 情報人物コード**

Value	Description	Comment
PAT	患者に知らせる	
NPAT	患者に知らせるはいけない	
USR	ユーザに知らせる	
HD	ヘルプデスクに知らせる	

**ERR-10 Override Type 無効型 (CWE) 01820**

定義:特定のエラーを無効にする際に使われる無効型を識別する。推奨される値は使用者定義表 0518 無効型を参照のこと。

**使用者定義表 0518 – 無効型**

Value	Description	Comment
EXTN	拡張無効	命令された期間より長くサービスを実行する際に指定する無効
INLV	間隔無効	命令された間隔よりも早くサービスの回復を実行する際に指定される無効
EQV	等価無効	システムが事前に命令されたサービスと等価であると認識できない命令を実行する際に指定される無効

**ERR-11 Override Reason Code 無効理由コード (CWE) 01821**

定義:エラーを発生させたアプリケーション規則を無効にした際に使われた無効コードのリストを提供する。推奨される値は使用者定義表 0519-無効理由を参照のこと。

**使用者定義表 0519 – 無効型**

Value	Description	Comment
...	推奨値なし	

**ERR-12 Help Desk Contract Point ヘルプデスクコンタクトポイント (XTN) 01822**

定義:特定のエラーに関するヘルプデスクサポートの電話、Eメール、ファックスその他関係のある番号のリスト。

## 7.4 QPD - Query Parameter Definition Segment 照会パラメータセグメント

QPDセグメントは照会のパラメータを定義する。

HL7属性表 QPD—Query Parameter Definition 照会パラメータ

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	ITEM#	ELEMENT NAME	NOTE
1	250	CWE	R	R		01375	Message Query Name メッセージ照会名	
2	32	ST	C	C		00696	Query Tag 照会タグ	
3-n	256	-	-	-		-	User Parameter ユーザ・パラメータ	各照会で定義

### Optionality

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7

### Japan (JAHIS仕様での取り扱い)

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7
- N - not used usually. use only on the site

### Repetition

- N - no repetition
- Y - the field may repeat an indefinite or site determined number of times (integer)- the field may repeat up to the number of times specified in the integer

## QPDフィールド定義

### QPD-1 Message Query Name メッセージ照会名 (CWE) 01375

Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは照会名を含む。これらの具体的な値は、この機能を使用する各章に指定されている。照会名はコンフォーマンス・ステートメントと一対一であり、その識別子である。各施設でローカル定義した照会名は文字 Z から始まる。照会名の定義は使用者定義表 0471-照会名を参照すること。

使用者定義表 0471 - 照会名

Value	Description	Comment
	提案値は定義されていない	

### QPD-2 Query Tag 照会タグ (ST) 00696

定義：このフィールドは、照会を識別するために照会するシステムによって値が設定され、応答と照会を突合するために使用する。照会時にこのフィールドに値が設定されていれば、応答するシステムは、照会承認セグメント(QAK)の最初のフィールドとして、この値をエコーバックすることが要求される。この値は照会に関係があるそれぞれのメッセージ(すなわちすべての継続メッセージ)で同じ値を設定するため、このフィールドは、MSA-2-メッセージ・コントロール ID と異なる。MSA-2-メッセージ・コントロール ID は、それが全体としての照会ではなく、それぞれの個々のメッセージに関係があるので、それぞれの継続メッセージによって異なる可能性がある。

[実装時の考慮：ソケットの返答メッセージだけが、今送られた照会に対して唯一の応答になる場合には、実装でこのフィールドに値を入れる必要がない。逆に、多くの照会、応答、および他の

メッセージを、同一ソケットを利用する「非同期通信」を利用する場合には、サーバーがどの照会に答えているかをクライアントが判別できるように、このフィールドに値を入れなければならない。]

### QPD-3 User Parameter ユーザ・パラメータ (多様) 01435

定義：これ以降のフィールドは、クライアントがサーバーに受け渡す値を保持する。各フィールドはパフォーマンス・ステートメントで定義された1つのパラメータに相当し、名前、タイプ、オプション、および繰り返しがそれぞれ規定される。また、これらのパラメータは一般的には AND 結合され、利用者はパフォーマンス・ステートメントの要求を厳密に検査する必要がある。各パラメーター・フィールドは、QIP および QSC タイプを含む、あらゆるデータタイプがパフォーマンス・ステートメントによって指定される。また、パラメーター・フィールドはソート・コントロール(SRT)フィールド、あるいはセグメント・グループ(ID)フィールドを含んでもよい。QPD セグメントのパラメーター・フィールドは、パフォーマンス・ステートメントのいくつかの指示によって形成される。

## 7.5 QAK - Query Acknowledgment Segment 照会認知セグメント

QAK セグメントは、照会に対する応答で送られた情報を含んでいる。QAK セグメントは拡張照会に対する応答に必要なが、いずれのオリジナルモードの照会に対する、いずれの照会応答(メッセージ)中の ERR セグメント (オプション) の後に置かれるオプションセグメントとして現れても良い。

HL7属性表 QAK- Query Acknowledgment 照会認知

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	ITEM#	ELEMENT NAME	NOTE
1	32	ST	C	C		00696	Query Tag 照会タグ	
2	2	ID	O	O		00708	Query Response Status 照会応答状態	
3	250	CWE	O	O		01375	Message Query Name メッセージ照会名	
4	10	NM	O	O		01434	Hit Count ヒットカウント合計	
5	10	NM	O	O		01622	This payload ジス・ペイロード	
6	10	NM	O	O		01623	Hits remaining 残りのヒット	

### Optionality

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7

### Japan (JAHIS仕様での取り扱い)

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7
- N - not used usually. use only on the site

### Repetition

- N - no repetition
- Y - the field may repeat an indefinite or site determined number of times (integer)- the field may repeat up to the number of times specified in the integer

## QAKフィールド定義

### QAK-1 Query Tag 照会タグ (ST) 00696

定義： このフィールドは開始システムによって照会を識別するために値が入れられ、開始された照会に応答メッセージを一致させるために使用されてもよい。もしそこに値が入っていれば、応答システムはそれを照会認識セグメント (QAK) 中の第1のフィールドとしてエコーバックするよう要求される。このフィールドは、MSA-2メッセージ制御 ID とは異なる。その値は、照会に関連した個々のメッセージ (すなわちすべての継続メッセージ) に対して一定である。一方、MSA-2メッセージ制御 ID は各継続メッセージに応じて変わる。なぜなら、それは個々のメッセージに関連し全体としての照会に関連していないからである。QAK-1 照会タグは、オリジナル・モード照会の QRD-1 照会 ID フィールドの存在という条件付ではない：オリジナル・モード照会においては、QAK-1 照会タグは使用しない。

### QAK-2 Query Response Status 照会応答状態 (ID) 00708

定義： このフィールドによって、応答システムは正確な応答状態を返すことができる。それは、照会パラメータと一致するデータが見つからないが、エラーがない場合に特に有用である。それはHL7表0208-照会応答状態で定義される。

HL7表 0208-照会応答状態

Value	Description	Comment
OK	データ検出 エラー無し (これはデフォルトである)。	
NF	データ未検出 エラー無し	

Value	Description	Comment
AE	アプリケーションエラー	
AR	アプリケーション拒絶	

**QAK-3 Message Query Name メッセージ照会名 (CWE) 01375**

Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義: このフィールドは照会名を含む。これらの名前は、この仕様の機能に特定した章に指定されている。サイトに特定のイベント再生照会名は、文字 Z から始まる。提案された値については、使用者定義表 0471-照会名参照。

**使用者定義表0471-照会名**

Value	Description	Comment
	提案値は定義されていない	

**QAK-4 Hit Count Total ヒットカウント合計 (Hit count total)**

定義: 使われる場合には、このフィールドは、照会で一致したサーバーによって見つけられたレコードの合計が入る。表による応答の場合には、これは見つけられた列の数である。その他の応答タイプでは、コンフォーマンス・ステートメントで「ヒット」の意味を定義する。

**QAK-5 This Payload ジス・ペイロード (NM) 01622**

定義: 使われる場合には、このフィールドは、サーバーが現在の応答で送付した一致レコードの合計数を含む。一部分の分割した応答を送るために、継続プロトコルが使われる場合には、この数は、QAK -4 ヒットカウント合計で送られた値とは異なるであろう。

**QAK-6 Hits Remaining 残りのヒット (NM) 01623**

定義: 使われる場合には、このフィールドは、サーバーが見つけた一致レコードのうち、これから送る部分の合計数を含む。これは、サーバーが部分的な応答を送信するために、継続プロトコルが使われる場合にのみ意味がある。

## 7.6 PID - Patient Identification Segment 患者識別セグメント

PIDセグメントは、患者識別情報を通信する主要な手段としてすべてのアプリケーションによって使用される。このセグメントは患者を永久に識別する情報と調査情報を含むが、この大部分はそれほど頻繁に変化しない。

HL7属性表 - PID - 患者識別情報

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	ITEM#	ELEMENT NAME	NOTE
1	4	SI	O	O		00104	Set ID - Patient ID セットID-患者ID	
2	20	CX	B	B		00105	Patient ID (External ID) 患者ID(外部ID)	
3	250	CX	R	R	Y	00106	Patient ID (Internal ID) 患者ID(内部ID)	
4	20	CX	B	B	Y	00107	Alternate Patient ID - PID 代替患者ID	
5	250	XP	R	R	Y	00108	Patient Name 患者氏名	
6	250	XP	O	N	Y	00109	Mother's Maiden Name 母親の旧姓	
7	26	TS	O	R		00110	Date/Time of Birth 生年月日年齢	
8	1	IS	O	R		00111	Sex 性別	
9	250	XP	B	N	Y	00112	Patient Alias 患者別名	
10	250	CWE	O	N	Y	00113	Race 人種	
11	250	XAD	O	O	Y	00114	Patient Address 患者住所	
12	4	IS	B	N		00115	County Code 郡コード	
13	250	XTN	O	O	Y	00116	Phone Number - Home 電話番号-自宅	
14	250	XTN	O	O	Y	00117	Phone Number - Business 電話番号-勤務先	
15	250	CWE	O	N		00118	Primary Language 言語-患者	
16	250	CWE	O	O		00119	Marital Status 婚姻状況	
17	250	CWE	O	N		00120	Religion 宗教	
18	250	CX	O	O		00121	Patient Account Number 患者会計番号	
19	16	ST	B	N		00122	SSN Number - Patient SSN番号-患者	
20	25	DLN	B	N		00123	Driver's Lic Num - Patient 運転免許証番号-患者	
21	250	CX	O	O	Y	00124	Mother's Identifier 母親の識別子	
22	250	CWE	O	N	Y	00125	Ethnic Group 人種のグループ	
23	250	ST	O	N		00126	Birth Place 誕生場所	
24	1	ID	O	N		00127	Multiple Birth Indicator 多胎児誕生標識	
25	2	NM	O	N		00128	Birth Order 誕生順序	
26	250	CWE	O	N	Y	00129	Citizenship 市民権	
27	250	CWE	O	N		00130	Veterans Military Status 退役軍人状況	
28	250	CWE	B	B		00739	Nationality 国籍	
29	26	TS	O	O		00740	Patient Death Date and Time 患者死亡日時	
30	1	ID	O	O		00741	Patient Death Indicator 患者死亡識別	
31	1	ID	O	O		01535	Identity Unknown Indicator 身元不明識別	
32	20	IS	O	O	Y	01536	Identity Reliability Code 身元信頼度	
33	26	TS	O	O		01537	Last Update Date/Time 最終更新日	
34	241	HD	O	O		01538	Last Update Facility 最終更新施設	
35	250	CWE	C	N		01539	Species Code 種	
36	250	CWE	C	N		01540	Breed Code 品種	
37	80	ST	O	N		01541	Strain 血統	
38	250	CWE	O	N	2	01542	Production Class Code 製品クラスコード	
39	250	CWE	O	N	Y	01840	Tribal Citizenship 所属種族	

Optionality

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7

Japan (JAHS仕様での取り扱い)

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7
- N - not used usually. use only on the site

Repetition

- N - no repetition
- Y - the field may repeat an indefinite or site determined number of times (integer)- the field may repeat up to the number of times specified in the integer

## PIDフィールド定義

### PID-1 Set ID - Patient ID セットID-患者ID (SI) 00104

定義：セグメントの反復が許されるメッセージについては、反復を識別するためにセットIDフィールドが使用される。例えば、交換及び照会のトランザクションは、セットID値1、2、3、などの多数のPIDセグメントを持つことができる。

### PID-2 Patient ID (external ID) 患者ID(外部ID) (CK) 00105

定義：このフィールドは旧バージョンとの互換性のためにのみ残されている。独断的であった用語「外部ID」はこのフィールドの名前から取り除かれた。「PID-3患者IDリスト」における発行機関、保健機関、識別区分コードなどの繰り返しは特長ある識別情報を示すために許されている。このフィールドはシステムにおいては「外部」として取り決められた解釈として残されている。PID-3患者IDリストはすべての患者識別情報として使われることを推奨されている。

過去との互換性を持つことが必要な時、患者が外部の施設、事務所他来た時には、このフィールドは値を持たなければならない。そして、このフィールドでその移動元の施設で使用していた識別子が示されなければならない。この識別子は異なる施設で使用されるものかもしれないし、医療機関で共用しているものかもしれない。HL7表0061チェックデジットスキーマを参照のこと。

### PID-3 Patient ID (internal ID 患者ID(内部ID) (CX) 00106

Components: <ID Number (ST)> ^ <check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Effective Date (DT)> ^ <Expiration Date (DT)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>

定義：患者を一意的に識別するため施設によって使用されるID(たとえば患者IDやカルテ番号、請求書番号など)。患者IDを設定。

【処方】本規約では以下の形式で利用する。

成分：<患者ID>^^^PI

患者IDが繰り返された場合は、1件目を患者IDとして解釈する。

### PID-4 Alternate Patient ID - PID 代替患者ID (ST) 00107

定義：このフィールドは旧バージョンとの互換性のためにのみ残されている。すべての患者識別情報は「PID-3患者IDリスト」を使用することを推奨する。もしこのフィールドを旧バージョンのとの互換性のために使う時は、このフィールドには代替え、一時的、もしくは必要な場合には保留中のオプション患者識別情報、または補足的な患者識別情報に使用する。このフィールドはまた複数の患者IDを運ぶことに使うこともできる。その中には来院番号、来院日、社会保険番号も含む。

### PID-5 Patient Name 患者氏名 (XPN) 00108

Components: <Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <Degree (e.g., MD) (IS)> ^ <Name Type Code (ID)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Name Context (CWE)> ^ <Name Validity Range (DR)> ^ <Name Assembly Order (ID)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)>

Subcomponents for Family Name (FN): <Surname (ST)> & <Own Surname Prefix (ST)> & <Own Surname (ST)> & <Surname Prefix From Partner/Spouse (ST)> & <Surname From Partner/Spouse (ST)>

定義：患者氏名をMSH-18文字セットで指定した文字コードで使用する。例えばMSH-18にASCII-ISO IR87をセットした場合、PID-5はYamada^Tarou^^^^L^A~山田^太郎^^^^L^I~ヤマダ^タロウ^^^^L^Pとなる。反復の順序には意味を持たない。姓と名の区別が困難な場合、姓のフィールドを代用するものとする。半角カタカナは全てのフィールドで使用しないようにすること。

患者の名札やフィルムのラベルなどと本フィールドの内容が同じであるよう、法律上の名前「L」を用いることが望ましく、運用に注意すべきである。

【処方】本規約では以下の形式で利用する。

成分：<姓>^<名>^^^^L^<名前表示コード>

複数の名前表示形式が存在する場合には、反復セパレータにより複数記述する。また、少なくとも、英数字もしくは表音文字による患者氏名が記述されなければならない。

**HL7表 0200 - Name Type 名前タイプコード**

Value	Description
A	Alias Name 別名
L	Legal Name 法律上の名前
D	Display Name 表示名
M	Maiden Name 旧姓(婚姻前の名前)
C	Adopted Name 養子による名前

**HL7表 0465 - Name Representation Code 名前表示コード**

Value	Description
I	Ideographic (i.e., Kanji) 表意文字(漢字)
A	Alphabetic (i.e., Default or some single-byte) シングルバイトの英数字
P	Phonetic (i.e., ASCII, Katakana, Hiragana, etc.) 表音文字(ASCII, 仮名)

**PID-6 Mother's Maiden Name 母親の旧姓 (XPN) 00109**

定義：母親の旧姓、同じラストネームを持つ患者を明確に識別するために使用する。本フィールドに出現する名前タイプは「M」である。  
通常、本フィールドは使用しない。

**PID-7 Date/Time Of Birth 生年月日 (TS) 年齢 00110**

Components: <Time (DTM)> ^ <Degree of Precision (ID)>

定義：患者の生年月日、新生児などは誕生時刻まで記述。

生年月日に続けて年齢nnnuを記載することもできる、また年齢単位uとして Y 年令、L 月令、W 週令、D 日令を使用、省略時は年令Yとする(YYYYLLDDHHMMSS^nnnu)。例えば 19900301^7 1990年3月1日生7才、^10 10才、^5D 5日齢など、和暦は不可。

【処方】本規約では「YYYYMMDD」形式による、患者の生年月日。

**PID-8 Sex 性別 (IS) 00111**

定義：患者の性別。 使用者定義表0001—性別を推奨する。

**使用者定義表 0001 - Sex 性別**

Value	Description
F	Female 女性
M	Male 男性
O	Other その他
U	Unknown 未知
A	Ambiguous 両性具有
N	Not applicable 適応外

【処方】本規約ではFとMを使用する。

**PID-9 Patient Alias 患者の別名 (XPN) 00112**

定義：このフィールドはV2.4から旧バージョンとの互換性のためにのみ残されている。患者の氏名はすべてPID-5患者氏名を使うことを推奨する。このフィールドはある時に判った患者の名前を示す。

通常、本フィールドは使用しない。

**PID-10 Race 人種 (CWE) 00113**

定義：このフィールドは患者の人種を示す。

通常、本フィールドは使用しない。

**PID-11 Patient Address 患者住所 (XAD) 00114**

Components: <Street Address (SAD)> ^ <Other Designation (ST)> ^ <City (ST)> ^ <State or Province (ST)> ^ <Zip or Postal Code (ST)> ^ <Country (ID)> ^ <Address Type (ID)> ^ <Other Geographic Designation (ST)> ^ <County/Parish Code (IS)> ^ <Census Tract (IS)> ^ <Address Representation Code (ID)> ^ <Address Validity Range (DR)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)>

Subcomponents for Street Address (SAD): <Street or Mailing Address (ST)> & <Street Name (ST)> & <Dwelling Number (ST)>

定義：このフィールドは患者の現住所を示している。

最初のエレメントは、

<Street Address (SAD)>

であり、これはさらに

<Street or Mailing Address (ST)> & <Street Name (ST)> & <Dwelling Number (ST)>

に分解されるので、日本の場合は、

虎ノ門1-19-9^^港区^東京都^105-0001^^H

のように記述する。ただし、住所を（都道府県や市町村などに）分離して管理していない場合は、最初のエレメントだけを用いて、

東京都港区虎ノ門1-19-9^^^105-0001^^H

のように記述しても構わない。また、第7成分を「B」（=会社/事業所）とすることで、患者の勤務先の郵便番号、住所を表現することもできる。

...~東京都千代田区霞が関1-3-1^^^100-8901^^B

**PID-12 County Code 郡コード (IS) 00115**

定義：患者の郡コード。

通常、本フィールドは使用しない。

**PID-13 Phone Number - Home 電話番号-自宅 (XTN) 00116**

Components: <Telephone Number (ST)> ^ <Telecommunication Use Code (ID)> ^ <Telecommunication Equipment Type (ID)> ^ <Email Address (ST)> ^ <Country Code (NM)> ^ <Area/City Code (NM)> ^ <Local Number (NM)> ^ <Extension (NM)> ^ <Any Text (ST)> ^ <Extension Prefix (ST)> ^ <Speed Dial Code (ST)> ^ <Unformatted Telephone number (ST)>

定義：このフィールドでは患者の個人的な電話番号を示す。すべての患者の個人電話番号は次の順序で送られる。最初は主として使われると思われる電話番号（旧バージョンとの互換性のため）である。もし、主として使われる電話番号がない場合は、必ず最初に反復区切り文字を送る必要がある。有効な値についてはHL7表0201遠距離通信用途コードとHL7表0202遠距離通信機器タイプを参照のこと。

なお、最初のエレメントのData TypeはSTなので、例えば、

03-3506-8010^PRN^PH

と扱うこととする。

**HL7表 0201 - Telecommunication use code 遠距離通信用途コード**

Value	Description
PRN	Primary Residence Number 主たる住居の番号
ORN	Other Residence Number その他の住居の番号
WPN	Work Number 勤務先番号
VHN	Vacation Home Number 休暇中の住居の番号
ASN	Answering Service Number 留守番電話サービス番号
EMR	Emergency Number 緊急連絡先番号
NET	Network (email) Address ネットワーク（電子メール）アドレス
BPN	Beeper Number ポケットベル番号

**HL7表 0202 - Telecommunication equipment type 遠距離通信機器タイプ**

Value	Description
PH	Telephone 電話
FX	Fax ファクシミリ
MD	Modem モデム
CP	Cellular Phone 携帯電話
BP	Beeper ポケットベル

Value	Description
Internet	Internet Address: Use Only If Telecommunication Use Code Is NET インターネットアドレス：遠距離通信用途コードがNETの場合のみ使用
X.400	X.400 email address: Use Only If Telecommunication Use Code Is NET X.400電子メールアドレス：遠距離通信用途コードがNETの場合のみ使用
TDD	Telecommunications Device for the Deaf 聴覚障害者のための遠距離通信機器
TTY	Teletypewriter テレタイプ

**PID-14 Phone Number - Business 電話番号－勤務先 (XTN) 00117**

Components: <Telephone Number (ST)> ^ <Telecommunication Use Code (ID)> ^ <Telecommunication Equipment Type (ID)> ^ <Email Address (ST)> ^ <Country Code (NM)> ^ <Area/City Code (NM)> ^ <Local Number (NM)> ^ <Extension (NM)> ^ <Any Text (ST)> ^ <Extension Prefix (ST)> ^ <Speed Dial Code (ST)> ^ <Unformatted Telephone number (ST)>

定義：このフィールドでは患者の職場の電話番号を示す。すべての職場の電話番号は次の順序で送られる。最初は主として使われる電話番号（旧バージョンとの互換性のため）である。もし主として使われる電話番号がない場合は、必ず最初に反復区切り文字を送る必要がある。有効な値についてはHL7表0201遠距離通信用途コードとHL7表0202遠距離通信機器タイプを参照のこと。

なお、最初のエレメントのData TypeはSTなので、例えば、  
03-3506-8010^WPN^PH  
と扱うこととする。

**PID-15 Primary Language 言語－患者 (CWE) 00118**

定義：患者の主要な言語。  
通常、本フィールドは使用しない。

**PID-16 Marital Status 婚姻状況 (CWE) 00119**

Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：患者の(社会的)婚姻状況。 使用者定義表0002－婚姻状況を推奨する。

**使用者定義表 0002 - Marital Status 婚姻状況**

Value	Description
A	Separated 別居
D	Divorced 離婚
M	Married 既婚
S	Single 未婚
W	Widowed 死別
C	Common Law 法的
G	Living together 同居・同棲
P	Domestic partner 配偶者
R	Registered domestic partner 登録された配偶者
E	Legally Separated 法的な別居
N	Annulled 取消
I	Interlocutory 対話者
B	Unmarried 未婚
U	Unknown 不明
O	Other その他
T	Unreported 未報告

**PID-17 Religion 宗教 (CWE) 00120**

定義：このフィールドでは患者の宗教を示す。  
通常、本フィールドは使用しない。

- PID-18 Patient Account Number 患者会計番号 (CX) 00121  
 定義：料金、支払いなどがすべて記録される勘定によって割り当てられる数字。患者の会計を識別するために使用される。
- PID-19 SSN Number - Patient SSN番号一患者 (ST) 00122  
 定義：患者の社会保障番号。  
 通常、本フィールドは使用しない。
- PID-20 Driver's License Number - Patient 患者の運転免許証番号 (DLN) 00123  
 定義：患者の運転免許証番号。  
 通常、本フィールドは使用しない。
- PID-21 Mother's Identifier 母親の識別子 (CX) 00124  
 定義：例えば新生児用にリンク・フィールドとして使用される。典型的に、患者IDあるいは会計番号が使用されるかもしれない。
- PID-22 Ethnic Group 人種のグループ (CWE) 00125  
 定義：患者の民族的起源を定義する。  
 通常、本フィールドは使用しない。
- PID-23 Birth Place 誕生場所 (ST) 00126  
 定義：患者の誕生の場所を示す。  
 通常、本フィールドは使用しない。
- PID-24 Multiple Birth Indicator 多胎児誕生標識 (ID) 00127  
 定義：患者が多胎児の一人であったかどうかを示す。Y/Nインジケータを使用。  
 通常、本フィールドは使用しない。
- PID-25 Birth Order 誕生順序 (NM) 00128  
 定義：患者が多胎児の一人であった場合、誕生順序を示す値。  
 通常、本フィールドは使用しない。
- PID-26 Citizenship 市民権 (CWE) 00129  
 定義：患者の市民権の国を示す。推奨値として、使用者定義表0171 (HL7-3章) 一国コード又はISO3166を参照すること。  
 通常、本フィールドは使用しない。
- PID-27 Veterans Military Status 退役軍人の状況 (CWE) 00130  
 通常、本フィールドは使用しない。
- PID-28 Nationality 国籍 (CWE) 00739  
 定義：V2.4以降から、このフィールドは旧バージョンとの互換性のためにのみ残されている。PID-10人種、PID-22民族、PID-26市民権を参照することを推奨する。患者の属する国籍や国グループを示す。
- PID-29 Patient Death Date and Time 患者死亡日時 (TS) 00740  
 Components: <Time (DTM)> ^ <Degree of Precision (ID)>  
 定義：このフィールドは患者が死亡した日時を示す。
- PID-30 Patient Death Indicator 患者死亡識別 (ID) 00741  
 定義：患者が死亡したか否かをY/Nで表現する。
- PID-31 Identity unknown indicator 身元不明識別 (ID) 01535  
 定義：このフィールドは患者確認が行われているかどうかを示す。  
 参照 HL7 表 0136 - Yes/no indicator

**HL7表 0136 - Yes/no indicator Yes/No標識**

Value	Description
Y	身元不明
N	身元確認済み

**PID-32 Identity reliability code 識別情報の信頼性 (IS) 01536**

定義：このフィールドは、トランザクション経由で送られた患者データの信頼性を示す。この値は、患者データのPIDの誕生日や社会保障番号が確認されたものかどうかを示す。

参照 使用者定義表 0445 - Identity Reliability Code

**使用者定義表 0445 - Identity Reliability Code 識別情報の信頼性**

Value	Description
US	Unknown/Default Social Security Number 社会保障番号不明
UD	Unknown/Default Date of Birth 誕生日不明
UA	Unknown/Default Address 住所不明
AL	Patient/Person Name is an Alias 患者名不明

**PID-33 Last update date/time 最終更新日付 (TS) 01537**

Components: <Time (DTM)> ^ <Degree of Precision (ID)>

定義：このフィールドではPIDセグメントに含まれる患者／個人の識別情報や患者基本情報の最終更新日時を示す。受信側システムではこのフィールドを用いて、どのようにそのトランザクションをそのシステムで扱うかを判断するために使用する。もし、受信側システム（例えばエンタープライズマスター患者インデックス）が、既により新しい個人の情報を持っていた場合、そのトランザクションからの患者／個人基本情報、識別情報を使用しないことと判断する。

**PID-34 Last update facility 最終更新施設 (HD) 01538**

Components: <Namespace ID (IS)> ^ <Universal ID (ST)> ^ <Universal ID Type (ID)>

定義：患者PIDセグメントの最終更新施設。これを元にこの情報を受信したデータを採用するかどうかを判断する。もし、受信したサイトはそのデータが信頼性の高い物であるならばそれを利用することの判断ができる。信頼の置ける施設からの更新情報は病院にとって信頼すべき物として扱われる。

**PID-35 Species code 種 (CWE) 01539**

定義：生物の種。このフィールドはコーディングシステムを用いて一般名もしくは学術名を示す。

通常、本フィールドは使用しない。

**PID-36 Breed code 品種 (CWE) 01540**

定義：特定の動物の繁殖。

通常、本フィールドは使用しない。

**PID-37 Strain 血統 (ST) 01541**

定義：このフィールドは動物の血統情報を示す。

通常、本フィールドは使用しない。

**PID-38 Production class code 製品クラスコード (CWE) 01542**

定義：このフィールドはその生物が主に繁殖されたものか、成長したものかを示すコードと／もしくはテキストである。

通常、本フィールドは使用しない。

**PID-39 Tribal Citizenship 所属種族 (CWE) 01840**

定義：このフィールドには個人の所属種族に関する情報が含まれる。

通常、本フィールドは使用しない。

## 7.7 PV1 - Patient Visit Segment 来院情報セグメント

PV1セグメントは、来院に関する情報を通信するために登録/ADTアプリケーションによって使用される。このセグメントは複数の来院統計記録を同じ患者の会計に送るため、又は単一の来院記録を複数の会計に送るために、使用することができる。個々のサイトは必ずこのセグメントを使用しなければならない。

HL7属性表 PV1 -Patient visit 患者来院

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	ITEM#	ELEMENT NAME	NOTE
1	4	SI	O	N		00131	Set ID - PV1 セットID-PV	
2	1	IS	R	R		00132	Patient Class 患者クラス	
3	80	PL	O	C		00133	Assigned Patient Location 患者所在場所	
4	2	IS	O	N		00134	Admission Type 入院タイプ	
5	250	CX	O	N		00135	Preadmit Number 仮入院番号	
6	80	PL	O	N		00136	Prior Patient Location 患者の以前の所在	
7	250	XCN	O	C	Y	00137	Attending Doctor 主治医	
8	250	XCN	O	N	Y	00138	Referring Doctor 紹介医師	
9	250	XCN	B	N	Y	00139	Consulting Doctor コンサルタント医師	
10	3	IS	O	C		00140	Hospital Service 病院サービス	
11	80	PL	O	N		00141	Temporary Location 一時的な所在	
12	2	IS	O	N		00142	Preadmit Test Indicator 仮入院検査標識	
13	2	IS	O	N		00143	Readmission Indicator 再入院標識	
14	6	IS	O	N		00144	Admit Source入院元	
15	2	IS	O	N	Y	00145	Ambulatory Status 外来の状況	
16	2	IS	O	N		00146	VIP Indicator VIP標識	
17	250	XCN	O	N	Y	00147	Admitting Doctor 入院許可医師	
18	2	IS	O	N		00148	Patient Type 患者タイプ	
19	250	CX	O	N		00149	Visit Number 来院回数	
20	50	FC	O	N	Y	00150	Financial Class 財務クラス	
21	2	IS	O	N		00151	Charge Price Indicator 有償価格標識	
22	2	IS	O	N		00152	Courtesy Code 優待コード	
23	2	IS	O	N		00153	Credit Rating 信用格付け	
24	2	IS	O	N	Y	00154	Contract Code 契約コード	
25	8	DT	O	N	Y	00155	Contract Effective Date 契約発効日	
26	12	NM	O	N	Y	00156	Contract Amount 契約金額	
27	3	NM	O	N	Y	00157	Contract Period 契約期間	
28	2	IS	O	N		00158	Interest Code 利息コード	
29	1	IS	O	N		00159	Transfer to Bad Debt Code 不良負債転換コード	
30	8	DT	O	N		00160	Transfer to Bad Debt Date 不良負債転換日付	
31	10	IS	O	N		00161	Bad Debt Agency Code 不良負債代理コード	
32	12	NM	O	N		00162	Bad Debt Transfer Amount 不良負債転換額	
33	12	NM	O	N		00163	Bad Debt Recovery Amount 不良負債回収額	
34	1	IS	O	N		00164	Delete Account Indicator 会計削除標識	
35	8	DT	O	N		00165	Delete Account Date 会計削除日付	
36	3	IS	O	N		00166	Discharge Disposition 退院処置	
37	25	CM	O	N		00167	Discharged to Location 退院先	
38	250	CWE	O	N		00168	Diet Type 給食タイプ	
39	2	IS	O	N		00169	Servicing Facility サービス施設	
40	1	IS	B	N		00170	Bed Status ベッド状況	
41	2	IS	O	N		00171	Account Status 会計状況	
42	80	PL	O	N		00172	Pending Location 保留所在	
43	80	PL	O	N		00173	Prior Temporary Location 退院先の一時的な所在	
44	26	TS	O	O		00174	Admit Date/Time 入院日付/時刻	
45	26	TS	O	O	Y	00175	Discharge Date/Time 退院日付/時刻	
46	12	NM	O	N		00176	Current Patient Balance 患者の差引不足高	
47	12	NM	O	N		00177	Total Charges 合計金額	
48	12	NM	O	N		00178	Total Adjustments 合計調整金額	
49	12	NM	O	N		00179	Total Payments 合計支払金額	
50	250	CX	O	N		00180	Alternate Visit ID 代替来院ID	
51	1	IS	O	N		01226	Visit Indicator 来院識別	
52	250	XCN	B	N	Y	01224	Other Healthcare Provider 他のヘルスケア供給者	

Optionality

R - required

O - optional

C - conditional on the trigger event or on some other field(s)

- X - not used with this trigger event
  - B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7
- Japan (JAHIS仕様での取り扱い)
- R - required
  - O - optional
  - C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
  - X - not used with this trigger event
  - B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7
  - N - not used useally. use only on the site
- Repetition
- N - no repetition
  - Y - the field may repeat an indefinite or site determined number of times (integer)- the field may repeat up to the number of times specified in the integer

## PV1フィールド定義

### PV1-1 Set ID - PV1 セットID—PV1 (SI) 00131

定義：トランザクションを一意的に識別する番号。

### PV1-2 Patient Class 患者クラス (IS) 00132

定義：サイトにおいて患者を分類するためにシステムで使われる共通のフィールド。入院、外来などの区別を表現する。

**使用者定義表 0004 -Patient class 患者クラス**

Value	Description
E	Emergency 救急
I	Inpatient 入院患者
O	Outpatient 外来患者
P	Preadmit 予備入院
R	Recurring Patient 再来院患者
B	Obstetrics 産科
C	Checkup 人間ドック
N	Not Applicable 適応無し
U	Unknown 不明

注：「I」「O」以外を使用する場合は両者間にて調整の上、用いる。

### PV1-3 Assigned Patient Location 患者所在場所 (PL) 00133

Components: <Point of Care (IS)> ^ <Room (IS)> ^ <Bed (IS)> ^ <Facility (HD)> ^ <Location Status (IS)> ^ <Person Location Type (IS)> ^ <Building (IS)> ^ <Floor (IS)> ^ <Location Description (ST)> ^ <Comprehensive Location Identifier (EI)> ^ <Assigning Authority for Location (HD)>

定義：病院、診療科、病棟、病室、ベッド等を表現する。新規の場所は最初に割当てた場所、あるいは患者の移動先の場所である。トランザクションの取消しや、退院の場合、現在の部屋番号をこのフィールド表現する。

注：PLデータ型のフィールドは値の第5の成分(ベッド状況)が存在する場合、それは、PV1-40の値に取って代わる。

### PV1-4 Admission Type 入院タイプ (IS) 00134

定義：患者が入院していたか入院予定の状況を示す。  
通常、本フィールドは使用しない。

**使用者定義表 0007 -Admission type 入院タイプ**

Value	Description	Comment
A	Accident 事故	
E	Emergency 救急	US UB92 code "1"
L	Labor and Delivery 陣痛および出産	
R	Routine 通常	
N	Newborn (Birth in healthcare facility) 新生児 (院内で誕生)	US UB92 code "4"
U	Urgent 緊急	US UB92 code "2"
C	Elective 選択	US UB92 code "3"

**PV1-5 Pre-admit Number 仮入院番号 (CX) 00135**

定義：患者の仮入院番号を一意的に識別する。システムでは、仮入院番号を請求番号として患者が入院した後も使用し続けることもできる。  
通常、本フィールドは使用しない。

**PV1-6 Prior Patient Location 患者の以前の所在 (PL) 00136**

定義：新患であればここはNULLである。患者が転院されていれば、それは以前の患者所在を含んでいる。  
通常、本フィールドは使用しない。

**PV1-7 Attending Doctor 主治医 (XCN) 00137**

Components: <ID Number (ST)> ^ <Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <Degree (e.g., MD) (IS)> ^ <Source Table (IS)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Name Type Code (ID)> ^ <Identifier Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Name Context (CE)> ^ <Name Validity Range (DR)> ^ <Name Assembly Order (ID)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>

定義：主治医の情報で、複数の名前やIDを持つ場合もある。

**PV1-8 Referring Doctor 紹介医師 (XCN) 00138**

定義：紹介医師の情報で、複数の名前やIDを持つ場合もある。  
通常、本フィールドは使用しない。

**PV1-9 Consulting Doctor コンサルティング医師 (XCN) 00139**

定義：コンサルティング医師の情報。  
通常、本フィールドは使用しない。

**PV1-10 Hospital Service 病院サービス (IS) 00140**

定義：患者が受ける処置又は手術のタイプ。トリガーイベントA01,A02,A14,A15に関して要求されるフィールド。

**PV1-11 Temporary Location 一時的な所在 (PL) 00141**

定義：割り当てられた所在以外の所在であって、一時的に必要なもの(たとえばOR)。  
通常、本フィールドは使用しない。

**PV1-12 Pre-admit Test Indicator 仮入院検査標識 (IS) 00142**

定義：患者は入院するために仮入院検査を受けねばならないことを示す。  
通常、本フィールドは使用しない。

**PV1-13 Re-admission Indicator 再入院標識 (IS) 00143**

定義：患者が施設および環境に再入院することを示す。再入院はR、そうでなければNullである。再発患者の来院も示すことができる。  
通常、本フィールドは使用しない。

**PV1-14 Admit Source 入院元 (IS) 00144**

定義：患者がどこに入院していたかを示す。  
通常、本フィールドは使用しない。

**PV1-15 Ambulatory Status 外来の状況 (IS) 00145**

定義：提案値として使用者定義テーブル0009-外来状況を参照すること。  
通常、本フィールドは使用しない。

**使用者定義表 0009 -Ambulatory Status 外来状況**

Value	Description
A0	No functional limitations 機能制限なし
A1	Ambulates with assistive device 補助機器を使用して来院
A2	Wheelchair/stretchers bound 車椅子/担架を使用して来院
A3	Comatose; non-responsive 意識不明；反応なし
A4	Disoriented 方向感覚なし
A5	Vision impaired 視力障害あり
A6	Hearing impaired 聴力障害あり
A7	Speech impaired 言語障害あり

A8	Non-English speaking 英語以外を話す
A9	Functional level unknown 機能のレベル未知
B1	Oxygen Therapy 酸素治療
B2	Special equipment (tubes, IVs, catheters) 特別の装置(チューブ、IV、カテーテル)
B3	Amputee 手足の切断手術を受けた人
B4	Mastectomy 乳房切除術
B5	Paraplegic 対麻痺
B6	Pregnant 妊婦

- PV1-16 VIP Indicator VIP標識 (IS) 00146**  
 定義：VIPのタイプを識別する使用者定義コード。  
 通常、本フィールドは使用しない。
- PV1-17 Admitting Doctor 入院時医師 (XCN) 00147**  
 定義：入院時の医師の情報、複数の名前やIDのこともある。  
 通常、本フィールドは使用しない。
- PV1-18 Patient Type 患者タイプ (IS) 00148**  
 定義：患者のタイプを示すサイト特定の値。  
 通常、本フィールドは使用しない。
- PV1-19 Visit Number 来院回数 (CK) 00149**  
 定義：患者の各来院に割り当てられた一意的な数。  
 通常、本フィールドは使用しない。
- PV1-20 Financial Class 財務クラス (CM) 00150**  
 定義：診療報酬の源を識別する目的で患者に割り当てられた、主要な財務のクラス。  
 通常、本フィールドは使用しない。
- PV1-21 Charge Price Indicator 有償価格標識 (IS) 00151**  
 定義：部屋およびベッドの料金にどの価格表を使用するか決めるために使用されるコード。  
 通常、本フィールドは使用しない。
- PV1-22 Courtesy Code 優待コード (IS) 00152**  
 定義：患者が特定の優待を受けるかどうかを示すコード。  
 通常、本フィールドは使用しない。
- PV1-23 Credit Rating 信用格付け (IS) 00153**  
 定義：過去の信用経験を決定する使用者定義コード。  
 通常、本フィールドは使用しない。
- PV1-24 Contract Code 契約コード (IS) 00154**  
 定義：会計残高を決済するための施設および保証人による契約のタイプを識別する。  
 通常、本フィールドは使用しない。
- PV1-25 Contract Effective Date 契約有効日付 (DT) 00155**  
 定義：契約が始まる日付。  
 通常、本フィールドは使用しない。
- PV1-26 Contract Amount 契約金額 (NM) 00156**  
 定義：保証人によって各期に契約ごとに支払われる金額。  
 通常、本フィールドは使用しない。
- PV1-27 Contract Period 契約期間 (NM) 00157**  
 定義：使用者が定義する期間で、契約の持続期間を指定する。  
 通常、本フィールドは使用しない。
- PV1-28 Interest Code 利息コード (IS) 00158**  
 定義：任意の未決済の金額に対し保証人に請求される利息額を示す。  
 通常、本フィールドは使用しない。

PV1-29 Transfer To Bad Debt Code 不良負債変換コード (IS) 00159

定義：会計が不良負債に転換されたこと及び理由を示す。

通常、本フィールドは使用しない。

PV1-30 Transfer To Bad Debt Date 不良負債変換日付 (DT) 00160

定義：会計が不良負債状況に転換された日付。

通常、本フィールドは使用しない。

PV1-31 Bad Debt Agency Code 不良負債代理コード (IS) 00161

定義：会計が転換された先の不良負債代理を一意的に識別する。

通常、本フィールドは使用しない。

PV1-32 Bad Debt Transfer Amount 不良負債転換額 (NM) 00162

定義：不良負債に転換された金額。

通常、本フィールドは使用しない。

PV1-33 Bad Debt Recovery Amount 不良負債回収額 (NM) 00163

定義：会計上の保証人から回収された金額。

通常、本フィールドは使用しない。

PV1-34 Delete Account Indicator 会計削除標識 (IS) 00164

定義：会計がファイルから削除されたこと及びその理由を示す。

通常、本フィールドは使用しない。

PV1-35 Delete Account Date 会計削除日付 (DT) 00165

定義：会計がファイルから削除された日付。

通常、本フィールドは使用しない。

PV1-36 Discharge Disposition 退院処置 (IS) 00166

定義：退院(つまり、帰宅；期限満了；など)の時の患者の処置。

通常、本フィールドは使用しない。

提案値として使用者定義表 0112 Discharge Disposition 退院処置を参照すること

**使用者定義表 0112 –Discharge Disposition 退院処置**

Value	Description
01	Discharged to home reor self ca (routine discharge) 自宅または自己介護施設へ退院 (通常退院)
02	Discharged/transferred to another short term general hospital for inpatient care 短期間の入院管理のため他病院へ退院/転送
03	Discharged/transferred to skilled nursing facility (SNF) 熟練看護施設 (SNF) へ退院/転送
04	Discharged/transferred to an intermediate care facility (ICF) 中間的な診療施設へ退院/転送
05	Discharged/transferred to another type of institution for inpatient care or referred for outpatient services to another institution 異なる種類の入院診療施設へ退院/転送、または他の外来通院施設への紹介
06	Discharged/transferred to home under care of organized home health service organization 退院/転送して在宅看護組織のもとに在宅管理
07	Left against medical advice or discontinued care 医療的なアドバイスを無視して離院、もしくは治療の継続中止
08	Discharged/transferred to home under care of Home IV provider 退院/転送して在宅静脈注射供給者のもとで在宅管理
09	Admitted as an inpatient to this hospital この病院に入院
10 ...19	Discharge to be defined at state level, if necessary 退院可能と定義された状態 (必要時)
20	Expired (i.e. dead) 終了 (死亡)
21 ... 29	Expired to be defined at state level, if necessary 死亡と定義された状態 (必要時)
30	Still patient or expected to return for outpatient services (i.e. still a patient) 患者状態の継続か、外来通院が必要な患者 (患者状態の継続)
31 ... 39	Still patient to be defined at state level, if necessary (i.e. still a patient) 患者状態の継続と定義された状態 (必要時、患者状態の継続)
01	Discharged to home or self care (routine discharge) 自宅または自己介護施設へ退院 (通常退院)
02	Discharged/transferred to another short term general hospital for inpatient care 短期間の入院管理のため他病院へ退院/転送

PV1-37 Discharged To Location 退院先 (IS) 00167

定義：患者の退院先の施設を示す。

通常、本フィールドは使用しない。

- PV1-38 **Diet Type 給食タイプ (IS) 00168**  
 定義：患者用の特別の給食タイプを示す。  
 通常、本フィールドは使用しない。
- PV1-39 **Servicing Facility サービス施設 (IS) 00169**  
 定義：複数の施設環境の中でこの来院が関係している施設を示す。  
 通常、本フィールドは使用しない。
- PV1-40 **Bed Status ベッド状況 (IS) 00170**  
 定義：下位互換のためののみ使用。PLデータ型の第5成分状況を使用すること。  
 通常、本フィールドは使用しない。
- PV1-41 **Account Status 会計状況 (IS) 00171**  
 定義：会計状況  
 通常、本フィールドは使用しない。
- PV1-42 **Pending Location 保留所在 (PL) 00172**  
 定義：患者が移動する先の看護ステーション、部屋、ベッド、施設IDおよびベッド状況を示す。第5の成分(ベッド状況)中に値がある場合、それは、PV1-40の値に取って代わる。  
 通常、本フィールドは使用しない。
- PV1-43 **Prior Temporary Location 以前の一時的な所在 (PL) 00173**  
 定義：このフィールドは（手術部または放射線部門のような）患者の一時的な場所を示す時に使用される。入院患者の場合、最初の成分はナースステーションであるかもしれないし、非入院患者の場合はクリニック、診療部門、自宅のこともある。  
 通常、本フィールドは使用しない。
- PV1-44 **Admit Date/Time 入院日時 (TS) 00174**  
 定義：入院の日付/時刻。
- PV1-45 **Discharge Date/Time 退院日時 (TS) 00175**  
 定義：退院の日付/時刻。
- PV1-46 **Current Patient Balance 患者の差引不足額 (NM) 00176**  
 定義：来院患者の現在の差引不足額。  
 通常、本フィールドは使用しない。
- PV1-47 **Total Charges 合計有償金額 (NM) 00177**  
 定義：来院有償金額の合計  
 通常、本フィールドは使用しない。
- PV1-48 **Total Adjustments 合計調整金額 (NM) 00178**  
 定義：来院調整金額の合計  
 通常、本フィールドは使用しない。
- PV1-49 **Total Payments 合計支払金額 (NM) 00179**  
 定義：来院の支払い金額の合計  
 通常、本フィールドは使用しない。
- PV1-50 **Alternate Visit ID 代替来院ID (CX) 00180**  
 定義：来院ID番号。このIDは入院時に患者を一意的に識別するために使用される。  
 通常、本フィールドは使用しない。
- PV1-51 **Visit Indicator 来院標識 (IS) 01226**  
 定義：データ送信が患者の来院によるのか会計によるのかの識別に使用。  
 通常、本フィールドは使用しない。

**使用者定義表 0326 -Visit Indicator 来院標識**

Value	Description
A	Account Level(default) 会計 (規定値)
V	Visit Level 来院

**PV1-52 Other Healthcare Provider 他のヘルスケア供給者 (XCN) 01224**

定義：他のヘルスケア供給者を示す。(例えば看護婦，付き添い，補助医師)複数の関係者に送ることができる。

通常、本フィールドは使用しない。

## 7.8 AL1 - Patient Allergy Information Segment 患者アレルギー情報

AL1セグメントは、多様なタイプの患者アレルギー情報を含んでいる。ほとんどのこの情報は使用者定義表による。各AL1セグメントは単一の患者アレルギーについて記述する。

**HL7属性表 AL1 – Patient allergy information 患者アレルギー情報**

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	ITEM#	ELEMENT NAME	NOTE
1	4	SI	R	R		00203	Set ID – AL1 セットID – AL1	
2	250	CWE	O	O		00204	Allergy Type アレルギータイプ	
3	250	CWE	R	R		00205	Allergy Code/Mnemonic/Description コード/記憶法/記述	
4	250	CWE	O	O		00206	Allergy Severity アレルギー重症度	
5	15	ST	O	O		00207	Allergy Reaction アレルギー反応	
6	8	DT	B	O		00208	Identification Date 認識日付	

### Optionality

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7

### Japan (JAHIS仕様での取り扱い)

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7
- N - not used usually. use only on the site

### Repetition

- N - no repetition
- Y - the field may repeat an indefinite or site determined number of times (integer)- the field may repeat up to the number of times specified in the integer

## AL1フィールド定義

### AL1-1 Set ID – AL1 セットID – AL1 (SI) 00203

定義：患者の記録中のアレルギー記述の追加・変更・削除のために個々のトランザクションを一意的に識別する数字である。セグメントの反復が許されるメッセージについては、反復を識別するためにセットIDフィールドが使用される。  
反復を識別するための一意識別子。初期値1、増分1。

### AL1-2 Allergy Type アレルギータイプ (CWE) 00204

Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：一般的なアレルギーカテゴリー(薬、食物、花粉など)を示す。推奨値は使用者定義表0127アレルギータイプを参照のこと。

**使用者定義表 0127 - Allergy Type アレルギータイプ**

Value	Description
DA	Drug Allergy 薬剤アレルギー
FA	Food Allergy 食事アレルギー
MA	Miscellaneous Allergy 様々なアレルギー
MC	Miscellaneous Contraindication 様々な禁忌
EA	Environmental Allergy 環境アレルギー
AA	Animal Allergy 動物アレルギー
PA	Plant Allergy 植物アレルギー
LA	Pollen Allergy 花粉アレルギー

### AL1-3 Allergy Code/Mnemonic/Description アレルギーコード/記憶法/記述 (CWE) 00205

Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：一意的に、特別のアレルギーを識別する。この要素は、ある外部かつ標準のコード化するシステム(それは識別されねばならない)に一致させたり、あるいは、局所的な記述、主に文章の記述あるいは記憶法の記述によっても良い。  
 本規約では、アレルギーコードとして、下記例のように薬剤アレルギーの場合はHOT9、それ以外の場合はJLAC10を使用することを推奨する。

```
AL1|1|FA^食物アレルギー^HL70127|5A1002411023006^ソバ^JC10|...
AL1|2|LA^花粉アレルギー^HL70127|5A1002216023023^スギ^JC10|...
AL1|3|EA^環境アレルギー^HL70127|5A1102700023023^ハウスダスト^JC10|...
AL1|4|DA^薬剤アレルギー^HL70127|106824501^アリナミン^HOT9|...
```

**AL1-4 Allergy Severity アレルギー重症度 (CWE) 00206**

Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：アレルギー(重度、中程度、軽度など)の一般的な重症度を示す。推奨値は使用者定義表 0128アレルギー重症度を参照のこと。

**使用者定義表 0128 - Allergy Severity アレルギー重症度**

Value	Description
SV	Severe 重度
MO	Moderate 中程度
MI	Mild 軽度
U	Unknown 不明

**AL1-5 Allergy Reaction アレルギー反応 (ST) 00207**

定義：特定のアレルギー反応(震え、くしゃみ、発疹など)を短く文章で記述したもの。

**AL1-6 Identification Date 認識日付(DT) 00208**

定義：このフィールドはV2.4以降、旧バージョンとの互換性のためにのみ残されている。アレルギーが識別された日付

## 7.9 ORC - Order Common Segment 共通オーダーセグメント

共通オーダーセグメント(ORC)は、すべてのオーダーに共通なデータ要素を伝達するために使用される(要求されるすべてのタイプのサービス)。場合によっては、ORCは文字列ORC|OK|<依頼者オーダー番号>|<実施者オーダー番号>|<CR>のように単純になる。

詳細内容がオーダーのために必要ないならば、オーダー詳細セグメントは省略してよい。たとえば、オーダーを保留するためには、ORCで次のフィールドを付けて伝達する(HDの値付きのORC-1-オーダー制御、ORC-2-依頼者オーダー番号、およびORC-3実施者オーダー番号)。

ORCのフィールドとオーダー詳細セグメントの中のフィールドとの間にいくつかの重複がある。これらは以下の節に述べる。

### ORC使用注記

#### a)依頼者オーダーグループ

本規格では、複数のオーダーを1つのグループに集めるメカニズムをサポートする。大抵の場合、これは1人の患者に対して「依頼セッション」を表すために使用される。

オーダーグループは、ORC-4-依頼者グループ番号に関連するオーダー(ORCs)のリストである。グループは、依頼者が最初のオーダーに依頼者グループ番号を付けた時に確立する。オーダーグループは、同じ依頼者グループ番号を有するすべてのORCsおよびすべての詳細セグメントから成る。オーダーは、グループからキャンセルを使用して除去したり、取換えや親子メカニズムを使用して追加したりできる。新規オーダーは、その他の方法でのグループへの追加はできない。

#### b)重複フィールド

ORCは、すべてのオーダー(すなわち要求されたサービス)に共通なフィールドを一様に定義するよう意図されている。ただし、一部のORCフィールドは、一部のオーダー詳細セグメント(たとえばOBR、RXO)では重複する。たとえば、ORC-2依頼者オーダー番号は、OBR-2依頼者オーダー番号フィールドと同じ意味および目的を持つ。これによって過去のバージョンおよびASTMとの上位互換性が保たれる。

これらのフィールドを使用する規則では、ORCに現われない値はオーダー詳細セグメントに現われねばならない。しかし、両方の箇所に入力して混乱を避けることが望ましい。

#### c)親/子 - キャンセル、保留、中断

親オーダーのキャンセル、保留または中断の要求の伝達は、その要求は親オーダーおよびすべての関連の子オーダーに対して再帰的に適用されるよう意図されている。たとえば

- 1)EKGアプリケーションが3回のEKGに対するオーダーを受け、これが3日連続で毎朝行われるとする。
- 2)EKGアプリケーションは3つの子オーダーを、各々の要求されたEKGに対して1つずつ作成する。
- 3)元の親オーダーを取消す要求が受取られた時に1日目のEKGが実施されていた。(親は取消せなかった)
- 4)残りの、未実施の子は要求の結果として取り消される。

HL7属性表 ORC -Order Common Segment 共通オーダー

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	ITEM#	ELEMENT NAME	NOTE
1	2	ID	R	R		00215	Order Control オーダー制御	
2	22	EI	C	R		00216	Placer Order Number 依頼者オーダー番号	
3	22	EI	C	O		00217	Filler Order Number 実施者オーダー番号	
4	22	EI	O	R		00218	Placer Group Number 依頼者グループ番号	
5	2	ID	O	O		00219	Order Status オーダー状態	
6	1	ID	O	O		00220	Response Flag 応答フラグ	
7	200	TQ	B	B	Y	00221	Quantity/Timing 数量/タイミング	
8	200	EIP	O	O		00222	Parent 親	
9	26	TS	O	O		00223	Date/Time of Transaction トランザクション日時	
10	250	XCN	O	O	Y	00224	Entered By 入力者	
11	250	XCN	O	O	Y	00225	Verified By 検証者	
12	250	XCN	O	O	Y	00226	Ordering Provider 依頼者	
13	80	PL	O	O		00227	Enterer's Location 入力場所	
14	250	XTN	O	O	Y/2	00228	Call Back Phone Numberコールバック用電話番号	
15	26	TS	O	O		00229	Order Effective Date/Time オーダー有効日時	
16	250	CWE	O	O		00230	Order Control Code Reason オーダー制御コードの理由	

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	ITEM#	ELEMENT NAME	NOTE
17	250	CWE	O	O		00231	Entering Organization 入力組織	
18	250	CWE	O	O		00232	Entering Device 入力装置	
19	250	XCN	O	O	Y	00233	Action By 発動者	
20	250	CWE	O	O		01310	Advanced Beneficiary Notice Code 受益者注意コード	
21	250	XON	O	O	Y	01311	Ordering Facility Name オーダ施設名	
22	250	XAD	O	O	Y	01312	Ordering Facility Address オーダ施設住所	
23	250	XTN	O	O	Y	01313	Ordering Facility Phone Number オーダ施設電話番号	
24	250	XAD	O	O	Y	01314	Ordering Provider Address オーダ実施者住所	
25	250	CWE	O	O		01473	Order Status Modifier オーダ状態変更	
26	60	CWE	C	C		01641	Advanced Beneficiary Notice Override Reason 拡張利用注意上書き理由	
27	26	TS	O	O		01642	Filler's Expected Availability Date/Time 実施者可能日時	
28	250	CWE	O	O		00615	Confidentiality Code 信頼性モード	
29	250	CWE	O	O		01643	Order Type オーダタイプ	
30	250	CNE	O	O		01644	Enterer Authorization Mode 入力者許可モード	

#### Optionality

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7

#### Japan (JAHIS仕様での取り扱い)

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7
- N - not used usually. use only on the site

#### Repetition

- N - no repetition
- Y - the field may repeat an indefinite or site determined number of times (integer)- the field may repeat up to the number of times specified in the integer

## ORCフィールド定義

### ORC-1 Order Control オーダ制御 (ID) 00215

定義：オーダセグメントの機能を決定する。採りうる値はHL7表0119 -オーダ制御を参照。コードは大別すると次の3つのカテゴリに入る。

#### a) イベント要求

イベントを発動するために、『NW』(新規オーダ)とか『CA』(オーダ要求のキャンセル)のようなコードが使用される。

#### b) イベント肯定応答承認

イベント要求に返答するために、『OK』(オーダが受け入れられた)とか『CR』(要求されたようにオーダが取り消された)のようなコードが使用される。

#### c) イベント通知

イベントが発生したことを他のアプリケーションに知らせるために、『OC』(オーダが取り消された)とか『OD』(オーダが中断された)のようなコードが使用される。いかなるアプリケーション応答も必要としない。

イベント要求コードは、イベントを発動することを意図する。イベント肯定応答コードは、イベントを要求したアプリケーションに回答することを意図する。イベント通知コードは、他のアプリケーションにたとえば次のようなことを知らせることを意図する。すなわち実施者がオーダに対し何かアクションをとりそれを他のアプリケーション、たとえば依頼者が知る必要がある場合等である。

実施者、依頼者、および他のアプリケーションは、イベント要求、イベント肯定応答、およびイベント通知型トリガーイベントを相互互換的に使用できる。しかしながら、あるオーダー制御コード(例 CR)は実施者のみが生成することができ、他のオーダー制御コード(例 CA)は依頼者のみが生成することができる。

HL7表 0119 -Order Control Code オーダー制御コードとその意味

Value <sup>1</sup>	Description	Originator <sup>2</sup>	Field Note <sup>3</sup>
NW	New order 新規オーダー	P	I
OK	Order accepted & OK オーダー受付 & OK	F	I(ハトシエイ時使用可)
UA	Unable to Accept Order 受付オーダーキャンセル	F	n(使用しない)
CA	Cancel order request オーダーキャンセル依頼	P	A
OC	Order canceled オーダーキャンセル完了	F	(ハトシエイ時使用可)
CR	Canceled as requested オーダーキャンセル完了(要求通り)	F	
UC	Unable to cancel オーダーキャンセル(不能)	F	B
DC	Discontinue order request オーダー中断要求	P	c(CAにて対応)
OD	Order discontinued オーダー中断	F	(CAにて対応)
DR	Discontinued as requested オーダー中断(要求通り)	F	(CAにて対応)
UD	Unable to discontinue オーダー中断(不能)	F	(CAにて対応)
HD	Hold order request オーダー保留要求	P	(使用しない)
OH	Order held オーダー保留	F	(使用しない)
UH	Unable to put on hold オーダー保留(不能)	F	(使用しない)
HR	On hold as requested オーダー保留(要求通り)	F	(使用しない)
RL	Release previous hold 前回保留オーダーを解放	P	(使用しない)
OE	Order released オーダー解放	F	(使用しない)
OR	Released as requested オーダー解放(要求通り)	F	(使用しない)
UR	Unable to release オーダー解放(不能)	F	(使用しない)
RP	Order replace request オーダー修正依頼	P	e,d,h
RU	Replaced unsolicited オーダー修正通知(実施者)	F	f,d,h(RPにて対応)
RO	Replacement order 修正後オーダー	P,F	g,d,h,I(RPにて対応)
RQ	Replaced as requested オーダー修正受理	F	d,e,g,h
UM	Unable to replace オーダー修正(不能)	F	
PA	Parent order 親オーダー	F	I
CH	Child order 子オーダー	F,P	I
XO	Change order request オーダー変更要求	P	(RPにて対応)
XX	Order changed, unsol. オーダー変更(非要求)	F	(RPにて対応)
UX	Unable to change オーダー変更(不能)	F	(RPにて対応)
XR	Changed as requested オーダー変更(要求通り)	F	(RPにて対応)
DE	Data errors データエラー	P,F	(使用しない)
RE	Observations to follow 検査付帯情報	P,F	j(使用しない)
RR	Request received 要求受付	P,F	k(使用しない)
SR	Response to send order status request 送信オーダー状態応答	F	(使用しない)
SS	Send order status request 要求	P	(使用しない)
SC	Status changed オーダー状態要求送信	F,P	(使用しない)
SN	Send order number 状態変更	F	l(使用しない)
NA	Number assigned オーダー番号送信	P	l(使用しない)
CN	Combined result 統合検査結果	F	M
RF	Refill order request 補充オーダー要求	F, P	O
AF	Order refill request approval 補充オーダー要求承認	P	P
DF	Order refill request denied 補充要求オーダー拒否	P	Q
FU	Order refilled, unsolicited オーダー補充済、非要求	F	R
OF	Order refilled as requested オーダー補充済、	F	S
UF	Unable to refill 補充不可	F	T
LI	診療or医療メッセージへのリンクオーダー		(使用しない)
UF	診療or医療メッセージからのアイリンクオーダー		(使用しない)

注記:

- 1 オーダー制御値フィールド。
- 2 『F』: この値は、実施者から開始し、依頼者他に送られる。『P』: この値は、依頼者または、依頼者特権(インタフェースネゴ

シエーションにおいて同意したような)を持つ他のアプリケーションから開始する。”

3 コードの説明については、表の注を見ること。

【処方】本規約においては、オーダーのキャンセルおよび修正は、処方箋単位で行うものとし、薬剤単位でのキャンセルおよび修正は行わない。

### ORCオーダー制御コード表に関する注意

- a) CA  
オーダーキャンセル依頼は、以前にオーダーしたサービスを行わないようにとの要求である。キャンセル要求の確認は、実施者によっておこなわれる。たとえば、CRの(ORC-1-オーダー制御)値を持つメッセージである。
- b) UC  
UC オーダーキャンセル(不能)コードは、依頼されたサービスが実施者によって取り消せないポイントにあるとき、あるいは、現場の取り決めで実施者によるキャンセルを禁止するとき使用される。このコードの使用は、ORC-6-応答フラグに従う。
- c) DC  
オーダー中断要求コードは、進行中の依頼されたサービスをやめるために使用される。それは、キャンセル要求と同じではない。それは、オーダーが起るのを防止するために使用される。
- d) RP, RQ, RU, RO  
オーダー修正依頼は、以前に依頼された、1個以上のオーダーの置き換えである。取換えられたオーダーは、あたかも取り消されたオーダーのように扱われる。依頼されたサービスが取換えられるかどうか、いつ取換えるかは、現場独自で決定する。オリジナルのオーダーがもとのままであることをサイトが要求するならば、親/子オーダー制御コードを使用する。このような時は、オーダー修正コードを使用しない。  
取換えられる各々のオーダーには、RP(実施者に対するオーダー修正依頼)のORC-1-オーダー制御値またはRU(実施者によって作成された、オーダー修正通知(実施者))を使用すること。RUは実施者によって使用され、依頼者および、または他のシステムに通知するためのものである。現場の取り決めによって、ORCセグメント(RPまたはRUと)の後には、そのオリジナルのオーダー詳細セグメントが続いてもよい。ORCセグメント(RPまたはRUと)の後には、RO(修正後オーダーを示す)のORC-1-オーダー制御値をもつ、ORCセグメントが続かなければならない。現場の取り決めによっては、RO値を持つORCは、オーダー詳細セグメントが後に続いてもよい。たとえば、部門のアプリケーションが2個のOBRオーダーを3つの異なったオーダーで取換えていたと仮定する。セグメントの連続は、次の通りになる。

**RU and RO usage (example) RUとRO使用法 (例)**

Segment	Order Control	Comment
ORC OBR	RU	1st replaced ORC 旧第1ORC 1st replaced order's detail segment 旧第1オーダーの詳細セグメント
ORC OBR	RU	2 <sup>nd</sup> replaced ORC 旧第2ORC 2 <sup>nd</sup> replaced order's detail segment 旧第2オーダーの詳細セグメント
ORC OBR	RO	1st replacement ORC 新第1ORC 1st replacement order's detail segment 新第1オーダーの詳細セグメント
ORC OBR	RO	2 <sup>nd</sup> replacement ORC 新第2ORC 2 <sup>nd</sup> replacement order's detail segment 新第2オーダーの詳細セグメント
ORC OBR	RO	3 <sup>rd</sup> replacement ORC 新第3ORC 3 <sup>rd</sup> replacement order's detail segment 新第3オーダーの詳細セグメント

ORC-6-応答フラグの値によって、OBRセグメントが存在せねばならないかどうか決定される。この取換え方法は、取換えのすべての可能なケースを扱う：1個から1個へ、多数から1個へ、1個から多数へ、および多数から多数へである。もし依頼者が実施者に2つのRPの付いたこの要求を送り実施者から依頼者への応答があるとすると、2つのRU(オーダー修正通知(実施者))は2つのRQ(オーダー修正受理)となる。

**RQ and RO usage (example) RQとRO使用法 (例)**

Segment	Order Control	Comment
ORC	RQ	1 <sup>st</sup> replaced ORC 旧第1ORC
OBR		1 <sup>st</sup> replaced order's detail segment 旧第1オーダーの詳細セグメント
ORC	RQ	2 <sup>nd</sup> replaced ORC 旧第2ORC
OBR		2 <sup>nd</sup> replaced order's detail segment 旧第2オーダーの詳細セグメント
ORC	RO	1 <sup>st</sup> replacement ORC 新第1ORC
OBR		1 <sup>st</sup> replacement order's detail segment 新第1オーダーの詳細セグメント
ORC	RO	2 <sup>nd</sup> replacement ORC 新第2ORC
OBR		2 <sup>nd</sup> replacement order's detail segment 新第2オーダーの詳細セグメント
ORC	RO	3 <sup>rd</sup> replacement ORC 新第3ORC
OBR		3 <sup>rd</sup> replacement order's detail segment 新第3オーダーの詳細セグメント

e) RP, RQ

オーダー取換要求コードは依頼アプリケーションの要求に応じて、実施者が1個以上の新規オーダーを1個以上の新規オーダーと取換えることを許可する。

f) RU

オーダー修正通知(実施者)コードは依頼アプリケーションから要求されることなしに実施アプリケーションが別なアプリケーションに知らせることを許可する。

g) RO, RQ

取換えオーダーコードは実施者のアプリケーションによってオーダーされたサービスの正確な取換えを指示する別なアプリケーションに送られる。それは上記のRPとRUのオーダー制御コードによって使用される。

h) RP, RQ, RU, RO

ROの制御値をもつORCセグメントのオーダー番号の規則は取換え型(RPまたはRU)によって決定される。

RU型(すなわち実施者からのオーダー修正通知)のときには、実施者オーダー番号は、実施アプリケーションによっていつものように生成される。依頼者オーダー番号は、RUのオーダー制御値付きの最初に送られたORCの依頼者オーダー番号と全く同一である。

RP型(すなわち別のアプリケーションから実施者へのオーダー修正依頼)のときには、依頼者オーダー番号は、新規オーダーのための手続きを使用して、依頼アプリケーションによって生成される。実施者オーダー番号は、新規オーダーのためと同一の手順を使用して、実施アプリケーションによって生成される。

取換えシーケンスがORUメッセージ(すなわち検査結果報告の間に)において使用される時の、オーダー修正に使用されるべき推奨セグメントを以下に述べる。

- 1) ROのオーダー制御値付きのORC
- 2) いかなるOBRセグメント(いかなるオーダー詳細セグメントによって変えられる)
- 3) 任意に、検査結果セグメント(OBX)が後に続く
- 4) NTEセグメントは、定型ORUメッセージにおけるのと同様にOBR(あるいはいかなるオーダー詳細セグメント)またはOBXセグメントの後に続けられる。

i) PA, CH

親(PA)と子(CH)のオーダー制御コードは親(オリジナルオーダー)を変える事なく「親オーダー」から「子オーダー」を生み出して良い。PAのORC-1-オーダー制御値を持つ1個以上のORCセグメントは、CHのORC-1-オーダー制御値を持つ1個以上のORCセグメントが後に続く。ORC-6-応答フラグの値によってOBRセグメントが存在せねばならないかどうか決定される。

たとえば、細菌培養が2つの生物と対応する感受性試験の結果を生成したと仮定する。そのときセグメントのシーケンスは、次の通りである：

**Example of two child orders 2つの子オーダーの例**

Segment	Order Control	Comment
ORC	PA	1st parent ORC 第1親ORC
ORC	CH	1st child ORC 第1子ORC
OBR		1st child order 第1子オーダー

Segment	Order Control	Comment
ORC OBR	CH	2nd child ORC 第2子ORC 2nd child order 第2子オーダー

親子パラダイムの依頼者番号の割り当ては、実施者の依頼者が子オーダーを生成するかどうか、または依頼者がSN/NAトランザクションをサポートするかどうかに依存する。依頼者が子オーダーを作成するならば、それはその通常の手続きに応じてそれらの依頼者番号を割り当てる。実施者が子を作成するならば、そこで2つの可能性がある：各々の子はその親の依頼者番号を受け継ぐか、あるいは、実施者は依頼者が依頼者番号を割り当てるよう要求するためにSN/NAトランザクションを使用する。どちらのケースでも、実施アプリケーションは、その通常の手続きに応じて子の実施者番号を作成する。

子オーダーが送られるときは常に、ORCセグメントのORC-8-親に、親の実施者番号(実施者から開始するならば)および親の依頼者番号(実施者から開始するならば、あるいは依頼者から開始するならば)が割り振られる。

親子のメカニズムは、たとえば、毎朝、連続して3回のEKGのオーダーを発行するといったように、親オーダーを拡張することのために使用される。

#### j) RE

検査付帯情報コードは、オーダーと共に患者固有情報を送るのに使用される。オーダー詳細セグメント(たとえば、OBR)の後には、1個以上の検査セグメント(OBX)を続けることができる。ORUメッセージとして伝えることができるいかなる検査情報も、このメカニズムで伝えることができる。結果がオーダーと共に送られるときは、結果は、そのオーダーの直後に続けられるべきである。

次の例は、3個の処方オーダーのためのセグメントのシーケンスを、REコードの使用例で示す。

#### RE usage (example) RE使用法 (例)

Segment	Order Control	Comment
MSH PID ORC RXO	NW	First new order 第1新規オーダー First order segment 第1オーダーセグメント
ORC RXO	NW	2nd new order 第2新規オーダー 2nd order segment 第2オーダーセグメント
[ORC OBR]	RE	Patient-specific observation, optional in V 2.2 患者固有検査情報 (V2.2ではオプション) Observation OBR, optional in V 2.2 OBR検査情報 (V2.2ではオプション)
OBX OBX OBX OBX		An observation segment 検査情報セグメント Another observation segment 他の検査情報セグメント Another observation segment 他の検査情報セグメント Another observation segment 他の検査情報セグメント
ORC RXO	NW	3rd order 第3オーダー 3rd order segment 第3オーダーセグメント

HL7のこのバージョンにおいて、結果は、1個以上のOBXセグメントとしてオーダーと共に送ることができる。但し、ORCとOBRセグメントを必ずしも含む必要はない。

検査情報は、ORCを使用せずに、ORUメッセージを用いて伝えることができる。

ORUメッセージのOBRセグメントに含まれない情報を伝える必要が生じるときがある。この場合、ORCがORUメッセージに含まれることを推奨する。

REのオーダー制御値は、OMGメッセージにおいてのみ要求される。オーダーの後に検査結果(OBX)が続くことを示唆するためである。REコードはORUメッセージでは必要ではない。なぜならOBRセグメントの後に検査結果(OBX)を続けることができるからである。

#### k) RR

下位互換性のため。現在のバージョンにおいては、受付了解応答に等しい。要求受信コードは、オーダーメッセージが受け取られて、後で処理されることを示す。すなわち、そのオーダーは、より正確な応答をするための処理をまだ実行していないということである。

#### l) SN, NA, NW

オーダー番号の要求に関与する3つの状態がある(ORC-2-依頼者オーダー番号またはORC-3-実施

者オーダ番号)。

- 1) 実施アプリケーションが、たとえば、HISのような集中アプリケーションからORC-3-実施者オーダ番号を要求する必要があるとき。
- 2) 実施アプリケーションが、たとえば、オーダのような他のアプリケーションからORC-2-依頼者オーダ番号を要求する必要があるとき。
- 3) アプリケーション(実施アプリケーションでない)が新規オーダのためにORC-3-実施者オーダ番号を割り当てたいとき

**1) 実施アプリケーションが、集中実施者オーダ番号を必要とする場合。**

SN 送信オーダ番号コードは、実施者のために、ORC-3-実施者オーダ番号をある、HISのような集中(その他のアプリケーションと呼ぶ)から要求するためのメカニズムを提供する、たとえば中央HISである。これはSNのORC-1-オーダ制御値を含んでいるOMGメッセージを送ることによって行う。このORCはNullのORC-3-実施者オーダ番号とORC-2-依頼者オーダ番号を持つ。これらは実施者がオーダを開始するとき、実施アプリケーションによって作成されたものである。

OMG(SN型)メッセージは、以下の2つの方法によって肯定応答される。

i) OKのORC-1-オーダ制御値を含んでいるORGメッセージによる。要求されなかったOMGメッセージは、NAのORC-1-オーダ制御値付きのORCを含んでいて、後のある時間に送られる。

ii) 以下で述べるNAのORC-1-オーダ制御値を含んでいるORGメッセージによって実現できる。

NA番号を割り当てられたコードは、その他のアプリケーションが実施アプリケーションに、最近割り当てられた実施者オーダ番号を知らせることを許す。ORC-1-オーダ制御値は、NAの値、ORC-2-依頼者オーダ番号(SN値を持つORCから)、および最近割り当てられた実施者オーダ番号を含む。

注： 依頼者オーダ番号と実施者オーダ番号の両方が、実施者のアプリケーションIDを持つ。

Code	From	ORC-2-Placer Order Number	ORC-3-Filler Order Number
SN	filler application 実施者アプリケーション	Placer order number^filler application ID 依頼者オーダ番号 ^ 実施者アプリケーションID	Null
NA	Other application その他のアプリケーション	Placer order number^filler application ID 依頼者オーダ番号 ^ 実施者アプリケーションID	filler order number^filler application ID 実施者オーダ番号 ^ 実施者アプリケーションID

**2) 実施アプリケーションが、依頼者オーダ番号を必要とする場合**

SN 送信オーダ番号コードは、実施アプリケーションがORC-2-実施者オーダ番号をその他のアプリケーションから要求するためのメカニズムを提供する。これはSNのORC-1-オーダ制御値を含んでいるOMGメッセージを送ることによって行う。このORCはnullのORC-2-依頼者オーダ番号とORC-3-実施者オーダ番号を持つ。これらは実施者がオーダを開始するとき、実施アプリケーションによって作成されたものである。

OMG(SN型)メッセージは、2つの方法によって肯定応答される

i) OKのORC-1-オーダ制御値を含んでいるORGメッセージによって。要求されなかったOMGメッセージは、NAのORC-1-オーダ制御値付きのORCを含んでいて、後のある時間に送られる。

ii) 以下で述べるNAのORC-1-オーダ制御値を含んでいるORGメッセージによって。

NA 番号を割り当てられたコードは、『その他』アプリケーションが実施アプリケーションに、最近割り当てられたORC-2-依頼者オーダ番号を知らせることを許す。ORCは、NAのORC-1-オーダ制御値、最近割り当てられたORC-2-依頼者オーダ番号、およびORC-3-実施者オーダ番号(SN値を持つORCから)を含む。

注： 新しいORC-2-依頼者オーダ番号は、依頼者のアプリケーションIDを持っている。

Code	From	ORC-2-Placer Order Number	ORC-3-Filler Order Number
SN	Filler application 実施者アプリケーション	Null	filler order number^filler application ID 実施者オーダ番号 ^ 実施者アプリケーションID

NA	Other application その他のアプリケーション	placer order number^placer application ID 依頼者オーダー番号 ^ 依頼者アプリケーションID	filler order number^filler application ID 実施者オーダー番号 ^ 実施者アプリケーションID
----	-----------------------------------	--	--

3) アプリケーションが、実施者オーダー番号を割り当てたい場合

NW オーダを作成するアプリケーション(実施アプリケーションではない)が、実施者に新規オーダーの実施者オーダー番号を割り当てたいとき、

または

RO (RO following an RP). この場合、その他のアプリケーションがORC3-実施者オーダー番号を完成する。この時には、実施者オーダー番号の2番目の成分として、実施アプリケーションIDを使用する。

Code	From	ORC-2-Placer Order Number	ORC-3-Filler Order Number
NW , RO	Other application to the filler 実施者への他のアプリケーション	placer order number^placer application ID 依頼者オーダー番号 ^ 依頼者アプリケーションID	filler order number^filler application ID 実施者オーダー番号 ^ 実施者アプリケーションID

m) CN

統合検査結果コードは、複数のオーダーに関連する結果を送るためのメカニズムを提供する。この状態が、通常、放射線科医が、複数のオーダーで表示された複数の検査に対して単一のレポートを作成するときに放射線科レポートに見られる。たとえば、リュウマチ性の関節炎患者のひざと手のフィルムは、放射線科医の側でひとつのレポートを生成することがある。

そのような結果が報告される時、CNコードが最後のORC以外の全てのREを置き換える。結果は最後のORCとそのOBRに続く。3つのORCに続く単一の報告の例は下記の通りである：

```
MSH|...
PID|...
ORC|CN|...
OBR||A4461XA^HIS|81641^RAD|73666^Bilateral Feet|...
ORC|CN|...
OBR||A4461XB^HIS|81642^RAD|73642^Bilateral Hand PA|...
ORC|RE|...
OBR||A4461XC^HIS|81643^RAD|73916^Bilateral Knees|...
OBX||CE|73916&IMP||Radiologist's Impression|...
OBX||CE|73642&IMP||Radiologist's Impression|...
OBX||FT|73642&GDT||Description|...
```

n) UA

オーダー受付不可コードが使用されるのは、新しいオーダーを実施者が受付できないときである。受付できない理由としては、その患者にアレルギーのある薬剤の処方要求したこと、またはそのオーダーを実施するための機器が利用できないことが考えられる。これはMSAセグメント内で定義される通信レベルでの受付とは異なることに留意すること。

o) RF

RFは実施者または依頼者の両方による要求を受け入れる。実施者は依頼者からの補充許可を要求しているかもしれない。依頼者システムは、補充が実施者システムによって行われるよう要求しているかもしれない。

p) AF

AFは補充または補充の量を許可する依頼者からの返答である。

q) DF

DFは依頼者がオーダーの補充を許可しないことを示す。下記のオーダー制御コード理由を使用して、要求拒否の理由を示してもよい。これらの値は、「NCPDF SCRIPT回答セグメントコードリスト修飾子」に由来することに留意すること。

```
AA Patient unknown to the provider 提供者が患者を知らない
AB Patient never under provider care 患者は提供者から医療を受けたことがない
AC Patient no longer under provider care 患者はもはや医療を受けていない
AD Patient has requested refill too soon 患者はリフィルを要求したがそれが早過ぎる
```

- AE Medication never prescribed for the patient 患者に投薬したことがない
- AF Patient should contact provider first 患者は最初に提供者にコンタクトするべきである
- AG Refill not appropriate リフィルが適切でない

r) FU

FUは依頼者に対して、実施者が補充を患者の要求によるオーダーに対して発行したことを通知する。

s) OF

OFは補充に対する依頼者システムの要求に直接応答する。

t) UF

UFは実施者システムが許可補充要求に対してアプリケーションレベル拒否を示す。

### ORC-2 Placer Order Number 依頼者オーダー番号 (EI) 00216

Components: <Entity Identifier (ST)> ^ <Namespace ID (IS)> ^ <Universal ID (ST)> ^ <Universal ID Type (ID)>

定義：依頼アプリケーションのオーダー番号

第1成分は、個々のオーダー(たとえば、(OBR))を識別する15文字までの文字列である。それは、依頼者(依頼アプリケーション)によって割り当てられる。それは、特定の依頼アプリケーションからのすべてのオーダーの中から一意に一つのオーダーを識別する。第2成分は依頼アプリケーションのアプリケーションIDを含む。アプリケーションIDは、アプリケーションに一意に関連する6つの文字までの文字列である。ひとつの施設または相互に通信する施設のグループは、アプリケーションで一意のリストを確立すべきである。リストは潜在的な依頼者と実施者であってもよく、そして一意なアプリケーションIDを割り当ててもよい。2つの成分は、共通の区切り文字によって分離される。

このように一意ではなく、真の依頼者がいくらかあいまいな3つの状態がある。

- a) RU取替えに続く、ROのORC-1-オーダー制御値の場合；
- b) CH(子オーダー)のORC-1-オーダー制御値の場合；
- c) SN(番号を送ること)のORC-1-オーダー制御値の場合；

ORC-2-依頼者オーダー番号がこれらの場合どのように割り当てられるかの詳細については、ORC-1-オーダー制御の下のテーブルの注を参照すること。

ひとつの施設または相互に通信する施設のグループは、アプリケーションで一意のリストを確立すべきである。リストは潜在的な依頼者と実施者であってもよく、そして一意なアプリケーションIDを割り当ててもよい。アプリケーションIDリストは、本規格の他の箇所でも文書化されている、施設のマスター辞書の1つになる。第三者アプリケーション(オーダーの依頼者および実施者以外)がOMGとORGのメッセージ送受信ができるので、このフィールドの依頼アプリケーションIDは、ネットワーク上の送信および受信アプリケーションと同じでなくともよい(MSHセグメントにおいて述べた)。

【処方】 すべてのオーダー(処方箋単位)を一意に識別できるオーダー番号。

### ORC-3 Filler Order Number 実施者オーダー番号 (EI) 00217

Components: <Entity Identifier (ST)> ^ <Namespace ID (IS)> ^ <Universal ID (ST)> ^ <Universal ID Type (ID)>

定義：実施アプリケーションに関連したオーダー番号。その第1成分は、オーダー詳述セグメントを識別する15文字の文字列である(例 OBR)。それは、オーダー実施(受け取る)アプリケーションによって割り当てられる。この文字列は、特定の実施アプリケーション(例 臨床検査)の他のオーダーから、そのオーダー(オーダー詳細セグメントにおいて明示されるように)を、一意に識別せねばならない。一意性は長時間にわたって持続しなければならない。

第2成分は、実施アプリケーションIDを含んでいる。実施アプリケーションIDは、6文字までの文字列であり、アプリケーションをネットワーク上の他のアプリケーションから識別する。実施者オーダー番号の第2成分は、オーダーの実際の実施者を常に識別する。

ある施設または相互通信施設グループは、アプリケーションの一意のリストを確立すべきである。リストは潜在的な依頼者と実施者であってもよく、そして一意なアプリケーションIDを割り当ててもよい。アプリケーションIDリストは、本規格の他の箇所でも文書化されている、施設のマスター辞書の1つになる。第三者アプリケーション(オーダーの依頼者および実施者以外)がOMGとORGのメッセージ送受信ができるので、このフィールドの依頼アプリケーション

IDは、ネットワーク上の送信および受信アプリケーションと同じでなくともよい(MSHセグメントにおいて確認したように)。

実施者オーダー番号(OBR-3あるいはORC-3)は、オーダーとその関連した検査を一意に識別する。たとえば、ある施設が検査をいくつかの関連アプリケーションから集め、それを共通のデータベースの中に入れ、この共通のデータベースがまた別のアプリケーションによって検査のために照会される、と仮定する。この場合、共通のデータベースアプリケーションによって送られた実施者オーダー番号と依頼者オーダー番号は、それぞれオリジナルの実施者および依頼者であろう。すなわち共通のデータベースアプリケーションによって割り当てられた新しいものではない。

同様に、実施者あるいは依頼者でないオーダーの第三者アプリケーションが、オーダーの状態を修正する(たとえば、それをキャンセルすること)権限があるならば、その第三者アプリケーションは、実施者にOMGメッセージを送る。そこには、『CA』に等しいORC-1オーダー制御の付いたORCセグメント、およびオリジナル依頼者オーダー番号および実施者オーダー番号を含む。いずれもそれ自身が割り当ててることではない。

#### ORC-4 Placer Group Number 依頼者グループ番号 (EI) 00218

Components: <Entity Identifier (ST)> ^ <Namespace ID (IS)> ^ <Universal ID (ST)> ^ <Universal ID Type (ID)>

定義：オーダー依頼アプリケーションが複数セットのオーダーを一緒にグループ化して後でそれらを識別できるようにする。

第1成分は、15文字までの文字列であって、これがすべての他のオーダーグループを特定の依頼アプリケーションから一意に識別する。それは依頼アプリケーションによって割り当てられて、ORCの依頼者オーダー番号と同じシリーズでもよいが、これは必須ではない。

第2成分は、依頼アプリケーションIDであり、これはORC-2-依頼者オーダー番号の第2成分と同じである。

【処方】 全てのR pを一意に識別できる番号。

#### ORC-5 Order Status オーダー状態 (ID) 00219

定義：オーダーの状態。取りうる値についてはHL7表0038-オーダー状態を参照すること。このフィールドの目的は、要求された場合または状態が変更になった場合に、オーダーの状態を報告することであり、オーダー自体を処理する事ではない。オーダー状態は、メッセージが送られるとき送信アプリケーションに知られていた状態を反映させる。実施者だけがこのフィールドに値を付けることができる。

HL7表 0038に示すオーダー状態は、HL7表 0119-オーダー制御と同様な内容を含んでいるが、目的は異なる。オーダー状態は、ORC-1-オーダー制御値のSRまたはSCにおいて典型的に使用される。これはオーダーの状態を、要求を受けた時または当事者に随時報告するためである。

HL7表 0038 -Order status オーダー状態

Value	Description
A	Some, but not all, results available 部分的完了
CA	Order was canceled オーダーが取り消された
CM	Order is completed オーダーが完了した
DC	Order was discontinued オーダーが中断した
ER	Error, order not found エラー、オーダーが見つからない
HD	Order is on hold オーダーが保留
IP	In process, unspecified 進行中、不定
RP	Order has been replaced オーダーが取替えられた
SC	In process, scheduled 進行中、予定

#### ORC-6 Response Flag 応答フラグ (ID) 00220

定義：これによって依頼者(送信)アプリケーションは、実施者から返されるべき情報の量を決定できる。要求されたレベルの応答は、即時には可能ではないかもしれない、しかし、それが可能なときは、実施者(受信)アプリケーションは、情報を送らなければならない。フィールドがnullであるとき、フィールドのデフォルト値はDである。取りうる値についてはHL7表 0121-応答フラグを参照のこと。

HL7表 0121 -Response flag 応答フラグ

Value	Description
E	Report exceptions only 例外のみを報告
R	Same as E, also Replacement and Parent-Child Eと同じ、また取換えおよび親子
D	Same as R, also other associated segments Rと同じ、また他の関連セグメント
F	Same as D, plus confirmations explicitly Dと同じ、プラス明確な確認
N	Only the MSA segment is returned MSAセグメントのみが返却される

ORC-7 Quantity/Timing 数量/タイミング (TQ) 00221

定義： (このフィールドは下位互換を保つ目的のためだけに残されている)

ORC-8 Parent 親 (EIP) 00222

Components: <Placer Assigned Identifier (EI)> ^ <Filler Assigned Identifier (EI)>

Subcomponents for Placer Assigned Identifier (EI): <Entity Identifier (ST)> & <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (UI)> & <Universal ID Type (ID)>

Subcomponents for Filler Assigned Identifier (EI): <Entity Identifier (ST)> & <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (UI)> & <Universal ID Type (ID)>

定義： 親子のメカニズムの関係が存在するとき子を親に関係付ける。親子のメカニズムは、ORC-1-オーダ制御の注のところで述べられる。第1成分は、親オーダの依頼者オーダ番号を含んでいる。それは、オーダが子であるとき要求される。

第2成分は、親オーダーの実施者オーダー番号を含んでいる。

依頼者オーダ番号と実施者オーダ番号との成分は、このフィールドの2つの成分の副成分として送られる。

ORC-9 Date/Time Of Transaction トランザクション日時 (TS) 00223

Components: <Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義： このトランザクションがオーダアプリケーションに入る日時。新規オーダを作成するメッセージの場合は、これは、オーダが入れられた日付および時間である。

たとえば、キャンセルなどの他のメッセージの場合は、このトランザクションが送信アプリケーションに入る日時である。この日付と時間は、現在のトランザクションのためのもので、オリジナルのオーダへの訂正のための『取り換え』た時刻ではない。同様に、このセグメントのORC-10-入力者、ORC-11-検証者、およびORC-13-入力の場所も現在のトランザクションに関連づけられ、オリジナルのオーダに関連づけてはいない。

【処方】 処方日時を示す。

ORC-10 Entered By 入力者 (XCN) 00224

定義： 要求をアプリケーションに実際に打鍵した人の所属氏名。それは、要求が不正確に入れられ、関連部門が要求を明らかにする必要がある場合、監査証跡となる。現場の取り決めによって、ID 番号または名前成分は、省略されてもよい。

要求をアプリケーションに実際に打鍵した操作者のID。

ORC-11 Verified By 検証者 (XCN) 00225

定義： 入れられた要求の精度を検証した人の所属氏名。それが使用されるのは、要求が技師によって入力され、看護婦などのより高い権威者によって検証される必要がある場合である。現場の取り決めによって、ID 番号や名前成分は、省略されてもよい。

ORC-12 Ordering Provider オーダ依頼者 (XCN) 00226

Components: <ID Number (ST)> ^ <Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <DEPRECATED-Degree (e.g., MD) (IS)> ^ <Source Table (IS)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Name Type Code (ID)> ^ <Identifier Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Name Context (CWE)> ^ <DEPRECATED-Name Validity Range (DR)> ^ <Name Assembly Order (ID)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>

定義： 要求を作成することに責任がある依頼する医師などの所属氏名。

要求を作成することに責任がある依頼する医師などID。

【処方】 処方医のID・氏名(姓・名)を示す。姓・名の分離が難しい場合は<姓>フィー

ルドを使用する。

**ORC-13 Enterer's Location 入力者の場所 (PL) 00227**

Components: <Point of Care (IS)> ^ <Room (IS)> ^ <Bed (IS)> ^ <Facility (HD)> ^ <Location Status (IS)> ^ <Person Location Type (IS)> ^ <Building (IS)> ^ <Floor (IS)> ^ <Location Description (ST)> ^ <Comprehensive Location Identifier (EI)> ^ <Assigning Authority for Location (HD)>

Subcomponents for Facility (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

Subcomponents for Comprehensive Location Identifier (EI): <Entity Identifier (ST)> & <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

Subcomponents for Assigning Authority for Location (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

定義： 要求を入力した人の場所(たとえば、部門、階)。それは、部門のあるサブカテゴリを含むためサイト固有のベースに基づいて使用されてもよい複合フィールドである。たとえば、ICU4は、4階のICUの場所の呼称とするなど。

**ORC-14 Call Back Phone Number コールバック用電話番号 (XTN) 00228**

Components: <DEPRECATED-Telephone Number (ST)> ^ <Telecommunication Use Code (ID)> ^ <Telecommunication Equipment Type (ID)> ^ <Email Address (ST)> ^ <Country Code (NM)> ^ <Area/City Code (NM)> ^ <Local Number (NM)> ^ <Extension (NM)> ^ <Any Text (ST)> ^ <Extension Prefix (ST)> ^ <Speed Dial Code (ST)> ^ <Unformatted Telephone number (ST)>

定義： 要求またはオーダーに関して、必要な他の情報を確認するための電話番号。

**ORC-15 Order Effective Date/Time オーダ有効の日時 (TS) 00229**

Components: <Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義： 変更要求が有効になった、あるいは、有効になる予定の日時。

ORC-9-トランザクション(日時)が、ORC-15-オーダ [訳注：原文はORC-16-オーダとなっているが、明らかな間違いのため修正した] 有効日時の後またはそれに等しくなっているならば、ORCおよびその下のセグメントにおけるデータ値はこの日時に有効になった。

ORC-9-トランザクション 日時がORC-15-オーダ有効日時より前ならば、ORCおよびその下位セグメントのデータ値は、オーダ有効日時に有効になるよう計画される。

有効ORC-15-オーダ有効日時が空白にしておかれるならば、その値は、ORC-9-トランザクション日時と等しいと仮定される。また、トランザクション日時が空白であるならばMSH-7-メッセージと等しいと仮定される。

**ORC-16 Order Control Code Reason オーダ制御コード理由 (CWE) 00230**

Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義： オーダ制御コード(HL7表0119)によって述べたオーダイベントの理由の説明。コード化したあるいはテキスト形式のどちらでもよい。オーダ特定のセグメント(たとえば、RXO、ORO、OBR)の後のNTEは、その特定のセグメントのためにコメントとなる。もうひとつ、オーダ制御コード理由の目的には、そのオーダイベントの理由を拡張することがある。

ORC-1-オーダ制御がNWであるときは、ORC-16-オーダ制御コード理由に、普通は値を設定しない。ただし、設定できないわけではない。取り消されたオーダのときには、たとえば、このフィールドは、一般的に、キャンセルの理由を説明するために使用される。

良く実証されたアレルギーのために医者からの処方オーダーをキャンセルした調剤システムは、このフィールドでアレルギーの事実が多分報告される。

それが薬理相互作用のためにこのオーダーをキャンセルしたならば、このフィールドは、相互作用物質の少なくとも名称(およびコード、必要とするならば)となる。文章で相互作用、および相互作用の激しさの程度を述べる。

**ORC-17 Entering Organization 入力組織 (CWE) 00231**

Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義： 入力者がオーダを入力/修正した時に属していた組織  
 入力者の所属(CWE型)なので、医師が入力するオーダ情報では診療科と扱う。

**ORC-18 Entering Device 入力装置識別 (CWE) 00232**

Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義： オーダを入力するため使用された物理的装置(端末やPC)の識別子

**ORC-19 Action By 発動者 (XCN) 00233**

Components: <ID Number (ST)> ^ <Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <DEPRECATED-Degree (e.g., MD) (IS)> ^ <Source Table (IS)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Name Type Code (ID)> ^ <Identifier Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Name Context (CWE)> ^ <DEPRECATED-Name Validity Range (DR)> ^ <Name Assembly Order (ID)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>

定義： 対応するオーダ制御コードによって表されたイベントを発動した人の所属氏名。たとえば、オーダ制御コードがCA(オーダキャンセル依頼)であるならば、このフィールドは、オーダキャンセルを要求した人を表す。

**ORC-20 Advanced beneficiary notice code 受益者注意コード (CWE) 01310**

Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義： このフィールドは患者もしくは患者の責任で保険外のサービスに対して費用の支払うことを保証していない状態を示す。この要素は、H C F Aの条件を満たす為に導入された。

参照： 使用者定義表 0339 – Advanced beneficiary notice code 事前保険金受給通知コード

**使用者定義表 0339 -Advanced beneficiary notice code 事前保険金受給通知コード**

Value	Description
1	Service is subject to medical necessity procedures サービスは医学の必要性がある手続きである
2	Patient has been informed of responsibility, and agrees to pay for service 患者は支払いの義務があり、それを通知されている
3	Patient has been informed of responsibility, and asks that the payer be billed 患者は支払いを了承し請求書を送ることを要求している
4	Advanced Beneficiary Notice has not been signed 受益者注意はサインされていない

**ORC-21 Ordering facility name オーダ施設名 (XON) 01311**

Components: <Organization Name (ST)> ^ <Organization Name Type Code (IS)> ^ <DEPRECATED-ID Number (NM)> ^ <Check Digit (NM)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Organization Identifier (ST)>

Subcomponents for Assigning Authority (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

Subcomponents for Assigning Facility (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

定義： このフィールドは、オーダの発行者施設を記述する

**ORC-22 Ordering facility address オーダ施設住所 (XAD) 01312**

Components: In Version 2.3 and later, replaces the AD data type. <street address (SAD)> ^ <other designation (ST)> ^ <city (ST)> ^ <state or province (ST)> ^ <zip or postal code (ST)> ^ <country (ID)> ^ <address type (ID)> ^ <other geographic designation (ST)> ^ <county/parish code (IS)> ^ <census tract (IS)> ^ <address representation code (ID)> ^ <address validity range (DR)>

定義： このフィールドは、オーダの発行者施設の住所を記述する

**ORC-23 Ordering facility phone number オーダ施設電話番号 (XTN) 01313**

Components: [NNN] [(999)]999-9999 [X99999] [B99999] [C any text] ^ <telecommunication use code (ID)> ^ <telecommunication equipment type (ID)> ^ <email address (ST)> ^ <country code (NM)> ^ <area/city code (NM)> ^ <phone number (NM)> ^ <extension (NM)> ^ <any text (ST)>

定義：このフィールドは、オーダの発行施設の電話番号を記述する

**ORC-24 Ordering provider address オーダ提供者住所 (XAD) 01314**

Components: In Version 2.3 and later, replaces the AD data type. <street address (SAD)> ^ <other designation (ST)> ^ <city (ST)> ^ <state or province (ST)> ^ <zip or postal code (ST)> ^ <country (ID)> ^ <address type (ID)> ^ <other geographic designation (ST)> ^ <county/parish code (IS)> ^ <census tract (IS)> ^ <address representation code (ID)> ^ <address validity range (DR)>

定義：このフィールドは、オーダの医療提供者住所を記述する

**ORC-25 Order status modifier オーダ状態変更 (CWE) 01473**

Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは、ORC-5 オーダ状態の変更，または、再生の記述する。定義されたオーダ状態コードの追加のレベル特性、もしくは追加の情報を提供する為に使われる。このオーダ状態はHL7により定義されたものとは異なり、APにより状態コードを任意に設定できる。データタイプはCWEである。

使用規則：このフィールドはORC-5 状態が指定されていれば 使用される。

**ORC-26 Order status modifier 事前保険金受給通知上書き理由 (CWE) 01641**

Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは、患者が受益者注意コードにサインしない理由を含む。理由はコード化されるか或いは自由なテキスト形式で入力される。

条件：このフィールドはORC-20 受益者注意コードの値が、通知にサインされていない場合に要求される。例えば、ORC-20 が使用者定義表 0339—受益者注意コードに3 或いは4 の値が入力されている場合、または、関連する外部コード表で同様の値は入力されている場合、追加の資格或いは説明のための情報が正しい値として認められる。

**ORC-27 Filler's Expected Availability Date/Time 実施者サービス可能日時 (TS) 01642**

Components: <Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義：このフィールドは、実施者がサービス可能な日時を指定する。例えば、処方箋が受け取り可能或いは研究結果が可能となる場合に記述する。

**ORC-28 Confidentiality Code 守秘コード (CWE) 00615**

Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは、オーダを取り巻くセキュリティレベル又或いは注意度に関する情報を含む。(例えば厳重注意、注意不要、注意など)。可能な値に関しては、HL7 表 0177 – 守

秘コードを参照のこと。特別な守秘レベルを持つデータの処理に関しては、現場特殊な交渉に委ねる。

**HL7表 0177 -Confidentiality Code 守秘コード**

Value	Description
AID	AIDS patient 患者
EMP	Employee 従業員
ETH	Alcohol/drug treatment patient アルコール/薬物中毒 治療患者
HIV	HIV(+) patient HIV(+)患者
PSY	Psychiatric patient 精神医学患者
R	Restricted 限定
U	Usual control 通常管理
UWM	Unwed mother 未婚の母
V	Very restricted 非常に限定
VIP	Very important person or celebrity 重要人物や名士

**ORC-29 Order Type オーダタイプ (CWE) 01643**

Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは、オーダが入院患者にセット、あるいは外来患者にセットされ実行されるかどうかを示している。もし、このフィールドが値を持っていないければ、システムのデフォルト値がとられる。推奨値に関しては、HL7表 0482 - オーダタイプを参照のこと。

例：理学療法を続行するために発行されるオーダを取り消す前に、或いは地域薬局で処方箋をもらうオーダを取り消す前は、その患者は、PV1によると入院患者だが、そのオーダ自体は外来患者に発行される場合。

**HL7表 0482 -Order Type オーダタイプ**

Value	Description
I	Inpatient Order 入院患者オーダ
O	Outpatient Order 外来患者オーダ

**ORC-30 Enterer Authorization Mode 承認モード入力 (CNE) 01644**

Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは、オーダを作成或いは変更する責任を持った実行者からの記録を承認する形態を示している。推奨値に関しては、HL7表 0483 承認モードを参照のこと。

**HL7表 0483 -Authorization Mode 承認モード**

Value	Description
EL	Electronic 電子的
EM	E-mail
FX	Fax
IP	In Person 本人自ら
MA	Mail
PA	Paper 紙
PH	Phone 電話
RE	Reflexive (Automated system) 再帰的 (自動化システム)
VC	Video-conference TV会議
VO	Voice 口頭

## 7.10 RXE - Pharmacy/Treatment Encoded Order Segment 薬剤/処置 コード化したオーダセグメント

RXE セグメントは、薬剤部門または治療部門アプリケーションのオーダのコード化について詳述する。このセグメントには、RXE-16-再調剤残数、RXE-17-調剤済薬品数または投与数、RXE-18-調剤済薬品数または投与数の最新日時、RXE-19-1日当たりの総投与量などの、投薬固有のオーダ状態フィールドも含まれる。

HL7属性表 -RXE 薬剤/処置コード化したオーダ

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	ITEM #	ELEMENT NAME	NOTE
1	200	TQ	B	B		00221	Quantity/Timing 数量/タイミング	
2	250	CWE	R	R		00317	Give Code 与薬コード	
3	20	NM	R	R		00318	Give Amount - Minimum 与薬量-最小	
4	20	NM	O	O		00319	Give Amount - Maximum 与薬量-最大	
5	250	CWE	R	R		00320	Give Units 与薬単位	
6	250	CWE	O	O		00321	Give Dosage Form 与薬剤形	
7	250	CWE	O	O	Y	00298	Provider's Administration Instructions 依頼者の投薬指示	
8	200	LA1	B	O		00299	Deliver-to Location 配布先	
9	1	ID	O	X		00322	Substitution Status 代替品状態	
10	20	NM	C	R		00323	Dispense Amount 調剤量	
11	250	CWE	C	R		00324	Dispense Units 調剤単位	
12	3	NM	O	O		00304	Number of Refills 同一薬発行数	
13	250	XCN	C	O	Y	00305	Ordering Provider's DEA Number オーダ発行者のDEA番号	
14	250	XCN	O	O	Y	00306	Pharmacist/Treatment Supplier's Verifier ID 薬剤師/治療提供者の検証ID	
15	20	ST	C	O		00325	Prescription Number 処方箋番号	
16	20	NM	C	O		00326	Number of Refills Remaining 薬剤残数	
17	20	NM	C	O		00327	Number of Refills/Doses Dispensed 調剤済薬品数または投与数	
18	26	TS	C	O		00328	D/T of Most Recent Refill or Dose Dispensed 調剤済薬品数または投与数の最新日時	
19	10	CQ	C	C		00329	Total Daily Dose 1日あたりの総投与量	
20	1	ID	O	X		00307	Needs Human Review 人によるレビューの必要性	
21	250	CWE	O	O	Y	00330	Pharmacy/Treatment Supplier's Special Dispensing Instructions 薬剤部門/治療部門による特別な調剤指示	
22	20	ST	C	O		00331	Give Per (Time Unit) 時間あたりの与薬	
23	6	ST	O	O		00332	Give Rate Amount 与薬速度	
24	250	CWE	O	O		00333	Give Rate Units 与薬速度単位	
25	20	NM	O	O		01126	Give Strength 与薬力価	
26	250	CWE	O	O		01127	Give Strength Units 与薬力価単位	
27	250	CWE	O	O	Y	01128	Give Indication 与薬指示	
28	20	NM	O	O		01220	Dispense Package Size 調剤パッケージサイズ	
29	250	CWE	O	O		01221	Dispense Package Size Unit 調剤パッケージサイズの単位	
30	2	ID	O	O		01222	Dispense Package Method 調剤パッケージ方法	
31	250	CWE	O	O	Y	01476	Supplementary Code 補足コード	
32	26	TS	O	O		01673	Original Order Date/Time 当初のオーダ日/時間	
33	5	NM	O	O		01674	Give Drug Strength Volume 与薬力価量	
34	250	CWE	O	O		01675	Give Drug Strength Volume Units 与薬力価量単位	
35	60	CWE	O	O		01676	Controlled Substance Schedule 薬物コントロールスケジュール	
36	1	ID	O	O		01677	Formulary Status 処方集ステータス	
37	60	CWE	O	O	Y	01678	Pharmaceutical Substance Alternative 薬物代替え	
38	250	CWE	O	O		01679	Pharmacy of Most Recent Fill 最新の与薬の薬剤部	
39	250	NM	O	O		01680	Initial Dispense Amount 最初の調剤量	
40	250	CWE	O	O		01681	Dispensing Pharmacy 調剤薬剤部	
41	250	XAD	O	O		01682	Dispensing Pharmacy Address 調剤薬剤部の住所	
42	80	PL	O	O		01683	Deliver-to Patient Location 患者への配達場所	
43	250	XAD	O	O		01684	Deliver-to Address 配達先住所	
44	1	ID	O	O		01685	Pharmacy Order Type 薬剤オーダタイプ	

Optionality

R - required

O - optional

C - conditional on the trigger event or on some other field(s)

- X - not used with this trigger event
  - B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7
- Japan (JAHIS仕様での取り扱い)
- R - required
  - O - optional
  - C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
  - X - not used with this trigger event
  - B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7
  - N - not used useally. use only on the site
- Repetition
- N - no repetition
  - Y - the field may repeat an indefinite or site determined number of times  
(integer)- the field may repeat up to the number of times specified in the integer

## RXEフィールド定義

### RXE-1 Quantity/Timing 数量/タイミング (TQ) 00221

Components: <Quantity (CQ)> ^ <Interval (RI)> ^ <Duration (ST)> ^ <Start Date/Time (TS)> ^ <End Date/Time (TS)> ^ <Priority (ST)> ^ <Condition (ST)> ^ <Text (TX)> ^ <Conjunction (ID)> ^ <Order Sequencing (OSD)> ^ <Occurrence Duration (CWE)> ^ <Total Occurrences (NM)>

定義：“RXE－薬剤／処置コード化されたオーダセグメント”を参照して、このフィールド定義を適宜修正して、薬剤／処置オーダに必要なオーダ相互間の依存性をカバーすること。このフィールドは、薬剤または処置のタイミングの完全にコード化されたバージョンを表現するために、薬剤または非薬剤処置供給者によって使用される。それは、オリジナルのオーダで要求された数量/タイミングである。

### RXE-2 Give Code 与薬コード (CWE) 00317

Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは患者に与えることを依頼され、薬剤または処置提供者によってコード化された薬剤または処置を示す。RXEセグメントでは、この与薬コードは完全にコード化しなければならない。調剤フィールドは、患者に発行される単位、および量を定義する。(以下に示す RXE-10-調剤量および RXE-11-調剤単位を参照) これは、“与えられた”または投薬された1回ごとの投与量と必ずしも相関関係があるわけではなく、オーダで指定できる場合と指定できない場合がある。例えば、オーダの“与薬”部分において、アンピシリンの250mg投与というフィールド情報を伝達する一方、オーダの調剤部分では、この外来患者処方箋の指定薬剤と同等の錠剤30錠を発行する、という要求を伝達することができる。

【処方】標準マスタとしては、MEDIS-DCの標準医薬品マスタを使用することが望ましい。この場合、HOTコードを使用し、コーディングシステム名には「HOTmn\*」を格納する。

\* : mnはコード体系を表す。

### RXE-3 Give Amount - Minimum 与薬量-最小 (NM) 00318

定義：このフィールドは薬剤または処置提供者によってコード化された依頼量を含んでいる。可変投与量オーダでは、これが最小依頼量である。固定投与量オーダでは、これがオーダの正確な量である。

注：このフィールドは数量/タイミングフィールドの第1成分の複製ではない。なぜなら、非薬剤部門/治療部門オーダでは、依頼量の倍数を指定するためにその成分を使用するからである。

言い換えれば、薬剤部門/治療部門オーダについては、数量/タイミングフィールドの数量成分が各サービス間隔で与えるべきものの数量を示す。したがって、RXオーダでは、その第1成

分は常に1になる。したがって、オーダの実際の実行では、数量/タイミングフィールドの第1成分中の1の値は、常にこのフィールド(要求与薬量フィールド)で指定された量を1回の投薬することを意味する。

【処方】 一回分の投薬量を示す。不均等投薬時は、一回分投薬量の最小値を示す。

**RXE-4 Give Amount - Maximum 与薬量-最大 (NM) 00319**

定義：可変投与量オーダでは、これが最大の依頼量である。固定投与量では、このフィールドは使用されない。

【処方】 不均等投薬時、一回分投薬量の最大値を示す。

**RXE-5 Give Units 与薬単位 (CWE) 00320**

Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは、薬剤または処置(例えば呼吸治療)アプリケーションによってコード化される与薬量のための単位を含んでいる。

注：これらの単位は“複合量”でありうる。つまり、単位は、“当たり”という単語を含む場合がある。例えば、キログラム当たりのマイクログラム( $\mu\text{g}/\text{kg}$ )は許容される値であり、それは体重 1 kg 当たりのマイクログラム意味する。

複合単位を含んでいる標準単位の表は必要である。そのような表が承認されるまで、それぞれの施設で使用者定義表が必要になる。

【処方】 取りうる値は下表に示すとおりとする。

**表7.10.1 単位略号 (MERIT-9 処方オーダ Ver1.1 表4)**

値	内容
TAB	錠
CAP	カプセル
G	グラム
MG	ミリグラム
MCG	マイクログラム
L	リットル
ML	ミリリットル
UNT	単位
AMP	管、アンプル
BAG	袋
BTL	瓶
HON	本
KO	個
PCK	包
SHT	枚
VIL	バイアル

第三成分 (name of coding system) には、'MR9P' を設定する。

例. TAB^錠^MR9P と表現

**RXE-6 Give Dosage Form 与薬剤形 (CWE) 00321**

Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：剤形は、投薬または処置が調剤のために集められる形態を示す。例えば、錠剤、カプセル、坐薬である。ある場合には、この情報が RXE-2-与薬コードの中の与薬コードによって意味される。与薬コードが剤形を指定しない場合、RXE-6-与薬剤形を使用する。

【処方】取りうる値は下表に示すとおりとする。

表7.10.2 剤形略号 (MERIT-9 処方オーダ Ver1.1 表3)

値	内容
TAB	錠剤
CAP	カプセル剤
PWD	散剤、ドライシロップ剤
SYR	シロップ剤
SUP	坐剤
LQD	液剤
OIT	軟膏、ゲル
CRM	クリーム
TPE	テープ、貼付剤
INJ	注射剤

第三成分 (name of coding system) には、'MR9P' を設定する。

RXE-7 Provider's Administration Instructions 依頼者の投薬指示 (CWE) 00298

Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは、患者あるいは投薬または治療の供給者へのオーダ発行者の指示を含んでいる。もしコード化されれば、ユーザに定義されたテーブルは使用されていなければならない。フリーテキストの場合(例えば、通常の点滴、混合、軟膏について記述する)、第2成分にテキストを置く。例えば、|^this is a free text administration instruction|

RXE-8 Deliver-to Location 配布先 (CM) 00299

Components: <Point of Care (IS)> ^ <Room (IS)> ^ <Bed (IS)> ^ <Facility (HD)> ^ <Location Status (IS)> ^ <Patient Location Type (IS)> ^ <Building (IS)> ^ <Floor (IS)> ^ <Address (AD)>

Subcomponents for Facility (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

Subcomponents for Address (AD): <Street Address (ST)> & <Other Designation (ST)> & <City (ST)> & <State or Province (ST)> & <Zip or Postal Code (ST)> & <Country (ID)> & <Address Type (ID)> & <Other Geographic Designation (ST)>

定義：このフィールドは後ろ向きの互換性のためだけに維持されている。読者は RXE:40, RXE-41, RXE-42 及び RXE-43. を参照すること。第1成分は、薬剤または処置供給者が薬または治療装置(適用可能な場合に)を配布予定である、入院患者か外来患者のロケーションを含む。デフォルト値(ヌル)は現在の患者登録場所である。施設固有の表。最初の8つの成分は、PV1-3-患者の割り当てられた所在の最初の8つの成分と同じ形式を持っている。最終の8つの成分は、PV1-3-患者の割り当てられた所在の第9成分を置換し、十分なアドレス仕様を表わす。

RXE-9 Substitution Status 代替品状態 (ID) 00322

定義：有効な値は HL7 表 0167 -代替品状態を参照のこと。代替品が作られており、オリジナルの要求与薬コード(RXO-1-要求与薬コード)の記録が必要な場合、オプションのRXOセグメントをRDEメッセージに含むことができる。

HL7表 0167 -Substitution Status 代替品状態

Value	Description	Comment
N	代替薬剤を調剤しなかった。これはデフォルト値(ヌル)と同等である。	
G	一般の代替薬剤を調剤した。	
T	治療用の代替薬剤を調剤した。	

Value	Description	Comment
0	製品選択は示されなかった。	
1	処方担当者が代替品を許可しない。	
2	許可された代替品－患者が要求した製品を調剤した。	
3	許可された代替品－薬剤師が選択した製品を調剤した。	
4	許可された代替品－在庫にない一般薬品。	
5	許可された代替品－一般として調剤された商標薬。	
7	許可されない代替品－法律によって命じられた商標薬。	
8	許可された代替品－市販されていない一般薬品。	

**RXE-10 Dispense Amount 調剂量 (NM) 00323**

定義: このフィールドは、薬剤または処置供給者によってコード化された調剂量を含んでいる。

【処方】 投薬量の総量を示す。

**RXE-11 Dispense Units 調剤単位 (CWE) 00324**

Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義: このフィールドは、薬剤または処置供給者によってコード化された、調剂量のための単位を含んでいる。単位が実際の調剤コードによって意味されない場合、このフィールドが要求される。これは、薬剤が調剤された実際の量を反映する、単純な単位でなければならない。それは複合単位を含んでいない。

【処方】 取りうる値は表 7.10.1 単位略号に示すとおりとする。

**RXE-12 Number of Refills 同一薬発行数 (NM) 00304**

定義: このフィールドは、オリジナルの同一薬発行回数の合計を含んでいる。外来患者のみ。

**RXE-13 Ordering Provider's DEA Number オーダ発行者の DEA 番号 (XCEN) 00305**

Components: <ID Number (ST)> ^ <Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <DEPRECATED-Degree (e.g., MD) (IS)> ^ <Source Table (IS)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Name Type Code (ID)> ^ <Identifier Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Name Context (CWE)> ^ <DEPRECATED-Name Validity Range (DR)> ^ <Name Assembly Order (ID)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>

定義: このフィールドは、規制薬物(例えば麻薬)を要求した時に必要とされるので、条件付きのものとして定義される。

【処方】 麻薬施用者の免許番号を示す。

**RXE-14 Pharmacist/Treatment Supplier's Verifier ID 薬剤師/治療提供者の検証 ID (XCEN) 00306**

Components: <ID Number (ST)> ^ <Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <DEPRECATED-Degree (e.g., MD) (IS)> ^ <Source Table (IS)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Name Type Code (ID)> ^ <Identifier Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Name Context (CWE)> ^ <DEPRECATED-Name Validity Range (DR)> ^ <Name Assembly Order (ID)> ^

<Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)> ^  
<Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>

定義：このフィールドは、薬剤師/治療供給者の検証 ID を含んでいる。もし薬剤または処置アプリケーション、あるいは施設の要求(またはオーダのサブグループ)によって要求があれば使用する。

**RXE-15 Prescription Number 処方箋番号 (ST) 00325**

定義：このフィールドは薬剤または処置アプリケーションによって割り当てられた処方箋番号を含んでいる。薬剤/処置実施者オーダ番号と一意性において同等である。いくつかの施設では、これが薬剤または処置システム(内部)の連続形式である。他の施設では、これが外部形式である。薬剤/処置メッセージの中で使用された時、これは RXE の中の要求されたフィールドである。

**RXE-16 Number of Refills Remaining 薬剤残数 (NM) 00326**

定義：同一薬発行数の残数である。処方箋によって外来患者に調剤される場合それが必要とされるので、このフィールドは条件付きである。それは入院患者処置オーダには適切ではない。

**RXE-17 Number of Refills/Doses Dispensed 調剤済薬品数または投与数 (NM) 00327**

定義：同一薬発行数の残数である。処方箋によって外来患者に調剤される場合それが必要とされるので、このフィールドは条件付きである。それは入院患者治療部門オーダに適切ではない。

**RXE-18 D/T of Most Recent Refill or Dose Dispensed 調剤済薬品数または投与数の最新日時 (TS) 00328**

Components: <Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義：補充または調剤した、最近の日時。

**RXE-19 Total Daily Dose 1日あたりの総投与量 (CQ) 00329**

Components: <Quantity (NM)> ^ <Units (CWE)>

Subcomponents for Units (CWE): <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは、実際の調剤単位で表現されるような、個々の調合薬のための一日当たりの投与量合計を含んでいる。

**RXE-20 Needs Human Review 人によるレビューの必要性 (ID) 00307**

定義：このフィールドは HL7 表 0136 (Yes/No 指標) を使用する。値は、このフィールドにおいて次の意味を持っている:

Y Yes—警告が存在することを示す。コード化されたオーダを受け取るアプリケーションは、RXE-21-薬剤部門/処置部門による特別な調剤指示のテキストに注意を払うように、投薬または処置をする人に警告する必要がある。

N No—警告が存在しないことを示す。これはデフォルト値 (ヌル) と同等である。

**RXE-21 Pharmacy/Treatment Supplier's Special Dispensing Instructions 薬剤部門/治療部門による特別な調剤指示 (CWE) 00330**

Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^

<Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^  
<Original Text (ST)>

定義：このフィールドは、薬剤または処置提供者によって生成された、調剤／投薬オーダの供給者への特別指示を含む。

【処方】複数の指示がある場合、反復セパレータを使用して、複数記述することができる。取りうる値は、下図に示すとおりとする。

**表7.10.3 依頼者の処方指示**

ID	テキスト	内容
EMG	1	緊急
EMG	2	保管
SPS	1	薬剤情報提供文書発行
SPS	2	健康手帳に記載し、かつ薬剤情報提供文書発行

第三成分 (name of coding system) には、' JHSP' を設定する。

**表7.10.4 調剤特別指示**

ID	テキスト	内容
SOD	A	別包指示
SOD	B	一包化指示
SOD	C	混合指示
SOD	D	粉碎指示

第三成分 (name of coding system) には、' JHSP' を設定する。

**表7.10.5 処方区分 (MERIT-9 処方オーダ Ver1.1 表7)**

ID	テキスト	内容
TOC	OHP	外来処方
TOC	OHI	院内処方
TOC	OHO	院外処方
TOC	IHP	入院処方
TOC	DCG	退院処方
TOC	ORD	定期処方
TOC	XTR	臨時処方

第三成分 (name of coding system) には、' MR9P' を設定する。

例. 外来院外処方の場合  
OHP^外来処方^MR9P~OHO^院外処方^MR9P と表現

**表7.10.6 依頼者の投薬指示 (MERIT-9 処方オーダ Ver1.1)**

ID	テキスト	内容
DVD	a-b-c-d	a,b,c,dは不均等投薬時の投与量をあらわす 投薬毎の投与量をセパレータで区切って指示する 規約上1日の投与回数は制限しない

第三成分 (name of coding system) には、' MR9P' を設定する。

例. 不均等投与 朝：1、昼：1、夜：1、就寝前：2 の場合  
DVD^1-1-1-2 ^MR9P と表現

RXE-22 Give Per (Time Unit) 時間あたりの与薬 (ST) 00331

定義：このフィールドは、製剤が投薬されることになっている速度を計算するために使用する、時間単位を含んでいる。

フォーマット:

S<整数> = <整数> 秒

M<整数>	=	<整数> 分
H<整数>	=	<整数> 時間
D<整数>	=	<整数> 日
W<整数>	=	<整数> 週
L<整数>	=	<整数> 月
T<整数>	=	決められた時間間隔と量での「投薬量」<整数>の総合計。 単位は「数量」フィールドと同じであると仮定する。
INDEF	=	無期限に行うーさらにデフォルト

これは、“X”の仕様を除いて、数量/タイミングフィールドの「継続時間」成分ので指定したフォーマットと同じである。

このフィールドは、オーダされた薬剤が規定された速度(例えばある点滴)で連続的に投薬されることになっている場合に必要とされるので、条件付きであると定義される。例えば、“与薬量/単位”が300ml、そして与薬あたりの時間単位がH1(1時間と等価)だった場合、速度は300ml/時間である。

#### RXE-23 Give Rate Amount 与薬速度 (ST) 00332

定義：このフィールドは、薬剤が投与されるべき速度を含んでいる。

#### RXE-24 Give Rate Units 与薬速度単位 (CWE) 00333

Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは、RXE-23-与薬速度のための単位を含んでいる。合成かもしれない。RXE-23-与薬速度およびRXE-24-与薬速度単位は、投薬の実際の速度を定義する。したがって、RXE-23-与薬速度=100、およびRXE-24-与薬速度単位=ml/hrの場合、投薬の要求速度は100ml/時間である。

#### RXE-25 Give Strength 与薬力価 (NM) 01126

定義：RXE-2-与薬コードが力価を指定しない時に使用する。これはRXE-26-与薬力価単位と結合して使用される力価の数値部分である。

力価および力価単位フィールドが、さまざまなRX\_\_セグメントに含まれた数量および数量単位フィールドに加えて必要になる。その理由を説明する。内科医は、2つの方法でアンピシリンのような薬の処方を書くことができる。1つの方法は次のとおりである。「アンピシリン250mgの錠剤、2粒を1日4回。」この場合投与量は2、投与単位は錠剤、力価は250、力価単位はミリグラムである。しかしながら、依頼者は「アンピシリン500mg、1日4回」と処方箋を書くことがある。この場合投与量は500で、投与単位はミリグラムである。力価はRXEセグメント中で報告されない。なぜならそれが指定されないからである。薬は、250mg 2カプセルまたは500mg 1カプセル投与することがある。しかし、薬剤師は特定の錠剤サイズを決めて、処方した錠剤サイズを250または500としてRXEセグメントに力価を記録する。

力価、単位、投薬経路、および製造会社を単一コードで指定するコード化方式もある。NDCコードは通常、医薬品だけでなく力価、単位、剤型も意味する。例えば0047-0402-30 ^ Ampicillin 250 MG TABS ^ NDC。したがって、この情報はすべてRXE-1ー要求投薬コードの中で、そして他の薬剤/治療セグメントの中の類似のCWEフィールドの中で完全に指定され得る。この場合、この情報を指定するために力価および力価単位フィールドを使用する必要はない。

【処方】 製剤単位あたりの力価を示す。

**RXE-26 Give Strength Units 与薬力価単位 (CWE) 01127**

Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：RXE-2-与薬コードが力価を指定しない時に使用する。これは力価の単位で、RXE-25-与薬力価と結合して使用される。

注：これらのユニットは“合成数量”でありうる。つまり、単位は、時間の1単位当たり数量を表現する。例えば、マイクログラム毎時(ug/h)は受理可能な値である。これらの合成単位はISO+テーブルに含まれている。

**RXE-27 Give Indication 与薬指示 (CWE) 01128**

Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは、薬/治療が処方された条件か問題を示す。複合指示が適切であれば、繰り返してもよい。

**RXE-28 Dispense Package Size 調剤パッケージサイズ (NM) 01220**

定義：このフィールドは、調剤されるパッケージのサイズを含んでいる。単位はRXE-29-調剤パッケージサイズ単位で送信される。

**RXE-29 Dispense Package Size Unit 調剤パッケージサイズの単位 (CWE) 01221**

Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは、RXE-28-調剤パッケージサイズが称される単位を含んでいる。

**RXE-30 Dispense Package Method 調剤パッケージ方法 (ID) 01222**

定義：このフィールドは、治療を行う方法を含んでいる。有効な値は、HL7表 0321 - 調剤方法を参照。

**HL7表 0321 -Dispense Method 調剤方法**

Value	Description	Comment
TR	Traditional 従来	
UD	Unit Dose ユニットドーズ	
F	Floor Stock フロアストック	
AD	Automatic Dispensing 自動調剤	

**RXE-31 Supplementary Code 補足コード (CWE) 01476**

Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは、薬剤に関係しているすべてのコードの識別を提供する。共通のコードは次のものを含んでいる：Generic Product Identifier(GPI)、Generic Code Number\_Sequence Number(GCN\_SEQNO)、National Drug Code(NDC)。

**RXE-32 Original Order Date/Time 当初のオーダー日/時間 (TS) 01673**

Components: <Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義：このフィールドには補充 (refill) 認可が要請された時の、オリジナルオーダー (ORC-9) の日時が含まれている。これはオリジナルオーダー処理の ORC-9 の中に提示されている。

**RXE-33 Give Drug Strength Volume 与薬力価量 (NM) 01674**

定義：この数量フィールドは量の測定を定義するもので、その中には薬力価濃度が含まれている。例えば、アセタミノフェンの 120MG/5ML エリクシルの意味は、この薬の 120MG は 5ML の薬量の溶液に入っており、RXE-25, RXE-26, RXE-33 及び RXE-34 にコードで次のように表される。

RXE||||||||||||||||||||||||||120|mg^^ISO|||||||5|m1^^ISO ...<cr>

**RXE-34 Give Drug Strength Volume Units 与薬力価量単位 (CWE) 01675**

Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは RXE-33 与薬力価量に関連した量単位を提示する。RXE-33 の中の例を参照すること。

**RXE-35 Controlled Substance Schedule 薬物コントロールスケジュール (CWE) 01676**

Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは法律で使用量が規制されている薬物もしくは他の物質の分類を特定するものである。米国においては、このような法律としては連邦薬物規制法 the federal Controlled Substance Act (CSA) もしくは州の法律である State Uniform Controlled Substance がある。米国での合法の使用量については、使用者が定義する表 0477 - 薬物コントロールの日程を参照のこと。他の各国も独自にこの表のような日程を作るべきである。

行政管轄体によっては、特定の分類の薬物のコントロールリストを追加する場合もあり、日程も追加されるので、0477 表は使用者が定義するものである。

**使用者定義表 0477 – Controlled Substance Schedule\***

Value	Description	Comment
I	スケジュール I	濫用となる危険性が高い薬物、および米国では現在医薬品として受け入れられていないもの、また医療監督の下においても使用の安全性が認められていない薬物を含む。
II	スケジュール II	米国で現在医薬品として使用が認められているが、濫用の危険性が高く、心理的、身体的に依存性が極めて高い薬物 (薬品) を含む。
III	スケジュール III	スケジュール I と II にリストされている薬物よりも濫用の危険性が低いもの。CS III の薬品は現在米国で医薬品として使用が認められている。
IV	スケジュール IV	スケジュール III にリストされている薬物よりも濫用の危険性が低いもの。CS IV の薬品は現在米国で医薬品として使用が認められている。
V	スケジュール V	濫用の危険性が低く、リスト IV のものと比較して心理的、身体的な依存性が低い。米国で医薬品として使用が認められている。

Value	Description	Comment
VI	スケジュール VI	州により規定される。

\*Pharmacy Law Digest July 1988

**RXE-36 Formulary Status 処方集ステータス (ID) 01677**

定義: このフィールドは薬剤がその地域の処方規定に準拠しているかどうかを特定するものである。有効な値は HL7 表 0478 - 規定のステータスを参照のこと。

**HL7表 0478 -Formulary Status 規定のステータス**

Value	Description	Comment
Y	薬剤が処方集の中に入っている。	
N	薬剤が処方集の中に入っていない。	
R	薬剤は処方集の中に入っているが、規制が適用される。	
G	薬剤は処方集の中に入っているが、ガイドラインが適用される。	

**RXE-37 Pharmaceutical Substance Alternative 薬物代替え (CWE) 01678**

Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義: このフィールドは、処方された薬品の代替えとして処方集に載っている薬品を特定するものである。特定の医薬品が処方集の中に含まれていない場合、このフィールドは処方集に載っている治療的代替薬品を提示する。

**RXE-38 Pharmacy of Most Recent Fill 最新の与薬の薬剤部 (CWE) 01679**

Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義: このフィールドは最も新しく薬剤を処方した薬剤部を特定するものである。

**RXE-39 Initial Dispense Amount 最初の調剤量 (NM) 01680**

定義: このフィールドは、最初の処方による調剤の量が補充薬 (Refill) に用いられた処方の量と異なる時に、最初の調剤量を特定するものである。処方者が新しい医薬品を処方した際、患者がその投与量に耐えられるかどうかを見極めたいと思うようなケースがその例である。処方者が当初の処方量を 30 錠とし、もし患者が耐えられるなら補充の際には 100 錠にすると明示するような場合である。このような場合 RXE-39 には 30 と記され、RXE-10 には 100 という数値が提示される。

もしこのフィールドに何も記されていない場合は、当初の調剤量は RXE-10 と同じになる。

単位は RXE-11 に記されている通りである。

**RXE-40 Dispensing Pharmacy 調剤薬剤部 (CWE) 01681**

Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義: このフィールドは処方箋を調剤する薬剤部を特定するものである。

RXE-41 Dispensing Pharmacy Address 調剤薬剤部の住所 (XAD) 01682

Components: <Street Address (SAD)> ^ <Other Designation (ST)> ^ <City (ST)> ^ <State or Province (ST)> ^ <Zip or Postal Code (ST)> ^ <Country (ID)> ^ <Address Type (ID)> ^ <Other Geographic Designation (ST)> ^ <County/Parish Code (IS)> ^ <Census Tract (IS)> ^ <Address Representation Code (ID)> ^ <DEPRECATED-Address Validity Range (DR)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)>

定義：このフィールドは調剤薬剤部の住所を特定するものである。

RXE-42 Deliver-to Patient Location 患者への配達場所 (PL) 01683

Components: <Point of Care (IS)> ^ <Room (IS)> ^ <Bed (IS)> ^ <Facility (HD)> ^ <Location Status (IS)> ^ <Person Location Type (IS)> ^ <Building (IS)> ^ <Floor (IS)> ^ <Location Description (ST)> ^ <Comprehensive Location Identifier (EI)> ^ <Assigning Authority for Location (HD)>

定義：このフィールドでは薬剤が患者に引き渡される場所が特定される。

RXE-43 Deliver-to Address 配達先住所 (XAD) 01684

Components: <Street Address (SAD)> ^ <Other Designation (ST)> ^ <City (ST)> ^ <State or Province (ST)> ^ <Zip or Postal Code (ST)> ^ <Country (ID)> ^ <Address Type (ID)> ^ <Other Geographic Designation (ST)> ^ <County/Parish Code (IS)> ^ <Census Tract (IS)> ^ <Address Representation Code (ID)> ^ <DEPRECATED-Address Validity Range (DR)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)>

定義：このフィールドは処方薬剤が、郵送もしくは手渡しされるべき住所を特定するものである。

RXE-44 Pharmacy Order Type 薬剤オーダータイプ (ID) 01685

定義：薬剤オーダータイプは、オーダーが処理される経路を決定するために用いられる薬剤オーダーの一般的カテゴリーを定義するものである。有効な値についてはHL7表 0480-薬剤オーダータイプを参照のこと。

このフィールドは関連するオーダーの処理そして/もしくは記録のために、グループ化する目的にも用いられて差し支えないものである。例えば、医療管理記録 Medication Administration Records (MARs) はしばしば大量の液剤、医薬品を、現場の手順に応じて少量の液剤とは異なる区分をする。

使用のルール：このフィールドはすべての薬剤処置が選択するものである。何も入っていない場合には、デフォルトの「M」が用いられる。

HL7表 0480 – Pharmacy Order Types 薬剤オーダータイプ

Value	Description	Comment
M	投薬	デフォルト値。錠剤、カプセル、粉末、その他の注射以外の/注入以外の製品を含むがこれらには限られない
S	IV 大量溶液	TPN, 混合薬剤、溶液、ドリップなどを含むがこれらに限られない。
O	医療のオーダーに応じて他の溶液	ピギーバック及び注射(入)器を含むがこれらに限られない。

## 7.11 TQ1 - Timing/Quantity Segment タイミング/数量セグメント

TQ1セグメントは、イベントとアクションの複雑なタイミングを指定するのに使用される。(例えば、オーダ管理やスケジューリングシステム)。このセグメントは、サービスの量、頻度、優先度、及びタイミングを決定する。このセグメントの繰返しを許すことで、あるサービス要求(時間にこだわらず)での量、頻度、優先度の値に幅を持たせることが可能になる。

以下にTQ1が繰り返されるユースケースを示す。

- a) 心筋酵素 (直ちに)、後は毎4時間
- b) ストレプトキナーゼ検査、一回目 (直ちに) 結論を出し、実施 (直ちに)、その後毎4時間結論を出し、実施 (直ちに)。
- c) ゲンタマイシン 100mg (すぐ)、80mg 毎12時間2回分(最初一回分80mg)一回分100mgの後きっかり12時間後(2回のサービス要求かも)。
- d) アクティバース 15mg ボーラス (直ちに)、次に30分間50mg、次に60分間35mg(2回のサービス要求かも)。
- e) 初めにイモディウム 4mg (2カプセル) 経口、次に2mg (1カプセル) 各未形成の検便後、一日あたり最大16mg。
- f) 初日 Zithromax 500mg (2錠剤 tabs) 経口、次に250mg (1カプセル) 経口で1日1回を5か間(2回のサービス要求かも)。
- g) 禁煙の処方薬 Zyban (ブプロピオン Bupropion) 150mg 経口から開始、毎午前を3日間、次に150mg 経口、1日2回を7週から12週間。
- h) コルヒチン 1mg(2カプセル)経口(すぐ)、次に1カプセル毎1から2時間、痛みが緩和するか、或いは好ましくない副作用(下痢、胃腸障害)が出るまで。(2回のサービス要求かも)
- i) 初日 doxycycline 100mg 経口、1日2回、次に100mg 経口、一日1回。
- j) スコポラミン、xxxmg,外科手術前1時間。相対時間= -1^hour、プライオリティ=P(術前)、或いは代替の繰返パターン=s= P1H^Preop, 1 Hour before Surgery^99LocalCode, 相対時間は空かプライオリティがP(術前)。

HL7属性表 -TQ1 タイミング/数量

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	ITEM#	ELEMENT NAME	NOTE
1	4	SI	O	O		01627	Set ID - TQ1 TQ1をIDIにセット	
2	20	CQ	O	O		01628	Quantity 数量	
3	540	RPT	O	O	Y	01629	Repeat Pattern 繰返しパターン	
4	20	TM	O	O	Y	01630	Explicit Time 明示的な時間	
5	20	CQ	O	O	Y	01631	Relative Time and Units 関連時間/単位	
6	20	CQ	O	O		01632	Service Duration サービス期間	
7	26	TS	O	O		01633	Start date/time 開始日時	
8	26	TS	O	O		01634	End date/time 終了日時	
9	250	CWE	O	O	Y	01635	Priority 優先度	
10	250	TX	O	O		01636	Condition text 条件テキスト	
11	250	TX	O	O		01637	Text instruction テキスト指令	
12	10	ID	C	O		01638	Conjunction 連結	
13	20	CQ	O	O		01639	Occurrence duration 発生期間	
14	10	NM	O	O		01640	Total occurrence's 総発生	

Optionality

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7

Japan (JAHIS仕様での取り扱い)

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)

- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7
- N - not used useally. use only on the site

Repetition

- N - no repetition
- Y - the field may repeat an indefinite or site determined number of times
- (integer)- the field may repeat up to the number of times specified in the integer

## TQ1フィールド定義

TQ1-1 Set ID - TQ1 (SI) 01627

定義: 最初の伝送時、シーケンス番号は1、二回目の伝送時、シーケンス番号は2、以下同順。

TQ1-2 Quantity 数量 (CQ) 01628

Components: <Quantity (NM)> ^ <Units (CWE)>  
 Subcomponents for Units (CWE): <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義: このフィールドは、サービスが各々のサービス間隔で提供されるべき量を数量的に指定する。例えば、2つの血液カルチャを4時間毎に入手する場合、その量は2である。或いは、3ユニットの血液がタイプされ、クロスマッチされ、量は3となる。このフィールドの暗黙値は1である。

もし、複数のサービスが要求される場合、複数のサービス要求が発行され、各々のサービスに各自固有な発行者/実行者番号が与えられることを強く推奨する。

TQ1-3 Repeat Pattern 繰り返しパターン (RPT) 01629

Components: <Repeat Pattern Code (CWE)> ^ <Calendar Alignment (ID)> ^ <Phase Range Begin Value (NM)> ^ <Phase Range End Value (NM)> ^ <Period Quantity (NM)> ^ <Period Units (IS)> ^ <Institution Specified Time (ID)> ^ <Event (ID)> ^ <Event Offset Quantity (NM)> ^ <Event Offset Units (IS)> ^ <General Timing Specification (GTS)>  
 Subcomponents for Repeat Pattern Code (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義: 繰り返しの頻度は、その治療が管理されるべき頻度である。オーダエントリシステムで使用された頻度と SIG コード表と同様である。

このフィールドは、もっと複雑な繰り返しパターンを構築するために繰り返される。例えば、毎日就寝時は、"|QD~HS|"として繰り返される。

数量タイミング仕様がある期間の後異なる繰り返しパターンに変化しなければならない時、新しい TQ1 セグメントが新しい繰り返しを示すために使用されなければならない。現状の TQ1 の終了日は現状タイミング仕様の終了を示し、次の TQ1 の開始日は新しいタイミング仕様を開始する時を示す。TQ1-12 の結合フィールドが次の TQ1 セグメントが連続して或いは平行して実行されるかを決定する。

使用者定義表 0335 -Repeat pattern 繰り返しパターン

Value	Description	Comment
Q<整数>S	<整数>秒ごと	
Q<整数>>M	<整数>分ごと	

Value	Description	Comment
Q<整数>H	<整数>時間ごと	
Q<整数>D	<整数>日ごと	
Q<整数>W	<整数>週ごと	
Q<整数>L	<整数>月（月周期）ごと	
Q<整数>J<日番号>	週の特定の曜日に繰り返す	フランス語の <i>Jour</i> （日）より。<整数>がないとき繰り返し頻度は 1 と見なされる。<日番号>は 1=月曜日から 7=日曜日までである。したがって、Q2J2 は 2 週に 1 度の火曜日ごととなり；Q1J6 は毎日曜日となる。
BID	日に 2 回、施設で定められた時刻	(例、9AM-4PM)
TID	日に 3 回、施設で定められた時刻	(例、9AM-4PM-9PM)
QID	日に 4 回、施設で定められた時刻	(例、9AM-11AM-4PM-9PM)
xID	日に X 回、施設で定められた時刻で、X は数字の 5 より大きい	(例、5ID=日に 5 回；8ID=日に 8 回)
QAM	朝の施設で決められた時間に	
QSHIFT	8 時間の 3 回のシフトで 1 回づつ施設で決められた時間に	
QOD	1 日おきに	(Q2D と同じ)
QHS	毎日就寝時間の前に	
QPM	夕の施設で決められて時間に	
C	サービスは開始時刻から終了時刻まで連続的に提供される	
U <spec> U <指定>	将来の使用のため、<指定>は UNIX の cron 仕様で定義された繰り返しの指定	
PRN	必要に応じて	
PRNxxx	xxx はある繰り返しコード	(例、PRNQ6H)；頻度の間隔で必要に応じて
Once	一回のみ	これもこの成分がヌルの時のデフォルト
食事に関連したタイミング	<タイミング>C ("cum")<食事>	
A	Ante (前)	
P	Post (後)	
I	Inter (間)	(例、前後の食事の間、夕食と終身の間)
M	Cibus Matutinus (朝食)	
D	Cibus Diurnus (昼食)	
V	Cibus Vespertinus (夕食)	

繰り返しパターンの記述方法の例を下表に示す。

表7.11.1 繰り返しパターンの例

1日1回	朝食	前	ACM
	朝食	後	PCM
	昼食	前	ACD
	昼食	後	PCD
	夕食	前	ACV

	夕食	後	PCV
	午前	食間	ICM
	午後	食間	ICD
	夕食後	食間	ICV
	就寝時		HS
	朝		M
	昼		D
	夕		V
1日2回	朝夕	食前	BID~ACM~ACV
	朝夕	食後	BID~PCM~PCV
	朝昼	食前	BID~ACM~ACD
	朝昼	食後	BID~PCM~PCD
	昼夕	食前	BID~ACD~ACV
	昼夕	食後	BID~PCD~PCV
	朝食後と就寝時		BID~PCM~HS
	昼食後と就寝時		BID~PCD~HS
	夕食後と就寝時		BID~PCV~HS
	朝食前と就寝時		BID~ACM~HS
	昼食前と就寝時		BID~ACD~HS
	夕食前と就寝時		BID~ACV~HS
	朝夕		BID~M~V
	朝昼		BID~M~D
	昼夕		BID~D~V
1日3回	朝昼夕	食前	TID~AC
	朝昼夕	食後	TID~PC
	朝昼食前と就寝時		TID~ACM~ACD~HS
	朝夕食前と就寝時		TID~ACM~ACV~HS
	昼夕食前と就寝時		TID~ACD~ACV~HS
	朝昼食後と就寝時		TID~PCM~PCD~HS
	朝夕食後と就寝時		TID~PCM~PCV~HS
	昼夕食後と就寝時		TID~PCD~PCV~HS
	毎食間		TID~IC
	朝昼夕		TID~M~D~V
1日4回	毎食前と就寝時		QID~AC~HS
	毎食後と就寝時		QID~PC~HS
1日2回	12時間ごと		Q12H
1日3回	8時間ごと		Q8H
1日4回	6時間ごと		Q6H
1日6回	4時間ごと		Q4H
1日8回	3時間ごと		Q3H
1日5回	毎食後と15時と就寝時		5ID~PC~1500~HS

【処方】「1日5回、毎食後、15時、就寝時」のように“時刻”が含まれている場合、次の表 7.11.2 追加用法（食事関連）も合わせて使用する。

例：5ID~PC~1500~HS と表現

表7.11.2 追加用法（食事関連）（MERIT-9 処方オーダー Ver.1.1 表6抜粋）

テキスト	内容
nnmm	nn時mm分

【処方】 頓用指示を行う場合、次の表のテキストを条件成分に設定する。

表7.11.3 頓用指示 (MERIT-9 処方オーダ Ver.1.1 表5)

投与条件	テキスト
検査時	PRNLts
頭痛時	PRNheadache
疼痛時	PRNpain
歯痛時	PRNteeth pain
発熱時	PRNfever or PRNfebrile
胸痛時	PRNchest pain
腹痛時	PRNabdominal pain
不眠時	PRNinsomnia
不安時	PRNanxiety
いらいら時	PRNnervous
めまい時	PRNdizziness or PRNvertigo
かゆいとき	PRNitching
発作時	PRNattack
便秘時	PRNcostipation
下痢時	PRNdiarrhea
嘔吐時	PRNvommiting
咳き込み時	PRNcough
空腹時	PRNhungry
血圧上昇時	PRNhigh BP
亡尿時	PRNauria
多尿時	PRNpolyuria

第三成分 (name of coding system) には、' MR9P' を設定する。

例. 疼痛時の場合

PRNpain^疼痛時^MR9P と表現

#### TQ1-4 Explicit Time 明示的時間 (TM) 01630

定義: このフィールドは TQ1-3 のコードによって参照された実際の時間を明示的にリストする。  
D このフィールドは、実際の管理時間が施設内でまちまちであるケースで TQ1-3 を明確化するために使用される。仮にサービスの時間が一日よりもっと長い期間を要求する場合、このフィールドはサービス要求があった各々の日に同じ管理時間が発生する場合にのみ実行が可能となる。仮にサービス要求 (TQ1-7 によって与えられる) の実際の開始時間が最初の明示的時間よりも後である場合、開始時間後、最初の明示的時間に最初の管理が行われる。患者が明示的時間の異なる組み合わせを持つ場所に移動したケースでは、既存のサービス要求は、変更された明示的時間を示す新しい数量/タイミングによって更新される。

使用上の注意: このフィールドは、繰返しパターンが存在しない場合には無効。

#### TQ1-5 Relative Time and Units 相対的時間と単位 (CQ) 01631

Components: <Quantity (NM)> ^ <Units (CWE)>

Subcomponents for Units (CWE): <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義: このフィールドはサービス要求或いはボトル記録のためのスケジュールの間隔を定義するために使用される。仮にこのフィールドが値を持つ場合、明示的時間間隔フィールドの値を上書きする。CQ データ型の単位コンポーネントは、時間単位に制約される。

例:

```
TQ1|1|1|Q1H||60^min&&ANS+ - Q1H is defined with an interval between services
of 60 minutes
TQ1|1|1|Q6H||6^hr&&ANS+ - Q6H is defined with an interval between services
of 6 hours
TQ1|1|1|QD||1^d&&ANS+ - QD is defined with an interval between services of
1 day
```

**TQ1-6 Service Duration サービス期間 (CQ) 01632**

Components: <Quantity (NM)> ^ <Units (CWE)>  
Subcomponents for Units (CWE): <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義: このフィールドは、サービスが要求される期間を含む。

このフィールドの数量成分は、ポジティブで、ゼロでない数字でなければならない。このフィールドの単位ポジションは、時間の単位に制約される。

例: ワイヤプールを3日間に一日20分。3日ともサービス期間。

```
TQ1|1||TID||3^d&&ANS+||||20^min&&ANS+|9<cr>
```

**TQ1-7 Start date/time 開始日/時間 (TS) 01633**

Components: <Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義: このフィールドは、サービスが開始されるべき最早日/時間を示す場合に、要求者によって指定される。しかしながら、多くの場合、開始日/時間は暗示されるかサービス要求記録(例えば緊急-STAT)の他のフィールドによって定義される。これらの場合、このフィールドは空である。

サービス実施では、しばしばサービス要求を受け取った後、このフィールドに値が記録される。しかしながら、終了時間は、サービス実施の内部使用のため、開始日/時間をベースとして計算している。

**TQ1-8 End date/time 終了日/時間 (TS) 01634**

Components: <Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義: サービス要求者によって実施される場合、このフィールドはサービスが実行されるべき最遅日/時間を含む。仮に指定された時間によってサービスが実行されなかった場合、そのサービスはまったく実行されるべきではない。要求者はいつもこの値を記入するものではなく、サービス実施が終了日/時間を記入するかも知れない。それを受け取る施設と実際開始時間をベースとして。

終了日/時間の値に関わらず、サービスは期間或いは終了日/時間によって指定された最早日/時間で停止されるべき。

**TQ1-9 Priority 優先度 (CWE) 01635**

Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義: このフィールドは、要求の優先度を記述する。仮にこのフィールドがブランクならデフォルトはRである。推奨値に関しては、使用者定義表 0485—拡張優先度コードを参照のこと。

**使用者定義表 0485 - Extended Priority Codes 拡張優先度コード**

Value	Description	Comment
S	Stat	最も高い優先度

Value	Description	Comment
A	ASAP	S オーダの後で記入
R	Routine	デフォルト
P	Preop	
C	Callback	
T	Timing critical	要求はできるだけ要求時間に近づけることが重要。例えば抗菌レベル。
TS<integer>		タイミングは<整数値>秒以内であることが重要
TM<integer>		タイミングは<整数値>分以内であることが重要
TH<integer>		タイミングは<整数値>時間以内であることが重要
TD<integer>		タイミングは<整数値>日以内であることが重要
TW<integer>		タイミングは<整数値>週以内であることが重要
TL<integer>		タイミングは<整数値>月以内であることが重要
PRN	As needed	

TQ1-10 Condition text 条件テキスト (TX) 01636

定義: これは薬が与えられる条件を記述する自由テキストのフィールドである。例えば、PRN pain, 或いは血圧を110以下に保つこと

このフィールドの存在は、この薬がどのように、かつ或いはいつ与えられるべきかを決定するために人間のレビューが必要であるということの意味するためと捉えるべき。

TQ1-11 Text instruction テキスト指令 (TX) 01637

定義: このフィールドは、指示のフルテキスト版である。(オプション)

TQ1-12 Conjunction 連結 (ID) 01638

定義: このフィールドは、2番目のTQ1セグメントに従える。可能な値に関しては、HL7表0472-TQ連結IDを参照のこと。

HL7表 0472 -TQ Conjunction ID TQ 連結ID

Value	Description	Comment
S	同期 (Synchronous)	同期. 今回の指定の後に次の指定を行う(TQ1-7-開始日時,およびTQ1-8-終了日時)より制限を受けなければ)。“S”指定は、最初のタイミング・シーケンスの後に2番目のタイミング・シーケンスが続くことを示す。例えば、最初の1時間はQ15分ごとに血圧を測定し、次の日には2時間ごとに血圧を測定するよう依頼する。
A	非同期 (Asynchronous)	今回の指定と並行して次の指定を行う(TQ1-7-開始日時,およびTQ1-8-終了日時)より制限を受けなければ)。連結“A”により、投薬時などに散見される、2つの指示の並行指定が可能になる。例えば、月曜、水曜、金曜にプレドニゾン1錠、火曜、木曜、土曜、日曜には1/2錠。
C	これは開始時間である (Actuation Time)	このコードの後にはサービスの終了時間が続く。このコードにより、サービスを起動すべき(採血など)時間・優先度から、サービスを終了すべき(結果報告など)時間・優先度が区別できるようになる。

連続サービスあるいは循環サービスの場合、サービスを実際に停止するポイントは、*TQ1-8* 終了日時及び *TQ1-6* 継続時間の、どちらかより早い停止時間を示す成分により決定される。通常、この2つの成分のうち1つだけが存在する。

条件ルール：TQ1 セグメントがメッセージ内で繰返される場合、TQ1 セグメントに続く連続を意味する適切な継続時間コードで入力されるべきである。

**TQ1-13 Occurrence duration 発生期間 (CQ) 01639**

Components: <Quantity (NM)> ^ <Units (CWE)>

Subcomponents for Units (CWE): <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：このフィールドはサービスの単独能力についての期間を含んでいる。このフィールドの数量成分は、入力時ポジティブかつゼロでない数字でなければならない。単位成分は、時間の単位に制約される。

例えばワールプールを3日間、1日で20分を3回。TQオプションで繰り返し無し。

```
TQ1|1||TID||3^d&&ANS+|||||20^min&&ANS+|9<cr>
```

**TQ1-14 Total occurrence's 発生総数 (NM) 01640**

定義：このフィールドは、サービス要求の結果であるべきサービスの発生総数を含む。仮に終了日/時間(TQ1-8)と発生総数の両方が値を持ち、その発生数が終了日/時間を越えて延びる場合は、終了日/時間を優先する。その他の場合は発生数を優先する。

例：ワールプールを3日間、1日で20分を3回。総発生数が9回。

```
TQ1|1||TID||3^d&&ANS+|||||20^min&&ANS+|9<cr>
```

## 7.12 RXR - Pharmacy/treatment route segment 投薬経路セグメント

薬剤／治療経路セグメントには、処方される経路、部位、投薬装置、投薬方法の任意な組み合わせが含まれる。どの経路を選ぶかは、薬剤／治療スタッフ及び看護スタッフのいずれか、またはその両方に任されるが、その判断基準は、各スタッフの専門的判断か、医師の投薬指示に基づく。

HL7属性表 -RXR Pharmacy/Treatment Route 投薬経路

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	ITEM#	ELEMENT NAME	NOTE
1	250	CWE	R	R		00309	Route 経路	
2	250	CWE	O	O		00310	Site 部位	
3	250	CWE	O	O		00311	Administration Device 投薬装置	
4	250	CWE	O	O		00312	Administration Method 投薬方法	
5	250	CWE	O	O		01315	Routing Instruction 経路指示	
6	250	CWE	O	O		01670	Administration Site Modifier 投薬現場モディファイア	

### RXR フィールド定義

#### RXR-1 Route 経路 (CWE) 00309

Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは投薬の経路である。

NDCから派生したコードのように、最新の“経路コード”は、部位を既に含んでいる。そのような場合、全コードは、CWEデータタイプの“ローカル定義コード”として、このフィールドに含むことができる。有効な値は、使用者定義表0162－投薬経路を参照のこと。

使用者定義表 0162 -Route of Administration 投薬経路

Value	Description	Value	Description
AP	Apply Externally 外用	MM	Mucous Membrane 粘膜
B	Buccal 頬	NS	Nasal 鼻側
DT	Dental 歯	NG	Nasogastric 経口径内腔
EP	Epidural 硬膜外	NP	Nasal Prongs* 鼻のブロング*
ET	Endotracheal Tube* 気管内チューブ*	NT	Nasotracheal Tube 鼻気管内チューブ
GTT	Gastrostomy Tube 消化器官	OP	Ophthalmic 眼
GU	GU Irrigant GU洗浄	OT	Otic 耳
IMR	Immerse (Soak) Body Part 浸透	OTH	Other/Miscellaneous その他/さまざま
IA	Intra-arterial 動脈内	PF	Perfusion 灌流
IB	Intrabursal 滑液包内	PO	Oral 口
IC	Intracardiac 心臓内	PR	Rectal 直腸
ICV	Intracervical (uterus) 子宮	RM	Rebreather Mask* リブリーザーマスク*
ID	Intradermal 皮膚内	SD	Soaked Dressing 湿性包帯
IH	Inhalation 吸入	SC	Subcutaneous 皮下
IHA	Intrahepatic Artery 肝内動脈	SL	Sublingual 舌下
IM	Intramuscular 筋肉内	TP	Topical 局所
IN	Intranasal 鼻腔内	TRA	Tracheostomy* 気管切開*
IO	Intraocular 眼内	TD	Transdermal 経皮性
IP	Intraperitoneal 腹腔内	TL	Translingual 経舌
IS	Intrasynovial 滑液包内	UR	Urethral 尿道
IT	Intrathecal 鞘内	VG	Vaginal 膣
IU	Intrauterine 子宮内	VM	Ventimask 換気マスク
IV	Intravenous 静脈内	WND	Wound 創傷
MTH	Mouth/Throat 口/喉		

\*主として呼吸器治療および麻酔に使用される。

RXR-2 Administrative Site 投薬部位 (CWE) 00310

Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは、投薬経路の部位を含んでいる。このフィールドでコーディネートした後のコード表を使う場合は、このフィールドの意味を修正するために RXR-6 投薬サイト (RXR-6 Administration Site ) が用いられることがある。

有効な値については HL7 表 0550－身体の部位を参照のこと。後ろ向きの互換性については、HL7 表 0163－身体サイトも利用できる。その他の適切な外用のコードセットも利用できる。(例, SNOMED)

HL7表 0550－身体部位

Value	Description	Value	Description
ADB	Abdomen 腹部	ISH	Loop, Ischial 坐骨部
ACET	Acetabulum 臼蓋窩(きゅうがいが)	LUMBA	Lumbar 腰部
ACHIL	Achilles アキレス腱	LMN	Lumen 内腔
ADE	Adenoids 咽頭扁桃腺	LUNG	Lung 肺
ADR	Adrenal 副腎	LN	Lymph Node リンパ節
AMN	Amniotic fluid 羊水	LNG	Lymph Node, Groin 鼠径リンパ節
AMS	Amniotic Sac 羊膜嚢	LYM	Lymphocytes リンパ球
ANAL	Anal 肛門部	MAC	Macrophages マクロファージ
ANKL	Ankle 足首	MALLE	Malleolus 踝(くるぶし)
ANTEC	Antecubital 肘前(ちゅうぜん)	MANDI	Mandible/Mandibular 下顎
ANTECF	Antecubital Fossa 肘前窩	MAR	Marrow 骨髓
ANTR	Antrum ほら(上顎ほら)	MAST	Mastoid 乳様突起
ANUS	Anus 肛門	MAXIL	Maxilla/Maxillary 上顎
AORTA	Aorta 大動脈	MAXS	Maxillary Sinus 上顎洞
AR	Aortic Rim 大動脈の縁	MEATU	Meatus 外耳
AV	Aortic Valve 大動脈弁	MEC	Meconium 胎便
APDX	Appendix 虫垂	MEDST	Mediastinum 縦隔
AREO	Areola 乳輪	MEDU	Medullary 髄様骨
ARM	Arm 腕	MOU	Membrane 皮膜
ARTE	Artery 動脈	MPB	Meninges 髄膜
ASCIT	Ascites 腹水	METAC	Metacarpal 中手骨
ASCT	Ascitic Fluid 腹水	METAT	Metatarsal 中足骨
ATR	Atrium 心房	MILK	Milk, Breast 胸ミルク
AURI	Auricular 耳介	MITRL	Mitral Valve 僧帽弁
AXI	Axilla 脇のした	MOLAR	Molar 臼歯
BACK	Back 背中	MP	Mons Pubis 恥丘
BARTD	Bartholin Duct 大舌下腺管	MONSU	Mons Ureteris 尿管
BARTG	Bartholin Gland 大舌下腺	MONSV	Mons Veneris(Mons Pubis) 恥丘
BRTGF	Bartholin Gland Fluid 大舌下腺管液	MOUTH	Mouth 口
BPH	Basophils 好塩基球	MRSA2	Mrsa: メチシリン耐性黄色ブドウ球菌
BID	Bile Duct 胆汁管	MYO	Myocardium 心筋
BIFL	Bile fluid 胆汁	NAIL	Nail 爪
BLAD	Bladder 膀胱	NAILB	Nail Bed 爪床
BLOOD	Blood 血液	NAILF	Nail, Finger 指爪
BLDA	Blood, Arterial 動脈血	NAILT	Nail, Toe 足指爪
BLDC	Blood, Capillary 毛細血管血	NARES	Nares 鼻孔
BLDV	Blood, Venous 静脈血	NASL	Nasal 鼻
CBLD	Blood, Cord 臍帯血	NSS	Nasal Septum 鼻中隔
BLD	Blood, Whole 全血	NLACR	Nasolacrimal 自選
BDY	Body, Whole 全身	NP	Nasopharyngeal 鼻咽頭部
BON	Bone 骨	NP	Nasopharynx 鼻咽頭
BMAR	Bone marrow 骨髓	NTRAC	Nasotracheal 鼻気管
BOWEL	Bowel 腸管	NAVEL	Navel へそ
BOWLA	Bowel, Large 大腸管	NECK	Neck 首
BOWSM	Bowel, Small 小腸管	NERVE	Nerve 神経
BRA	Brachial 上腕	NIPPL	Nipple 乳首
BRAIN	Brain 脳	NOSE	Nose 鼻
BCYS	Brain Cyst Fluid 脳嚢胞液	NOS	Nose (Nasal Passage) 鼻腔
BRST	Breast 胸部	NOSE	Nose(Outside) 外鼻

Value	Description	Value	Description
BRSTFL	Breast fluid 胸液	NOSTR	Nostril 鼻孔
BRO	Bronchial 気管支	OCCIP	Occipital 後頭
BROCH	Bronchiole/Bronchiolar 細気管支	OLECR	Olecranon 肘頭
BRONC	Bronchus/Bronchial 気管	OMEN	Omentum 網膜
BRV	Broviac カテーテル挿入口	ORBIT	Orbit/Orbital 眼窩
BUCCA	Buccal 頬側	ORO	Oropharynx 中咽頭
BURSA	Bursa 滑液嚢	OSCOX	Os coxa (pelvic girdle) 股関節
BURSF	Bursa Fluid 滑液	OVARY	Ovary 卵巣
BUTT	Buttocks 尻部	PALAT	Palate 口蓋
CALF	Calf ふくらはぎ	PLATH	Palate, Hard 硬口蓋
CANAL	Canal 管	PLATS	Palate, Soft 軟口蓋
CANLI	Canaliculus 小管	PALM	Palm 手のひら
CNL	Cannula カニューレ、套管	PANCR	Pancreas 膵臓
CANTH	Canthus 眼角	PAFL	Pancreatic Fluid 膵液
CDM	Cardiac Muscle 心筋	PAS	Parasternal 胸部傍
CARO	Carotid 頸動脈	PARAT	Paratracheal 気管傍
CARP	Carpal 腕骨	PARIE	Parietal 頭頂部
CAVIT	Cavity 窩洞	PARON	Paronychia 爪周囲
CHE	Cavity, Chest 胸洞	PAROT	Parotid 耳下
CECUM	Cecum/Cecal 盲腸	PAROT	Parotid Gland 耳下腺
CSF	Cerebral Spinal Fluid 脳髄液	PATEL	Patella 膝頭
CVX	Cervix 頸部	PELV	Pelvis 骨盤
CERVUT	Cervix/Uterus 子宮頸管	PENSH	Penile Shaft 陰莖皮
CHEEK	Cheek 頬	PENIS	Penis 陰莖
CHES	Chest 胸部	PANAL	Perianal/Perirectal 直腸部
CHEST	Chest Tube 胸管	PERI	Pericardial Fluid 直腸膿液
CHIN	Chin あご	PCARD	Pericardium 心膜部
CIRCU	Circumcision Site 陰核(男)	PCLIT	Periclitoral クリトリス周囲
CLAVI	Clavicle/Clavicular 鎖骨	PERIH	Perihepatic 肝部
CLITO	Clitoral 陰核(女)	PNEAL	Perineal 会陰周囲
CLIT	Clitoris クリトリス	PERIN	Perineal Abscess 会陰部膿瘍
COCCG	Coccygeal 尾骨	PNEPH	Perinephric 肝臓部
COCCY	Coccyx 尾骨(総称)	PNM	Perineum 会陰
COLON	Colon 結腸	PORBI	Periorbital 眼窩部
COLOS	Colostomy 結腸瘻	PERRA	Perirectal 直腸部
COS	Colostomy Stoma 人工肛門	PERIS	Perisplenic 脾臓部
CDUCT	Common Duct 胆管	PER	Peritoneal 腹膜部
CONJ	Conjunctiva 結膜	PERT	Peritoneal Fluid 腹膜液
CORAL	Coral 水晶体	PERIT	Peritoneum 腹膜
COR	Cord 臍帯	PTONS	Peritonsillar 扁桃
CORD	Cord Blood 臍帯血	PERIU	Periurethral 尿道部
CORN	Cornea 角膜	PERIV	Perivesicular 肺胞
CRANE	Cranium, ethmoid 頭蓋篩骨	PHALA	Phalarynx 咽頭
CRANF	Cranium, frontal 頭蓋前額骨	PILO	Pilonidal 毛巣
CRANO	Cranium, occipital 頭蓋後頭	PINNA	Pinna 耳翼
CRANP	Cranium, parietal 頭蓋頭頂骨	PLC	Placenta 胎盤
CRANS	Cranium, sphenoid 頭蓋蝶形骨	PLACF	Placenta (Fetal Side) 胎児側胎盤
CRANT	Cranium, temporal 頭蓋側頭(部)	PLACM	Placenta (Maternal Side) 母体側胎盤
CUBIT	Cubitus 肘	PLANT	Plantar 足裏
CUFF	Cuff 手	PLEUR	Pleura 胸膜
CULD	Cul De Sac 盲管	PLEU	Pleural Fluid 胸膜液
CULDO	Culdocentesis 後臍部	PLR	Pleural Fluid (Thoracentesis Fid) 胸膜液胸腔側
DELT	Deltoid 三角筋	POPLI	Popliteal 膝窩
DENTA	Dental 歯	PREAU	Preauricular 耳介前方
DEN	Dental Gingiva 歯肉	PRERE	Prerenal 腎前
DIAF	Dialysis Fluid 透析液	PRST	Prostate Gland 前立腺
DPH	Diaphragm 横隔膜	PROS	Prostatic Fluid 前立腺液
DIGIT	Digit 指	PUBIC	Pubic 恥骨
DISC	Disc 椎間板	PUL	Pulmonary Artery 肺動脈
DORS	Dorsum/Dorsal 舌背	RADI	Radial 橈骨部
DUFL	Duodenal Fluid 十二指腸液	RADIUS	Radius 橈骨
DUODE	Duodenum/Duodenal 十二指腸	RECTL	Rectal 直腸部
DUR	Dura 硬膜	RECTU	Rectum 直腸
EAR	Ear 耳	RBC	Red Blood Cells 赤血球細胞

Value	Description	Value	Description
EARBI	Ear bone, incus 耳骨砧骨	RENL	Renal 肝臓部
EARBM	Ear bone, malleus 耳骨槌骨	RNP	Renal Pelvis 腎盂
EARBS	Ear bone, stapes 耳骨錠骨(あぶみ)	RPERI	Retroperitoneal 腹膜後
EARLO	Ear Lobe 耳たぶ	RIB	Rib 肋骨
ELBOW	Elbow 肘の骨	SACRA	Sacral 仙椎
ELBOWJ	Elbow Joint 肘関節	SACRO	Sacrococcygeal 仙尾骨
ENDC	Endocardium 心内膜	SACIL	Sacroiliac 仙腸関節
EC	Endocervical 子宮頸管	SACRU	Sacrum 仙骨
EOLPH	Endophthalmitis 眼球内部	SALGL	Salivary Gland 唾液腺
ENDM	Endometrium 子宮内膜	SCALP	Scalp 頭皮
ET	Endotracheal 気管内	SCAPU	Scapula/Scapular 肩甲骨
EUR	Endourethral 尿道内	SCLER	Sclera 強膜
EOS	Eosinophils 好酸球	SCROT	Scrotum/Scrotal 陰囊
EPICA	Epicardial 噴門上部	SEMN	Semen 種子
EPICM	Epicardium 心外膜	SEM	Seminal Fluid 精液
EPD	Epididymis 精巣上体	SEPTU	Septum/Septal 隔膜
EPIDU	Epidural 硬膜外	SEROM	Seroma 血清腫
EPIGL	Epiglottis 上咽頭	SHIN	Shin 脛
ESOPG	Esophageal 食道部	SHOLJ	Shoulder Joint 肩関節
ESO	Esophagus 食道	SHOL	Shoulder 肩
ETHMO	Ethmoid 篩骨	SIGMO	Sigmoid S字結腸
	External Jugular 外部咽喉部	SINUS	Sinus 副鼻腔
EYE	Eye 目	SKM	Skeletal Muscle 骨格筋
BROW	Eyebrow 眉	SKENE	Skene's Gland スキーン腺
EYELI	Eyelid 瞼	SKULL	Skull 頭
FACE	Face 顔面	INSTS	Intestine, Small 小腸
FBINC	Facial bone, inferior nasal concha 下鼻甲介	SOLE	Sole 足裏
FBLAC	Facial bone, lacrimal 涙壺	SPRM	Spermatozoa 精虫
FBMAX	Facial bone, maxilla 顎骨	SPHEN	Sphenoid 蝶形骨
FBNAS	Facial bone, nasal 鼻骨	SPCOR	Spinal Cord 脊髓
FBPAL	Facial bone, palatine 上顎	SPLN	Spleen 脾臓
FBVOM	Facial bone, vomer 鋤骨	STER	Sternum/Sternal 胸骨部
FBZYG	Facial bone, zygomatic 頬骨	STOM	Stoma 瘻孔
FALLT	Fallopian Tube 卵管	USTOM	Stoma, Urinary 泌尿器瘻孔
FEMOR	Femoral 大腿部	STOMA	Stomach 胃
FMH	Femoral Head 大腿頭部	STUMP	Stump 残根部
FEMUR	Femur 腿節	SCLV	Sub Clavian 鎖骨側
FET	Fetus 胎児	SDP	Subdiaphragmatic 骨幹部側
FIBU	Fibula 腓骨	SUB	Subdural 硬膜下
FING	Finger 指	SUBD	Subdural Fluid 硬膜下液
FINGN	Finger Nail 指の爪	SGF	Subgaleal Fluid 腱膜下液
FOL	Follicle リンパ小節	SUBM	Submandibular 顎下腺
FOOT	Foot 足	SUBX	Submaxillary 顎下腺
FOREA	Forearm 前腕	SUBME	Submental 亜基節
FOREH	Forehead 前頭部	SUBPH	Subphrenic 横隔膜下
FORES	Foreskin 包皮	SPX	Supra Cervical 寛骨窩
FOURC	Fourchette 陰唇小帯	SCLAV	Supraclavicle/Supraclavicular 寛骨窩
GB	Gall Bladder 胆嚢	SUPRA	Suprapubic 恥骨上膀胱
GEN	Genital 性器	SUPB	Suprapubic Specimen 恥骨上膀胱検体
GVU	Genital - Vulva 陰門	SWT	Sweat 汗
GENC	Genital Cervix 子宮頸管	SWG	Sweat Gland 汗腺
GL	Genital Lesion 性器外傷	SYNOL	Synovial 滑液囊
GENL	Genital Lochia 悪露	SYN	Synovial Fluid 滑液囊液
GLAND	Gland 皮膚	SYNOV	Synovium 滑膜
GLANS	Glans 亀頭	TARS	Tarsal 足根部
GLUTE	Gluteal 臀部	TDUCT	Tear Duct 涙管
GLUT	Gluteus 臀筋	TEAR	Tears 涙
GLUTM	Gluteus Medius 中殿筋	TEMPL	Temple こめかみ
GROIN	Groin 鼠径	TEMPO	Temporal 側頭部
GUM	Gum 歯茎	TML	Temporal Lobe 側頭葉
HAR	Hair 毛髪	TESTI	Testicle(Testis) 精巣
HAL	Hallux 第一趾	THIGH	Thigh 太腿
HAND	Hand 手	THORA	Thoracentesis 胸腔
HEAD	Head 頭	THORA	Thorax/Thoracic 胸郭

Value	Description	Value	Description
HART	Heart 心臓	THR	Throat 喉、咽喉、気管、食道
HV	Heart Valve 心臓弁	THUMB	Thumb 親指
HVB	Heart Valve, Bicuspid 心臓二尖弁	TNL	Thumbnail 親指の爪
HVT	Heart Valve, Tricuspid 心臓三尖弁	THM	Thymus 胸腺
HEEL	Heel かかと	THYRD	Thyroid 甲状腺
HEM	Hemorrhoid 痔核	TIBIA	Tibia 脛骨、脛節
HIP	Hip 腰	TOE	Toe つま先
HIPJ	Hip Joint 股関節	TOEN	Toe Nail つま先の爪
HUMER	Humerus 上腕	TONG	Tongue 舌
HYMEN	Hymen 処女膜	TONS	Tonsil 扁桃腺
ILC	Ileal Conduit 回腸導管	TOOTH	Tooth 歯
ILE	Ileal Loop 回腸脈	TSK	Tooth Socket 歯槽
ILEOS	Ileostomy 回腸造瘻	TRCHE	Trachea/Tracheal 気管
ILEUM	Ileum 回腸	TBRON	Transbronchial 気管支
ILIAC	Iliac 腸骨動脈	TCN	Transcarina Asp 気管竜骨
ILCR	Iliac Crest 腸骨稜	ULNA	Ulna/Ulnar 尺骨
ILCON	Ilical Conduit 腸骨導管	UMB	Umbilical Blood 臍帯血
INGUI	Inguinal 鼠径管	UMBL	Umbilicus 臍孔
JUGI	Jugular, Internal 頸部内部	UMBL	Umbilicus/Umbilical 臍帯
INT	Intestine 腸	URET	Ureter 尿管
ICX	Intracervical 子宮頸管	URTH	Urethra 尿道
INASA	Intranasal 鼻腔	UTERI	Uterine 子宮
INTRU	Intrauterine 子宮内	SAC	Uterine Cul/De/Sac 子宮盲管
INTRO	Introitus 膣口	UTER	Uterus 母胎
ISCHI	Ischium 坐骨	VAGIN	Vagina/Vaginal 膣
JAW	Jaw 顎	VCUFF	Vaginal Cuff 膣前庭
KIDN	Kidney 腎臓	VG	Vaginal Vault 子宮頸部
KNEE	Knee 膝	VAL	Valve 弁
KNEEF	Knee Fluid 膝液	VAS	Vas Deferens 輸精管
KNEEJ	Knee Joint 膝関節	VASTL	Vastus Lateralis 中間横筋
LABIA	Labia 陰唇	VAULT	Vault 子宮頸管
LABMA	Labia Majora 小陰唇	VEIN	Vein 血管
LABMI	Labia Minora 大陰唇	VENTG	Ventragluteal 腹部臀部
LACRI	Lacrimal 涙壺	VCSF	Ventricular CSF 脳室脊髄液
LAM	Lamella 骨層板	VERMI	Vermis Cerebelli 小脳虫部
INSTL	Intestine, Large 大腸	VERTC	Vertebra, cervical 脊椎(頸部)
LARYN	Larynx 咽頭	VERTL	Vertebra, lumbar 脊椎(腰)
LEG	Leg 脚部	VERTT	Vertebra, thoracic 脊椎(胸部)
LENS	Lens 眼球のレンズ	VESI	Vesicle 小胞
WBC	Leukocytes 白血球	VESCL	Vesicular 小胞部
LING	Lingual 舌	VESFLD	Vesicular Fluid 小囊液
LINGU	Lingula 小舌	VESTI	Vestibule(Genital) 性器前庭
LIP	Lip 唇	VITR	Vitreous Fluid ガラス帯液
STOOLL	Liquid Stool 大便	VOC	Vocal Cord 声帯
LIVER	Liver 肝臓	VULVA	Vulva 陰門
LOBE	Lobe 耳たぶ	WRIST	Wrist 手首
LOCH	Lochia 悪露		

HL7表 0163 -投薬部位

Value	Description	Value	Description
BE	Bilateral Ears 両耳	LVL	Left Vastus Lateralis 左 . . .
OU	Bilateral Eyes 両眼	NB	Nebulized 噴霧器
BN	Bilateral Nares 両方の鼻孔	PA	Perianal 肛門周辺
BU	Buttock 尻	PERIN	Perineal 会陰
CT	Chest Tube 胸チューブ	RA	Right Arm 右腕
LA	Left Arm 左腕	RAC	Right Anterior Chest 右前部の胸
LAC	Left Anterior Chest 左全部の胸	RACF	Right Antecubital Fossa 右前腕前側の窓
LACF	Left Antecubital Fossa 左前腕前側の窓	RD	Right Deltoid 右三角筋
LD	Left Deltoid 左三角筋	RE	Right Ear 右耳
LE	Left Ear 左耳	REJ	Right External Jugular 右外部頸静脈
LEJ	Left External Jugular 左外部頸静脈	OD	Right Eye 右目
OS	Left Eye 左目	RF	Right Foot 右脚
LF	Left Foot 左脚	RG	Right Gluteus Medius 右 . . .

Value	Description	Value	Description
LG	Left Gluteus Medius 左 . . .	RH	Right Hand 右手
LH	Left Hand 左手	RIJ	Right Internal Jugular 右内部頸静脈
LIJ	Left Internal Jugular 左内部頸静脈	RLAQ	Rt Lower Abd Quadrant 右下腹部
LLAQ	Left Lower Abd Quadrant 左下腹部	RLFA	Right Lower Forearm 右下部の前腕
LLFA	Left Lower Forearm 左下部の前腕	RMFA	Right Mid Forearm 右中央の前腕
LMFA	Left Mid Forearm 左中央の前腕	RN	Right Naris 右の鼻孔
LN	Left Naris 左の鼻孔	RPC	Right Posterior Chest 右後部の胸
LPC	Left Posterior Chest 左後部の胸	RSC	Right Subclavian 右の鎖骨下部
LSC	Left Subclavian 左鎖骨の下部	RT	Right Thigh 右腿
LT	Left Thigh 左腿	RUA	Right Upper Arm 右上腕
LUA	Left Upper Arm 左上腕	RUAQ	Right Upper Abd Quadrant 右上腹部
LUAQ	Left Upper Abd Quadrant 左上腹部	RUFA	Right Upper Forearm 右上部前腕
LUFA	Left Upper Forearm 左上部の前腕	RVL	Right Vastus Lateralis 右 . . .
LVG	Left Ventragluteal 左 . . .	RVG	Right Ventragluteal 右 . . .

#### RXR-3 Administrative Device 投薬装置 (CWE) 00311

Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは投薬または他の治療の一助に使用される機械装置を含んでいる。よくある例としては、各種点滴セットがある。有効な値については、使用者定義表0164－投薬装置を参照。

使用者定義表 0164 -Administration Device 投薬装置

Value	Description	Value	Description
AP	Applicator アプリケータ	IVS	IV Soluset 点滴溶剤セット
BT	Buretrol ビューレトロール	MI	Metered Inhaler メータ付吸入器
HL	Heparin Lock ヘパリン固定具	NEB	Nebulizer 噴霧器
IPPB	IPPB	PCA	PCA Pump P C A ポンプ
IVP	IV Pump 点滴ポンプ		

#### RXR-4 Administrative Method 投薬方法 (CWE) 00312

Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：投薬方法の指定により、患者への投薬や治療に必要な特定の方法を識別する。有効な値については、使用者定義表0165－投薬方法を参照。

使用者定義表 0165 -Administration Method 投薬方法

Value	Description	Value	Description
CH	Chew 咀嚼	NB	Nebulized 噴霧装置適用
DI	Dissolve 溶解	PT	Pain 痛み
DU	Dust 掃除	PF	Perfuse 灌流
IF	Infiltrate 浸透	SH	Shampoo 洗髪
IS	Insert 挿入	SO	Soak 浸透
IR	Irrigate 洗浄	WA	Wash 洗浄
IVPB	IV Piggyback I V ピギーバック	WI	Wipe 拭き取り
IVP	IV Push I V プッシュ		

#### RXR-5 Routing Instruction 経路指示 (CWE) 01315

Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは、特に1つを越える投薬経路が可能な時に、投薬経路についての指示を提供する。典型的な場合は、1ラインを越えるIVラインが注入用の可能な経路の時、どのIVラインを使用しなければならないかを指定する。

RXR-6 Administration Site Modifier 投与サイトモディファイアー (CWE) 01315

Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義: このフィールドには、RXR-2投与サイトの意味を修正するモディファイアーが含まれている。

このフィールドに使われているコード表はRXR-2投与サイトに使われているコード表に依拠する。もしRXR-2 が HL7表0550—身体部位を用いる場合にはこのフィールドは、HL7表0495—身体部位モディファイアー (HL7 V2.5の4.23.4参照) からの値のみを入れることが出来る。もしRXR-2 がHL7表0163—身体サイトを用いる場合は、RXR-6 には何も入れてはならない。その他のコードセットの場合 (例、RXR-2の中のSNOMED)、RXR-6にはモディファイアーがそのコードセットの中に定義されているか、もしくは関連がある場合にのみ入れられ得る。条件原則: このフィールドは、RXR-2 投与サイトにコードが入っている場合にのみ使われる事が出来る。このフィールドは、もしRXR-2にコードが入っているならば必要とされない。

## 7.13 RCP - Response Control Parameter Segment 応答コントロールパラメータセグメント

RCP セグメントは、照会に対する応答で返送されるべきデータの、量を制限するために使われる。

HL7属性表 RCP- Response Control Parameter 応答コントロール・パラメーター

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	ITEM#	ELEMENT NAME	NOTE
1	1	ID	O	O		00027	Query Priority 照会優先度	
2	10	CQ	O	O		00031	Quantity Limited Request 数量制限要求	
3	250	CWE	O	O		01440	Response Modality 応答様式	
4	26	TS	C	C		01441	Execution and Delivery Time 実行及び配送時間	
5	1	ID	O	O		01443	Modify Indicator 変更表示子	
6	512	SRT	O	O	Y	01624	Sort-by Field ソートするフィールド	
7	256	ID			Y	01594	Segment group inclusion セグメント・グループ包含	

### Optionality

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7

### Japan (JAHIS仕様での取り扱い)

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7
- N - not used useally. use only on the site

### Repetition

- N - no repetition
- Y - the field may repeat an indefinite or site determined number of times (integer)- the field may repeat up to the number of times specified in the integer

## RCPフィールド定義

### RCP-1 照会優先度 (ID) 00027

定義：このフィールドは応答が期待されるタイムフレームが含まれる。

提案される値については、HL7表 0091－照会優先度を参照。テーブル値とその後のフィールドは、応答のためのタイムフレームを指定する。

HL7表 0091 - 照会 優先度

Value	Description	Comment
D	Deferred 遅延	
I	Immediate 即時	

### RCP-2 数量制限要求 (CQ) 00031

Components: <Quantity (NM)> ^ <Units (CWE)>

Subcomponents for Units (CWE): <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは、要求しているシステムにより受け入れられる応答の最大長が含まれる。有効な入力値は、第2のコンポーネントで指定されたユニットで与えられる数値(最初のコンポーネントに)である。デフォルトはLI (ライン)。

第2のコンポーネントの有効なエンタリーは、HL7表 0126 -数量制限要求を参照。セグメント・パターン応答では、ラインは一つのセグメントとして定義される。

**HL7表 0126 -数量制限要求**

Value	Description	Message Usage	Comment
CH	Characters 文字	RSP/RTB/RDY	Used where size of input buffer has limitations
LI	Lines 行	RTB/RDY	
PG	Pages ページ	RDY	
RD	Records レコード	RSP/RTB/RDY	In RSP record = hit
ZO	Locally defined ローカル定義		

**RCP-3 応答様式 (CWE) 01440**

Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは、応答メッセージのタイミングとグルーピングを指定する。有効な値については、HL7表 0394-応答形式を参照。

**HL7表 0394 - 応答様式**

Value	Description	Comment
R	Real Time リアルタイム	
T	Bolus (a series of responses sent at the same time without use of batch formatting) バッチ以外の事前処理	
B	Batch バッチ	

**RCP-4 実行及び配送時間 (TS) 01441**

Components: <Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

返送される応答の時間を指定する。このフィールドは、RCP-1 照会優先度が D (遅延)の値の時に限り、評価される (値が入れられる)

**RCP-5 変更表示子 (ID) 01443**

定義：このフィールドは、申し込みが新しいものか、あるいは変更がされつつあるのかを指定する。有効な値については、HL7表 0395-変更インジケータを参照。

**HL7表 0395 -変更指示子**

Value	Description	Comment
N	New Subscription 新規	
M	Modified Subscription 変更	

**RCP-6 ソートするフィールド (SRT) 01624**

Components: <Sort-by Field (ST)> ^ <Sequencing (ID)>

定義：表になっている返答を求める照会のために、このフィールドは、どちらのフィールドによって、応答がソートされるかということ、そして、区分けをする順序を指定する。QSC別形が用いられていないときに、このフィールドの最初のコンポーネントのために指定された値は、アウトプット仕様および注釈の ColName フィールドから引き出される。HL7 V2.5の5.3.3.1を参照。QSC別形が使われるときには、

これらの値はインプット/アウトプット仕様および注釈のColNameフィールドから引き出される。例についてはHL7 V2.5の5.9.4.1を参照。

このフィールドのそれぞれの繰り返しは、一つのソート・フィールドを指定する。このように、このフィールドの最初の繰り返しは、第一次的なソート・フィールドを指定する; 第2の繰り返しは、第二次的なソート・フィールドを指定する; etc. .

#### RCP-7 セグメント・グループ包含 (ID) 01594

定義：応答に含まれるオプション・セグメント・グループを指定する。セグメント・グループの値については、HL7表 0391—セグメント・グループを参照。これは、複数のセグメント・グループを含めるための繰り返しフィールドである。このフィールドのデフォルト（表されていない）は、全ての関連するグループが含まれることを意味する。 .

注：セグメント・グループのためのコードは、HL7表0391から取り出されるが、セグメント・グループ（e.g. PIDG）の正確なセグメント-レベルの定義は、そのセグメントグループが現れる、その照会のコンフォーマンス・ステートメントの中だけから与えられる。 .

例：

HL7表 0391 – セグメントグループ

Value	Description	Comment
PIDG	PID group	
OBRG	OBR group	
ORCG	ORC group	
RXAG	RXA group	
RXDG	RXD group	
RXEG	RXE group	
RXOG	RXO group	
Etc		

注：HL7テーブル0391—セグメント・グループは、現在、HL7によって定義されたいかなる値も含まない。値はHL7技術委員会によって投票により同意されたものがコンフォーマンス・ステートメント中にあるので、それらがこのテーブルに含まれるだろう。 .

## 付録 メッセージ使用例

この節、実際の処方例に基づき、処方メッセージがどの様に構築されるかを示すことで、規約の解釈の相違により、メッセージの使用法に相違が出ない様にするにある。

次の処方例について、メッセージの例を示す。尚、ORC、RXE、TQ1およびRXRセグメントについてのみ詳細を記述し、他のセグメントについては内容を省略して記述する。

- (1) 内服薬
- (2) 外用薬
- (3) 座薬
- (4) 麻薬
- (5) 注射薬
- (6) 自己注射
- (7) 頓服薬
- (8) 漸増（漸減）投与
- (9) 隔日投与
- (10) 不均等投与
- (11) 交互投与

- (A-1) 患者情報照会メッセージ
- (A-2) 患者情報応答メッセージ
- (B-1) 処方依頼情報照会メッセージ
- (B-2) 処方依頼情報応答メッセージ

## (1) 内服薬

項目名	項目値	備考
オーダー番号	12345678	
版数	01	
依頼日	2007-08-25	
依頼医	山田太郎(123456)	
依頼科	内科(01)	
入外区分	外来(O)	
処方区分	外来院内処方	
Rp1	Rp番号	01
	薬剤-1	ダーゼン錠 (5mg)(10866501)
	1日用量-1	3錠
	薬剤-2	パンスポリンT錠 (100mg)(110626901)
	1日用量-2	6錠
	用法	1日3回 毎食後
	開始日	2007-08-25
	投与期間	3日分
Rp2	Rp番号	02
	薬剤-1	アレピアチン10倍散(100607002)
	1日用量-1	100mg
	薬剤-2	フェノバルビタール10倍散(100565305)
	1日用量-2	100mg
	用法	1日2回 朝夕食後
	開始日	2007-08-25
	投与期間	14日分

MSH|...<CR>

PID|...<CR>

ORC|NW|12345678\_01||12345678\_01\_01|||||20070825120000|123456^山田^太郎^^^^^^L^^^^^|^~ヤマダ^  
 タロウ^^^^^^L^^^^^P||123456^山田^太郎^^^^^^L^^^^^|^~ヤマダ^タロウ^^^^^^L^^^^^P|||||01^内科  
 ^L|||||||||||0^外来患者オーダー^HL70482<CR>

RXE||10866501^ダーゼン錠(5mg)^HOT9|1||TAB^錠^MR9P|||||9|TAB^錠^MR9P|||||||3^TAB||OHP^外来  
 処方^MR9P~OHI^院内処方^MR9P<CR>

TQ1|||TID&1日3回&HL70335~PC&食後&HL70335|||3^D|20070825<CR>

RXR|PO^口^HL70162<CR>

ORC|NW|12345678\_01||12345678\_01\_01|||||20070825120000|123456^山田^太郎^^^^^^L^^^^^|^~ヤマダ^  
 タロウ^^^^^^L^^^^^P||123456^山田^太郎^^^^^^L^^^^^|^~ヤマダ^タロウ^^^^^^L^^^^^P|||||01^内科  
 ^L|||||||||||0^外来患者オーダー^HL70482<CR>

RXE||110626901^パンスポリンT錠(100mg)^HOT9|2||TAB^錠^MR9P|||||18|TAB^錠  
 ^MR9P|||||||6^TAB||OHP^外来処方^MR9P~OHI^院内処方^MR9P<CR>

TQ1|||TID&1日3回&HL70335~PC&食後&HL70335|||3^D|20070825<CR>

RXR|PO^口^HL70162<CR>

ORC|NW|12345678\_01||12345678\_01\_02|||||20070825120000|123456^山田^太郎^^^^^^L^^^^^|^~ヤマダ^  
 タロウ^^^^^^L^^^^^P||123456^山田^太郎^^^^^^L^^^^^|^~ヤマダ^タロウ^^^^^^L^^^^^P|||||01^内科  
 ^L|||||||||||0^外来患者オーダー^HL70482<CR>

RXE||100607002^アレピアチン10倍散^HOT9|50||MG^ミリグラム^MR9P|PWD^散剤^MR9P|||||1400|MG^ミリ

グラム^MR9P|||||100^MG||OHP^外来処方^MR9P~OHI^院内処方^MR9P||||0.1|G^グラム^MR9P<CR>  
 TQ1|||BID&1日2回&HL70335~PCM&朝食後&HL70335~PCV&夕食後&HL70335|||14^D|20070825<CR>  
 RXR|PO^口^HL70162<CR>  
 ORC|NW|12345678\_01||12345678\_01\_02|||||20070825120000|123456^山田^太郎^^^^^^L^^^^^^|^ヤマダ^  
 タロウ^^^^^^L^^^^^^P||123456^山田^太郎^^^^^^L^^^^^^|^ヤマダ^タロウ^^^^^^L^^^^^^P|||||01^内科  
 ^L|||||O^外来患者オーダ^HL70482<CR>  
 RXE||100565305^フェノバルビタール10倍散^HOT9|50||MG^ミリグラム^MR9P|PWD^散剤  
 ^MR9P||||1400|MG^ミリグラム^MR9P|||||100^MG||OHP^外来処方^MR9P~OHI^院内処方^MR9P||||0.1|G^  
 グラム^MR9P<CR>  
 TQ1|||BID&1日2回&HL70335~PCM&朝食後&HL70335~PCV&夕食後&HL70335|||14^D|20070825<CR>  
 RXR|PO^口^HL70162<CR>  
 <EOM>

■ ORCセグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	オーダ制御	NW	
2	依頼者オーダ番号	12345678.01	オーダ番号_版数
4	依頼者グループ番号	12345678.01_01	オーダ番号_版数_Rp番号
9	トランザクション日時	20070825120000	依頼日時
10	入力者	123456^山田^太郎^^^^^^L^^^^^^ ^ヤマダ^タロウ ^^^^^^L^^^^^^P	入力者
12	オーダ発行者	123456^山田^太郎^^^^^^L^^^^^^ ^ヤマダ^タロウ ^^^^^^L^^^^^^P	依頼者
15	オーダ有効日時		
17	入力組織	01^内科^L	依頼科
29	オーダタイプ	O^外来患者オーダ^HL70482	入外区分

■ RXE セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	与薬コード	10866501^ダーゼン錠(5mg)^HOT9	薬剤コードとその名称
3	与薬量-最小	1	1回の投与量
5	与薬単位	TAB^錠^MR9P	RXE-3の単位コードと名称
10	調剤量	9	指示した薬品の総量
11	調剤単位	TAB^錠^MR9P	RXE-10の単位コードと名称
19	1日あたりの総投与量	3^TAB	1日の投与量
21	薬剤部門/治療部門による 特別な調剤指示	OHP^外来処方^MR9P~OHI^院内処方^MR9P	処方区分、薬品コメント、処方 箋コメント

■ TQ1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
3	繰返しパターン	TID&1日3回&HL70335~PC&食後&HL70335	用法を表すコードとその名称
6	サービス期間	3^D	薬剤の投与日数・回数
7	開始日時	20070825	投与開始日時

■ RXR セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	経路	PO^口^HL70162	指示された投与経路

■ ORCセグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	オーダー制御	NW	
2	依頼者オーダー番号	12345678_01	オーダー番号_版数
4	依頼者グループ番号	12345678_01_01	オーダー番号_版数_Rp番号
9	トランザクション日時	20070825120000	依頼日時
10	入力者	123456^山田^太郎^^^^^^L^^^^I^^ヤマダ^タロウ ^^^^^^L^^^^P	入力者
11	検証者		
12	オーダー発行者	123456^山田^太郎^^^^^^L^^^^I^^ヤマダ^タロウ ^^^^^^L^^^^P	依頼者
15	オーダー有効日時		
17	入力組織	01^内科^L	依頼科
18	入力装置		
29	オーダータイプ	O^外来患者オーダー^HL70482	入外区分

■ RXE セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	与薬コード	110626901^パンスポリンT錠(100mg)^HOT9	薬剤コードとその名称
3	与薬量-最小	2	1回の投与量
5	与薬単位	TAB^錠^MR9P	RXE-3の単位コードと名称
10	調剤量	18	指示した薬品の総量
11	調剤単位	TAB^錠^MR9P	RXE-10の単位コードと名称
19	1日あたりの総投与量	6^TAB	1日の投与量
21	薬剤部門/治療部門による特別な調剤指示	OHP^外来処方^MR9P~OHI^院内処方^MR9P	処方区分、薬品コメント、処方箋コメント
25	与薬力価	0.1	
26	与薬力価単位	G^グラム^MR9P	

■ TQ1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
3	繰返しパターン	TID&1日3回&HL70335~PC&食後&HL70335	用法を表すコードとその名称
6	サービス期間	3^D	薬剤の投与日数・回数
7	開始日時	20070825	投与開始日時

■ RXR セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	経路	PO^口^HL70162	指示された投与経路

■ ORCセグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	オーダー制御	NW	
2	依頼者オーダー番号	12345678_01	オーダー番号_版数
4	依頼者グループ番号	12345678_01_02	オーダー番号_版数_Rp番号
9	トランザクション日時	20070825120000	依頼日時
10	入力者	123456^山田^太郎^^^^^^L^^^^I^^ヤマダ^タロウ ^^^^^^L^^^^P	入力者
12	オーダー発行者	123456^山田^太郎^^^^^^L^^^^I^^ヤマダ^タロウ ^^^^^^L^^^^P	依頼者
17	入力組織	01^内科^L	依頼科
29	オーダータイプ	O^外来患者オーダー^HL70482	入外区分

■ RXE セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	与薬コード	100607002^アレピアチン10倍散^HOT9	薬剤コードとその名称
3	与薬量-最小	50	1回の投与量
5	与薬単位	MG^ミリグラム^MR9P	RXE-3の単位コードと名称
6	与薬剤形	PWD^散剤^MR9P	与薬剤形
10	調剤量	1400	指示した薬品の総量
11	調剤単位	MG^ミリグラム^MR9P	RXE-10の単位コードと名称
19	1日あたりの総投与量	100^MG	1日の投与量
21	薬剤部門/治療部門による特別な調剤指示	OHP^外来処方^MR9P~OHI^院内処方^MR9P	処方区分、薬品コメント、処方箋コメント
25	与薬力価	0.1	
26	与薬力価単位	G^グラム^MR9P	

■ TQ1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
3	繰返しパターン	BID&1日2回&HL70335~PCM&朝食後&HL70335~PCV&夕食後&HL70335	用法を表すコードとその名称
6	サービス期間	14^D	薬剤の投与日数・回数
7	開始日時	20070825	投与開始日時

■ RXR セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	経路	PO^口^HL70162	指示された投与経路

■ ORCセグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	オーダ制御	NW	
2	依頼者オーダ番号	12345678.01	オーダ番号_版数
4	依頼者グループ番号	12345678.01_02	オーダ番号_版数_Rp番号
9	トランザクション日時	20070825120000	依頼日時
10	入力者	123456^山田^太郎^^^^^^L^^^^I^^ヤマダ^タロウ^^^^^^L^^^^P	入力者
12	オーダ発行者	123456^山田^太郎^^^^^^L^^^^I^^ヤマダ^タロウ^^^^^^L^^^^P	依頼者
17	入力組織	01^内科^L	依頼科
29	オーダタイプ	O^外来患者オーダ^HL70482	入外区分

■ RXE セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	与薬コード	100565305^フェノバルビタール10倍散^HOT9	薬剤コードとその名称
3	与薬量-最小	50	1回の投与量
5	与薬単位	MG^ミリグラム^MR9P	RXE-3の単位コードと名称
6	与薬剤形	PWD^散剤^MR9P	与薬剤形
10	調剤量	1400	指示した薬品の総量
11	調剤単位	MG^ミリグラム^MR9P	RXE-10の単位コードと名称
19	1日あたりの総投与量	100^MG	1日の投与量
21	薬剤部門/治療部門による特別な調剤指示	OHP^外来処方^MR9P~OHI^院内処方^MR9P	処方区分、薬品コメント、処方箋コメント

■ TQ1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
3	繰返しパターン	BID&1日2回&HL70335~PCM&朝食後&HL70335~PCV&夕食後&HL70335	用法を表すコードとその名称
6	サービス期間	14^D	薬剤の投与日数・回数
7	開始日時	20070825	投与開始日時

■ RXR セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	経路	PO^口^HL70162	指示された投与経路

## (2) 外用薬

項目名	項目値	備考	
オーダー番号	12345678		
版数	01		
依頼日	2007-08-25		
依頼医	山田太郎(123456)		
依頼科	内科(01)		
入外区分	外来(O)		
処方区分	外来院外処方		
Rp1	Rp番号	01	
	薬剤	ジフラル軟膏 0.05%(106238001)	
	1日用量	2本	外用薬なので全量
	用法	一日4回左手塗布	
	開始日	2000-08-25	
	投与期間		指定なし

MSH|...<CR>

PID|...<CR>

ORC|NW|12345678\_01||12345678\_01\_01|||||20070825120000|123456^山田^太郎^^^^^^L^^^^I^^ヤマダ^  
 タロウ^^^^^^L^^^^P||123456^山田^太郎^^^^^^L^^^^I^^ヤマダ^タロウ^^^^^^L^^^^P|||||01^内科  
 ^L|||||||||O^外来患者オーダー^HL70482<CR>

RXE||106238001^ジフラル軟膏 0.05%^HOT9|||OIT^軟膏^MR9P|||2|HON^本^MR9P|||||||||OHP^  
 外来処方^MR9P^OHI^院内処方^MR9P<CR>

TQ1|||QID&1日4回&HL70335|||20070825<CR>

RXR|AP^外用^HL70162|LH^左手^HL70163<CR>

<EOM>

### ■ ORCセグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	オーダー制御	NW	
2	依頼者オーダー番号	12345678_01	オーダー番号_版数
4	依頼者グループ番号	12345678_01_01	オーダー番号_版数_Rp番号
9	トランザクション日時	20070825120000	依頼日時
10	入力者	123456^山田^太郎^^^^^^L^^^^I^^ヤマダ^タロウ ^^^^^^L^^^^P	入力者
12	オーダー発行者	123456^山田^太郎^^^^^^L^^^^I^^ヤマダ^タロウ ^^^^^^L^^^^P	依頼者
17	入力組織	01^内科^L	依頼科
29	オーダータイプ	O^外来患者オーダー^HL70482	入外区分

### ■ RXE セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	与薬コード	106238001^ジフラル軟膏 0.05%^HOT9	薬剤コードとその名称
3	与薬量-最小		1回の投与量
5	与薬単位		RXE-3の単位コードと名称
6	与薬剤形	OIT^軟膏^MR9P	与薬剤形
10	調剤量	2	指示した薬品の総量
11	調剤単位	HON^本^MR9P	RXE-10の単位コードと名称
19	1日あたりの総投与量		1日の投与量

21	薬剤部門/治療部門による特別な調剤指示	OHP^外来処方^MR9P~OHI^院内処方^MR9P	処方区分、薬品コメント、処方箋コメント
----	---------------------	-----------------------------	---------------------

■ TQ1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
3	繰返しパターン	QID&1日4回&HL70335	用法を表すコードとその名称
6	サービス期間		薬剤の投与日数・回数
7	開始日時	20070825	投与開始日時

■ RXR セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	経路	AP^外用^HL70162	指示された投与経路
2	投薬部位	LH^左手^HL70163	投薬部位

### (3) 坐薬

項目名	項目値	備考
オーダ番号	12345678	
版数	01	
依頼日	2000-08-21	
依頼医	山田太郎(123456)	
依頼科	内科(01)	
入外区分	外来(O)	
処方区分	外来院外処方	
Rp1	Rp番号	01
	薬剤	ボラギノールN坐薬(105625901)
	1日用量	2個
	用法	1日2回朝夕
	開始日	2000-08-25
	投与期間	14日分

MSH|...<CR>

PID|...<CR>

ORC|NW|12345678\_01||12345678\_01\_01||||20070825120000|123456^山田^太郎^^^^^^L^^^^^^|^ヤマダ^  
 タロウ^^^^^^L^^^^^^P||123456^山田^太郎^^^^^^L^^^^^^|^ヤマダ^タロウ^^^^^^L^^^^^^P||||01^内科  
 ^L|||||||0^外来患者オーダ^HL70482<CR>

RXE||105625901^ボラギノールN坐薬^HOT9|1|KO^個^MR9P|SUP^坐剤^MR9P|||28|KO^個  
 ^MR9P|||||2^KO||OHP^外来処方^MR9P^OHI^院内処方^MR9P<CR>

TQ1|||BID&1日2回&HL70335^QAM&朝&HL70335^QPM&夕&HL70335|||14^D|20070825<CR>

RXR|PR^直腸^HL70162<CR>

<EOM>

#### ■ ORCセグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	オーダ制御	NW	
2	依頼者オーダ番号	12345678_01	オーダ番号_版数
4	依頼者グループ番号	12345678_01_01	オーダ番号_版数_Rp番号
9	トランザクション日時	20070825120000	依頼日時
10	入力者	123456^山田^太郎^^^^^^L^^^^^^ ^ヤマダ^タロウ ^^^^^^L^^^^^^P	入力者
12	オーダ発行者	123456^山田^太郎^^^^^^L^^^^^^ ^ヤマダ^タロウ ^^^^^^L^^^^^^P	依頼者
17	入力組織	01^内科^L	依頼科
29	オーダタイプ	O^外来患者オーダ^HL70482	入外区分

#### ■ RXE セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	与薬コード	105625901^ボラギノールN坐薬^HOT9	薬剤コードとその名称
3	与薬量-最小	1	1回の投与量
5	与薬単位	KO^個^MR9P	RXE-3の単位コードと名称
6	与薬剤形	SUP^坐剤^MR9P	与薬剤形
10	調剤量	28	指示した薬品の総量
11	調剤単位	KO^個^MR9P	RXE-10の単位コードと名称
19	1日あたりの総投与量	2^KO	1日の投与量

21	薬剤部門/治療部門による特別な調剤指示	OHP^外来処方^MR9P~OHI^院内処方^MR9P	処方区分、薬品コメント、処方箋コメント
----	---------------------	-----------------------------	---------------------

■ TQ1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
3	繰返しパターン	BID&1日2回&HL70335~QAM&朝&HL70335~QPM&夕 &HL70335	用法を表すコードとその名称
6	サービス期間	14^D	薬剤の投与日数・回数
7	開始日時	20070825	投与開始日時

■ RXR セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	経路	PR^直腸^HL70162	指示された投与経路

#### (4) 麻薬

項目名	項目値	備考
オーダー番号	12345678	
版数	01	
依頼日	2000-08-21	
依頼医	山田太郎(123456) (麻薬施用者番号 4-321)	
依頼科	内科(01)	
入外区分	入院処方	
処方区分	入院定期処方	
Rp1	Rp番号	01
	薬剤	MSコンチン錠 10mg (112052301)
	1日用量	4錠
	用法	1日2回 12時間毎
	開始日	2007-01-09
	投与期間	7日分

MSH|...<CR>

PID|...<CR>

ORC|NW|12345678\_01||12345678\_01\_01||||20070825120000|123456^山田^太郎^^^^^^L^^^^^I^^ヤマダ^  
タロウ^^^^^^L^^^^^P|

|123456^山田^太郎^^^^^^L^^^^^I^^ヤマダ^タロウ^^^^^^L^^^^^P||||01^内科^L|||||||||||||^入院  
患者オーダー^HL70482<CR>

RXE||112052301^MSコンチン錠 10mg^HOT9|2||TAB^錠^MR9P||||28|TAB^錠^MR9P||4-321^山田^太郎  
^^^^^^L^^^^^I||||4^TAB||IHP^入院処方^MR9P^XTR^定期処方^MR9P<CR>

TQ1||Q12H& 1 2 時間毎&HL70335||7^D|20070825<CR>

RXR|PO^口^HL70162<CR>

<EOM>

#### ■ ORCセグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	オーダー制御	NW	
2	依頼者オーダー番号	12345678.01	オーダー番号_版数
4	依頼者グループ番号	12345678_01_01	オーダー番号_版数_Rp 番号
9	トランザクション日時	20070825120000	依頼日時
10	入力者	123456^山田^太郎^^^^^^L^^^^^I^^ヤマダ^タロウ ^^^^^^L^^^^^P	入力者
11	検証者		
12	オーダー発行者	123456^山田^太郎^^^^^^L^^^^^I^^ヤマダ^タロウ ^^^^^^L^^^^^P	依頼者
17	入力組織	01^内科^L	依頼科
29	オーダータイプ	I^入院患者オーダー^HL70482	入外区分

#### ■ RXE セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	与薬コード	112052301^MSコンチン錠 10mg^HOT9	薬剤コードとその名称
3	与薬量-最小	2	1回の投与量
5	与薬単位	TAB^錠^MR9P	RXE-3の単位コードと名称
10	調剤量	28	指示した薬品の総量

11	調剤単位	TAB^錠^MR9P	RXE-10の単位コードと名称
13	オーダ発行者のDEA番号	4-321^山田^太郎^^^^^^L^^^^^1	規制薬物時の依頼者情報
19	1日あたりの総投与量	4^TAB	1日の投与量
21	薬剤部門/治療部門による特別な調剤指示	IHP^入院処方^MR9P~XTR^定期処方^MR9P	処方区分、薬品コメント、処方箋コメント

■ TQ1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
3	繰返しパターン	Q12H&12時間毎&HL70335	用法を表すコードとその名称
6	サービス期間	7^D	薬剤の投与日数・回数
7	開始日時	20070825	投与開始日時

■ RXR セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	経路	PO^口^HL70162	指示された投与経路

## (5) 注射薬

項目名	項目値	備考
オーダ番号	12345678	
版数	01	
依頼日	2007/08/21	
依頼医	山田太郎(123456)	
依頼科	内科(01)	
入外区分	入院(I)	
処方区分	入院院内処方	
Rp1	Rp番号	01
	薬剤1	セファメジンα注射用 1g(110969602)
	1回用量(日)	1バイアル (2バイアル)
	薬剤2	大塚生食注 100mL(107667701)
	1回用量(日)	1瓶 (2瓶)
	用法	12時間毎 1時間で点滴
	開始日	2007-08-25
	投与期間	2日分
Rp2	Rp番号	02
	薬剤1	塩酸モルヒネ注射液「シオノギ」50mg 1%5mL (185046801)
	1回用量(日)	1アンプル (2アンプル)
	薬剤2	大塚生食注 20mL(107660801)
	1回用量(日)	1アンプル (2アンプル)
	用法	1日2回 皮下注 PCA-ポンプ使用 (右腕) 50mg/12時間
	開始日	2007-08-25
	投与期間	2日分

MSH|...<CR>

PID|...<CR>

ORC|NW|12345678\_01||12345678\_01\_01|||||20070821|||123456山田太郎^^^^^^L^^^^^^|^ヤマダタロウ^^^^^^L^^^^^^P|||||01^内科^MML0028|||||||||^入院患者オーダ^HL70482<CR>

RXE||110969602^セファメジンα注射用 1g^HOT9|1|VIL^バイアル^MR9P||IHP^入院処方^MR9P^OHI^院内処方^MR9P||4|VIL^バイアル^MR9P|||||||||H1|1|g/hr^^ISO<CR>

TQ1||Q12H&12時間毎&HL70335||2^D|20070825<CR>

RXR|IV^静脈内^HL70162<CR>

ORC|NW|12345678\_01||12345678\_01\_01|||||20070821|||123456山田太郎^^^^^^L^^^^^^|^ヤマダタロウ^^^^^^L^^^^^^P|||||01^内科^MML0028|||||||||^入院患者オーダ^HL70482<CR>

RXE||107667701^大塚生食注 100mL^HOT9|1|BTL^瓶^MR9P||IHP^入院処方^MR9P^OHI^院内処方^MR9P||4|BTL^瓶^MR9P|||||||||H1|100|mL/hr^^ISO<CR>

TQ1||Q12H&12時間毎&HL70335||2^D|20070825<CR>

RXR|IV^静脈内^HL70162<CR>

ORC|NW|12345678\_01||12345678\_01\_02|||||20070821|||123456山田太郎^^^^^^L^^^^^^|^ヤマダタロウ^^^^^^L^^^^^^P|||||01^内科^MML0028|||||||||^入院患者オーダ^HL70482<CR>

RXE||185046801^塩酸モルヒネ注射液「シオノギ」50mg 1%5mL^HOT9|1|AMP^アンプル^MR9P||IHP^入院処方^MR9P^OHI^院内処方^MR9P||4|AMP^アンプル^MR9P||4-321山田太郎^^^^^^L^^^^^^|^ヤマダタロウ^^^^^^L^^^^^^P<CR>

TQ1|||BID&1日2回&HL70335||2^D|20070825|||50mg/12時間<CR>

RXR|SC^皮下^HL70162|RA^右腕^HL70163|PCA^PCAポンプ^HL70164<CR>

ORC|NW|12345678\_01||12345678\_01\_02|||||20070821|||123456山田太郎^^^^^^L^^^^^|^ヤマダタロウ^^^^^^L^^^^^P|||||01^内科^MML0028|||||||^入院患者オーダ^HL70482<CR>  
 RXE||107660801^大塚生食注 20mL^HOT9|1||AMP^アンプル^MR9P||IHP^入院処方^MR9P~OHI^院内処方^MR9P||4|AMP^アンプル^MR9P<CR>  
 TQ1|||BID&1日2回^HL70335|||2^D|20070825|||50mg/12時間<CR>  
 RXR|SC^皮下^HL70162|RA^右腕^HL70163|PCA^PCAポンプ^HL70164<CR>  
 <EOM>

■ ORCセグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	オーダ制御	NW	
2	依頼者オーダ番号	12345678_01	オーダ番号_版数
4	依頼者グループ番号	12345678_01_01	オーダ番号_版数_Rp 番号
9	トランザクション日時	20070821	依頼日時
12	オーダ発行者	123456山田太郎^^^^^^L^^^^^ ^ヤマダタロウ^^^^^^L^^^^^P	依頼医
17	入力組織	01^内科^MML0028	依頼科
29	オーダタイプ	I^入院患者オーダ^HL70482	入外区分

■ RXE セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	与薬コード	110969602^セファメジンα注射用 1g^HOT9	薬剤コード
3	与薬量-最小	1	1回の与薬量
4	与薬量-最大		
5	与薬単位	VIL^バイアル^MR9P	RXE-3 の単位コードと名称
7	依頼者の投薬指示	IHP^入院処方^MR9P~OHI^院内処方^MR9P	処方種別
10	調剤量	4	薬品の総量
11	調剤単位	VIL^バイアル^MR9P	RXE-10 で指定した総量の単位コードと名称
22	時間あたりの与薬	H1	
23	与薬速度	1	
24	与薬速度単位	g/hr^ISO	

■ TQ1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
3	繰返しパターン	Q12H&12 時間毎^HL70335	用法を表すコードとその名称
6	サービス期間	2^D	薬剤の与薬日数・回数
7	開始日時	20070825	投薬開始日時

■ RXR セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	経路	IV^静脈内^HL70162	指示された投与経路

■ ORCセグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	オーダ制御	NW	
2	依頼者オーダ番号	12345678_01	オーダ番号_版数
4	依頼者グループ番号	12345678_01_01	オーダ番号_版数_Rp 番号
9	トランザクション日時	20070821	依頼日時

12	オーダー発行者	123456^山田^太郎^^^^^^L^^^^I^^ヤマダ^タロウ ^^^^^^L^^^^P	依頼医
15	オーダー有効日時		処方せん受付日時
17	入力組織	01^内科^MML0028	依頼科
29	オーダータイプ	I^入院患者オーダー^HL70482	入外区分

■ RXE セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	与薬コード	107667701^大塚生食注 100mL^HOT9	薬剤コード
3	与薬量-最小	1	1回の与薬量
4	与薬量-最大		
5	与薬単位	BTL^瓶^MR9P	RXE-3 の単位コードと名称
7	依頼者の投薬指示	IHP^入院処方^MR9P~OHI^院内処方^MR9P	処方種別
10	調剤量	4	薬品の総量
11	調剤単位	BTL^瓶^MR9P	RXE-10 で指定した総量の単位コードと名称
22	時間あたりの与薬	H1	
23	与薬速度	100	
24	与薬速度単位	mL/hr^ISO	

■ TQ1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
3	繰返しパターン	Q12H&12 時間毎&HL70335	用法を表すコードとその名称
6	サービス期間	2^D	薬剤の与薬日数・回数
7	開始日時	20070825	投薬開始日時

■ RXR セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	経路	IV^静脈内^HL70162	指示された投与経路

■ ORCセグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	オーダー制御	NW	
2	依頼者オーダー番号	12345678_01	オーダー番号_版数
4	依頼者グループ番号	12345678_01_02	オーダー番号_版数_Rp 番号
9	トランザクション日時	20070821	依頼日時
12	オーダー発行者	123456^山田^太郎^^^^^^L^^^^I^^ヤマダ^タロウ ^^^^^^L^^^^P	依頼医
17	入力組織	01^内科^MML0028	依頼科
29	オーダータイプ	I^入院患者オーダー^HL70482	入外区分

■ RXE セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	与薬コード	185046801^塩酸モルヒネ注射液「シオノギ」50mg 1% 5mL^HOT9	薬剤コード
3	与薬量-最小	1	1回の与薬量
5	与薬単位	AMP^アンプル^MR9P	RXE-3 の単位コードと名称
7	依頼者の投薬指示	IHP^入院処方^MR9P~OHI^院内処方^MR9P	処方種別
10	調剤量	4	薬品の総量

11	調剤単位	AMP^アンプル^MR9P	RXE-10 で指定した総量の単位コードと名称
13	オーダ発行者の DEA 番号	4-321^山田^太郎^^^^^^L^^^^I^^ヤマダ^タロウ^^^^^^L^^^^P	麻薬施用者番号

■ TQ1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
3	繰返しパターン	BID&1 日 2 回&HL70335	用法を表すコードとその名称
6	サービス期間	2^D	薬剤の与薬日数・回数
7	開始日時	20070825	投薬開始日時
11	テキスト指令	50mg/12 時間	用法に関するコメント(用法コメント)など、Rp ごとのコメント

■ RXR セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	経路	SC^皮下^HL70162	指示された投与経路
2	投薬部位	RA^右腕^HL70163	指示された投薬部位と、身体部位とそれを修飾する左右などの情報
3	投薬装置	PCA^PCA ポンプ^HL70164	

■ ORCセグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	オーダ制御	NW	
2	依頼者オーダ番号	12345678_01	オーダ番号_版数
4	依頼者グループ番号	12345678_01_02	オーダ番号_版数_Rp 番号
9	トランザクション日時	20070821	依頼日時
12	オーダ発行者	123456^山田^太郎^^^^^^L^^^^I^^ヤマダ^タロウ^^^^^^L^^^^P	依頼医
17	入力組織	01^内科^MML0028	依頼科
29	オーダタイプ	I^入院患者オーダ^HL70482	入外区分

■ RXE セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	与薬コード	107660801^大塚生食注 20mL^HOT9	薬剤コード
3	与薬量-最小	1	1 回の与薬量
5	与薬単位	AMP^アンプル^MR9P	RXE-3 の単位コードと名称
7	依頼者の投薬指示	IHP^入院処方^MR9P^OHI^院内処方^MR9P	処方種別
10	調剤量	4	薬品の総量
11	調剤単位	AMP^アンプル^MR9P	RXE-10 で指定した総量の単位コードと名称

■ TQ1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
3	繰返しパターン	BID&1 日 2 回&HL70335	用法を表すコードとその名称
6	サービス期間	2^D	薬剤の与薬日数・回数
7	開始日時	20070825	投薬開始日時
11	テキスト指令	50mg/12 時間	用法に関するコメント(用法コメント)など、Rp ごとのコメント

■ RXR セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	経路	SC^皮下^HL70162	指示された投与経路

2	投薬部位	RA^右腕^HL70163	指示された投薬部位と、身体部位とそれを修飾する左右などの情報
---	------	---------------	--------------------------------

## (6) 自己注射

項目名	項目値	備考
オーダー番号	12345678	
版数	01	
依頼日	2007-08-21	
依頼医	山田太郎(123456)	
依頼科	内科(01)	
入外区分	入院(I)	
処方区分	退院院内処方	
Rp1	Rp番号	01
	薬剤	ノボリンN注フレックスペン 300単位 (115623201)
	1回用量(日)	14単位-10単位 (24単位)
	用法	朝-夕(不均等)
	開始日	2007-08-25
	投与期間	12日分

MSH|...<CR>

PID|...<CR>

ORC|NW|12345678\_01||12345678\_01\_01|||||20070821|||123456^山田^太郎^^^^^^L^^^^^I^^ヤマダ^タロ  
ウ^^^^^^L^^^^^P|||||01^内科^MML0028|||||||I^入院患者オーダー^HL70482<CR>

RXE||115623201^ノボリンN注フレックスペン 300単位^HOT9|10|14|UNT^単位^MR9P||DCG^退院処方  
^MR9P~OHI^院内処方^MR9P|||288|UNT^単位^MR9P|||||||24||DVD^14-10^MR9P<CR>

TQ1|||PCM&朝食後&HL70335~PCV&夕食後&HL70335|||12^D|20070825<CR>

RXR|IM^筋肉内^HL70162<CR>

<EOM>

### ■ ORCセグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	オーダー制御	NW	
2	依頼者オーダー番号	12345678_01	オーダー番号_版数
4	依頼者グループ番号	12345678_01_01	オーダー番号_版数_Rp 番号
9	トランザクション日時	20070821	依頼日時
12	オーダー発行者	123456^山田^太郎^^^^^^L^^^^^I^^ヤマダ^タロ ウ^^^^^^L^^^^^P	依頼医
17	入力組織	01^内科^MML0028	依頼科
29	オーダータイプ	I^入院患者オーダー^HL70482	入外区分

### ■ RXE セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	与薬コード	115623201^ノボリンN注フレックスペン 300単位 ^HOT9	薬剤コード
3	与薬量-最小	10	1回の与薬量
4	与薬量-最大	14	
5	与薬単位	UNT^単位^MR9P	RXE-3 の単位コードと名称
7	依頼者の投薬指示	DCG^退院処方^MR9P~OHI^院内処方^MR9P	
10	調剤量	288	薬品の総量
11	調剤単位	UNT^単位^MR9P	RXE-10 で指定した総量の単位コ ードと名称
19	1日あたりの総投与量	24	一日当たりの総投与量

21	薬剤部門/治療部門 による特別な調剤指 示	DVD^14-10^MR9P	薬品コメント、処方箋コメント、処 方種別
----	-----------------------------	----------------	-------------------------

■ TQ1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
3	繰返しパターン	PCM&朝食後&HL70335~PCV&夕食後&HL70335	用法を表すコードとその名称
6	サービス期間	12^D	薬剤の与薬日数・回数
7	開始日時	20070825	投薬開始日時

■ RXR セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	経路	IM^筋肉内^HL70162	指示された投与経路

## (7) 頓服薬

項目名	項目値	備考
オーダ番号	12345678	
版数	01	
依頼日	2007-08-21	
依頼医	山田太郎(123456)	
依頼科	内科(01)	
入外区分	外来(O)	
処方区分	外来院内処方	
Rp1	Rp番号	01
	薬剤	ボルタレン錠(25g)
	1回用量(日)	1錠 (2錠)
	用法	疼痛時
	開始日	2007-08-25
	投与期間	5日分(10回分)

MSH|...<CR>

PID|...<CR>

ORC|NW|12345678\_01||12345678\_01\_01|||||20070821|||123456山田太郎^^^^^^L^^^^^^|^^ヤマダタロウ^^^^^^L^^^^^^P|||||01^内科^MML0028|||||||0^外来患者オーダ^HL70482<CR>

RXE||100795402^ボルタレン錠 25mg^HOT9|1|TAB^錠^MR9P||OHP^外来処方^MR9P^OHI^院内処方^MR9P|||10|TAB^錠^MR9P|||||||2<CR>

TQ1|||PRNpain^疼痛時^HL70335|||20070825|||1日2回まで<CR>

RXR|P0^口^HL70162<CR>

<EOM>

### ■ ORCセグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	オーダ制御	NW	
2	依頼者オーダ番号	12345678_01	オーダ番号_版数
4	依頼者グループ番号	12345678_01_01	オーダ番号_版数_Rp 番号
9	トランザクション日時	20070821	依頼日時
12	オーダ発行者	123456山田太郎^^^^^^L^^^^^^ ^^ヤマダタロウ^^^^^^L^^^^^^P	依頼医
17	入力組織	01^内科^MML0028	依頼科
29	オーダタイプ	O^外来患者オーダ^HL70482	入外区分

### ■ RXE セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	与薬コード	100795402^ボルタレン錠 25mg^HOT9	薬剤コード
3	与薬量-最小	1	内用薬と頓服薬の場合は1回の与薬量、外用薬の場合は全量
4	与薬量-最大		
5	与薬単位	TAB^錠^MR9P	RXE-3 の単位コードと名称
7	依頼者の投薬指示	OHP^外来処方^MR9P^OHI^院内処方^MR9P	
10	調剤量	10	薬品の総量

11	調剤単位	TAB <sup>錠</sup> MR9P	RXE-10 で指定した総量の単位コードと名称
19	1日あたりの総投与量	2	一日あたりの総投与量

■ TQ1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
3	繰返しパターン	PRN <sup>pain</sup> <sup>疼痛時</sup> HL70335	用法を表すコードとその名称
6	サービス期間		薬剤の与薬日数・回数
7	開始日時	20070825	投薬開始日時
11	テキスト指令	1日2回まで	用法に関するコメント(用法コメント)など、Rpごとのコメント

■ RXR セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	経路	PO <sup>口</sup> HL70162	指示された投与経路

### (8) 漸増(漸減)投与

項目名		項目値	備考
オーダ番号		12345678	
版数		01	
依頼日		2007-08-21	
依頼医		山田太郎(123456)	
依頼科		内科(01)	
入外区分		外来(O)	
処方区分		外来院内処方	
Rp1	Rp番号	01	
	薬剤	ペルマックス錠 50 $\mu$ g (101230901)	
	1回用量(日)	1錠 (1錠)	
	用法	1日1回夕食直後	
	開始日	2007-08-25	
	投与期間	2日分	
Rp2	Rp番号	02	
	薬剤	ペルマックス錠 50 $\mu$ g (101230901)	
	1日用量	2錠 (4錠)	
	用法	1日2回朝夕食直後	
	開始日	2007-08-27	
	投与期間	3日分	
Rp3	Rp番号	03	
	薬剤	ペルマックス錠 50 $\mu$ g (101230901)	
	1日用量	3錠 (9錠)	
	用法	1日3回毎食直後	
	開始日	2007-08-30	
	投与期間	2日分	

MSH|...<CR>

PID|...<CR>

ORC|NW|12345678\_01||12345678\_01\_01|||||20070821|||123456^山田^太郎^^^^^^L^^^^^|^ヤマダ^タロ  
ウ^^^^^^L^^^^^P|||||01^内科^MML0028|||||||^入院患者オーダ^HL70482<CR>

RXE||101230901^ペルマックス錠 50 $\mu$ g ^HOT9|1||TAB^錠^MR9P||IHP^入院処方^MR9P~OHI^院内処方  
^MR9P|||1|TAB^錠^MR9P|||||||1<CR>

TQ1||PCV&夕食後&HL70335||2^D|20070825<CR>

RXR|PO^ロ^HL70162<CR>

ORC|NW|12345678\_01||12345678\_01\_02|||||20070821|||123456^山田^太郎^^^^^^L^^^^^|^ヤマダ^タロ  
ウ^^^^^^L^^^^^P|||||01^内科^MML0028|||||||^入院患者オーダ^HL70482<CR>

RXE||101230901^ペルマックス錠 50 $\mu$ g ^HOT9|2||TAB^錠^MR9P||IHP^入院処方^MR9P~OHI^院内処方  
^MR9P|||12|TAB^錠^MR9P|||||||4<CR>

TQ1||PCM&朝食後&HL70335~PCV&夕食後&HL70335||3^D|20070828<CR>

RXR|PO^ロ^HL70162<CR>

ORC|NW|12345678\_01||12345678\_01\_03|||||20070821|||123456^山田^太郎^^^^^^L^^^^^|^ヤマダ^タロ  
ウ^^^^^^L^^^^^P|||||01^内科^MML0028|||||||^入院患者オーダ^HL70482<CR>

RXE||101230901^ペルマックス錠 50 $\mu$ g ^HOT9|3||TAB^錠^MR9P||IHP^入院処方^MR9P~OHI^院内処方  
^MR9P|||9|TAB^錠^MR9P|||||||18<CR>

TQ1||PCM&朝食後&HL70335~PCD&昼食後&HL70335~PCV&夕食後&HL70335||2^D|20070830<CR>

RXR|PO^口^HL70162<CR>  
<EOM>

■ ORCセグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	オーダ制御	NW	
2	依頼者オーダ番号	12345678_01	オーダ番号_版数
4	依頼者グループ番号	12345678_01_01	オーダ番号_版数_R番号
9	トランザクション日時	20070821	依頼日時
12	オーダ発行者	123456^山田^太郎^^^^^^L^^^^I^^ヤマダ^タロウ ^^^^^^L^^^^P	依頼医
17	入力組織	01^内科^MML0028	依頼科
29	オーダタイプ	I^入院患者オーダ^HL70482	入外区分

■ RXE セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	与薬コード	101230901^ペルマックス錠50μg^HOT9	薬剤コード
3	与薬量-最小	1	1回の与薬量
5	与薬単位	TAB^錠^MR9P	RXE-3の単位コードと名称
7	依頼者の投薬指示	IHP^入院処方^MR9P~OHI^院内処方^MR9P	
10	調剤量	1	薬品の総量
11	調剤単位	TAB^錠^MR9P	RXE-10で指定した総量の単位コードと名称
19	1日あたりの総投与量	1	一日あたりの総投与量

■ TQ1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
3	繰返しパターン	PCV&夕食後&HL70335	用法を表すコードとその名称
6	サービス期間	2^D	薬剤の与薬日数・回数
7	開始日時	20070825	投薬開始日時

■ RXR セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	経路	PO^口^HL70162	指示された投与経路

■ ORCセグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	オーダ制御	NW	
2	依頼者オーダ番号	12345678_01	オーダ番号_版数
4	依頼者グループ番号	12345678_01_02	オーダ番号_版数_Rp番号
9	トランザクション日時	20070821	依頼日時
12	オーダ発行者	123456^山田^太郎^^^^^^L^^^^I^^ヤマダ^タロウ ^^^^^^L^^^^P	依頼医
17	入力組織	01^内科^MML0028	依頼科
29	オーダタイプ	I^入院患者オーダ^HL70482	入外区分

■ RXE セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	与薬コード	101230901^ペルマックス錠50μg^HOT9	薬剤コード
3	与薬量-最小	2	1回の与薬量
5	与薬単位	TAB^錠^MR9P	RXE-3の単位コードと名称

7	依頼者の投薬指示	IHP^入院処方^MR9P~OHI^院内処方^MR9P	
10	調剂量	12	薬品の総量
11	調剤単位	TAB^錠^MR9P	RXE-10 で指定した総量の単位コードと名称
19	1日あたりの総投与量	4	内服薬の場合、一日あたりの総投与量

■ TQ1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
3	繰返しパターン	PCM&朝食後&HL70335~PCV&夕食後&HL70335	用法を表すコードとその名称
6	サービス期間	3^D	薬剤の与薬日数・回数
7	開始日時	20070828	投薬開始日時

■ RXR セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	経路	PO^口^HL70162	指示された投与経路

■ ORCセグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	オーダー制御	NW	
2	依頼者オーダー番号	12345678_01	オーダー番号_版数
4	依頼者グループ番号	12345678_01_03	オーダー番号_版数_Rp 番号
9	トランザクション日時	20070821	依頼日時
12	オーダー発行者	123456^山田^太郎^^^^^^L^^^^I^ヤマダ^タロウ ^^^^^^L^^^^P	依頼医
15	オーダー有効日時		処方せん受付日時
17	入力組織	01^内科^MML0028	依頼科
18	入力装置		端末 ID
19	実施者		更新者
21	オーダー施設名		医療機関 ID
29	オーダータイプ	I^入院患者オーダー^HL70482	入外区分

■ RXE セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	与薬コード	101230901^ペルマックス錠50μg^HOT9	薬剤コード
3	与薬量-最小	3	1 回の与薬量
5	与薬単位	TAB^錠^MR9P	RXE-3 の単位コードと名称
10	調剂量	9	薬品の総量
11	調剤単位	TAB^錠^MR9P	RXE-10 で指定した総量の単位コードと名称
19	1日あたりの総投与量	18	一日あたりの総投与量

■ TQ1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
3	繰返しパターン	PCM&朝食後&HL70335~PCD&昼食後&HL70335~PCV&夕食後&HL70335	用法を表すコードとその名称
6	サービス期間	2^D	薬剤の与薬日数・回数
7	開始日時	20070830	投薬開始日時

■ RXR セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	経路	PO^口^HL70162	指示された投与経路

## (9) 隔日投与

項目名	項目値	備考
オーダ番号	12345678	
版数	01	
依頼日時	2007-08-21 11:43:23	
依頼医/入力者	山田太郎(123456)	
依頼科	内科(01)	
入外区分	外来(O)	
処方区分	外来院内処方	
Rp1	Rp番号	01
	薬剤	プレドニン錠 5mg (105271807)
	1日用量	3錠
	用法	1日1回朝食後(隔日)
	開始日	2007-08-25
	投与期間	7日分(14日間)

MSH|...<CR>

PID|...<CR>

ORC|NW|12345678\_01||12345678\_01\_01|||||20070821114323|123456^山田^太郎^^^^^^L^^^^^^|^ヤマダ^  
 タロウ^^^^^^L^^^^^^P||123456^山田^太郎^^^^^^L^^^^^^|^ヤマダ^タロウ^^^^^^L^^^^^^P|||||01^内科  
 ^L|||||||0^外来患者オーダ^HL70482<CR>

RXE||105271807^プレドニン錠 5mg ^HOT9|3||TAB^錠^MR9P|||||21|TAB^錠^MR9P|||||||3||OHP^外来処  
 方^MR9P^OHI^院内処方^MR9P<CR>

TQ1|||PCM&朝食後&HL70335~Q2D&隔日&HL70335|||14^D|20070825|||||||7<CR>

RXR|PO^ロ^HL70162<CR>

<EOM>

### ■ ORCセグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	オーダ制御	NW	
2	依頼者オーダ番号	12345678_01	オーダ番号_版数
4	依頼者グループ番号	12345678_01_01	オーダ番号_版数_Rp 番号
9	トランザクション日時	20070821114323	依頼日時
10	入力者	123456^山田^太郎^^^^^^L^^^^^^ ^ヤマダ^タロウ ^^^^^^L^^^^^^P	入力者
12	オーダ発行者	123456^山田^太郎^^^^^^L^^^^^^ ^ヤマダ^タロウ ^^^^^^L^^^^^^P	依頼者
17	入力組織	01^内科^L	依頼科
29	オーダタイプ	O^外来患者オーダ^HL70482	入外区分

### ■ RXEセグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	与薬コード	105271807^プレドニン錠5mg^HOT9	薬剤コードとその名称
3	与薬量-最小	3	1回の投与量
5	与薬単位	TAB^錠^MR9P	RXE-3の単位コードと名称
10	調剤量	21	指示した薬品の総量
11	調剤単位	TAB^錠^MR9P	RXE-10の単位コードと名称

19	1日あたりの総投与量	3	1日の投与量
21	薬剤部門/治療部門による特別な調剤指示	OHP^外来処方^MR9P~OHI^院内処方^MR9P	処方区分、薬品コメント、処方箋コメント

■ TQ1セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
3	繰返しパターン	PCM&朝食後&HL70335~Q2D&隔日&HL70335	用法を表すコードとその名称
6	サービス期間	14^D	薬剤の投与日数・回数
7	開始日時	20070825	投与開始日時
14	総発生	7	投与の総回数

■ RXRセグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	経路	PO^口^HL70162	指示された投与経路

## (10) 不均等投与

項目名	項目値	備考
オーダー番号	12345678	
版数	01	
依頼日時	2007-08-21 11:43:23	
依頼医/入力者	山田太郎(123456)	
依頼科	内科(01)	
入外区分	外来(O)	
処方区分	外来院内処方	
Rp1	Rp番号	01
	薬剤	プレドニン錠 5mg (105271807)
	1日用量	7錠 (4錠 - 2錠 - 1錠)
	用法	1日3回毎食後 (不均等)
	開始日	2007-08-25
	投与期間	7日分

MSH|...<CR>

PID|...<CR>

ORC|NW|12345678\_01||12345678\_01\_01|||||20070821114323|123456^山田^太郎^^^^^^L^^^^^^|^ヤマダ^  
 タロウ^^^^^^L^^^^^^P||123456^山田^太郎^^^^^^L^^^^^^|^ヤマダ^タロウ^^^^^^L^^^^^^P|||||01^内科  
 ^L|||||||O^外来患者オーダー^HL70482<CR>

RXE||105271807^プレドニン錠 5mg ^HOT9|1|4|TAB^錠^MR9P|||||49|TAB^錠^MR9P|||||||7|^OHP^外来  
 処方^MR9P^OHI^院内処方^MR9P^DVD^4-2-1^MR9P<CR>

TQ1||TID& 1日3回&HL70335^PC&毎食後&HL70335|||7^D|20070825|||||||21<CR>

RXR|PO^ロ^HL70162<CR>

<EOM>

### ■ ORCセグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	オーダー制御	NW	
2	依頼者オーダー番号	12345678_01	オーダー番号_版数
4	依頼者グループ番号	12345678_01_01	オーダー番号_版数_Rp 番号
9	トランザクション日時	20070821114323	依頼日時
10	入力者	123456^山田^太郎^^^^^^L^^^^^^ ^ヤマダ^タロウ ^^^^^^L^^^^^^P	入力者
12	オーダー発行者	123456^山田^太郎^^^^^^L^^^^^^ ^ヤマダ^タロウ ^^^^^^L^^^^^^P	依頼者
17	入力組織	01^内科^L	依頼科
29	オーダータイプ	O^外来患者オーダー^HL70482	入外区分

### ■ RXEセグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	与薬コード	105271807^プレドニン錠5mg^HOT9	薬剤コードとその名称
3	与薬量-最小	1	1回の投与量(最小値)
4	与薬量-最大	4	1回の投与量(最大値)
5	与薬単位	TAB^錠^MR9P	RXE-3の単位コードと名称
10	調剤量	49	指示した薬品の総量
11	調剤単位	TAB^錠^MR9P	RXE-10の単位コードと名称

19	1日あたりの総投与量	7	1日の投与量
21	薬剤部門/治療部門による特別な調剤指示	OHP^外来処方^MR9P~OHI^院内処方 ^MR9P~DVD^4-2-1^MR9P	処方区分、薬品コメント、処方箋コメント

■ TQ1セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
3	繰返しパターン	TID&1日3回&HL70335~PC&毎食後&HL70335	用法を表すコードとその名称
6	サービス期間	7^D	薬剤の投与日数・回数
7	開始日時	20070825	投与開始日時
14	総発生	21	投与の総回数

■ RXRセグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	経路	PO^口^HL70162	指示された投与経路

( 1 1 ) 交互投与

項目名	項目値	備考
オーダー番号	12345678	
版数	01	
依頼日時	2007-08-21 11:43:23	
依頼医/入力者	山田太郎(123456)	
依頼科	内科(01)	
入外区分	外来(O)	
処方区分	外来院内処方	
Rp1	Rp番号	01
	薬剤	プレドニン錠 5 m g (105271807)
	1日用量	3錠
	用法	1日1回朝食後(隔日)
	開始日	2000-08-25
	投与期間	7日分(14日間)
Rp2	Rp番号	02
	薬剤	プレドニン錠 5 m g (105271807)
	1日用量	1錠
	用法	1日1回朝食後(隔日)
	開始日	2007-08-26
	投与期間	7日分(14日間)

```

MSH|...<CR>
PID|...<CR>
ORC|NW|12345678_01||12345678_01_01|||||20070821114323|123456^山田^太郎^^^^^^L^^^^^I^^ヤマダ^
タロウ^^^^^^L^^^^^P||123456^山田^太郎^^^^^^L^^^^^I^^ヤマダ^タロウ^^^^^^L^^^^^P|||||01^内科
^L|||||||0^外来患者オーダー^HL70482<CR>
RXE||105271807^プレドニン錠 5 m g ^HOT9|3||TAB^錠^MR9P|||||21|TAB^錠^MR9P||||||3||OHP^外来処
方^MR9P~OHI^院内処方^MR9P<CR>
TQ1|||PCM&朝食後&HL70335~Q2D&隔日&HL70335|||14^D|20070825||||||7<CR>
RXR|PO^ロ^HL70162<CR>
ORC|NW|12345678_01||12345678_01_02|||||20070821114323|123456^山田^太郎^^^^^^L^^^^^I^^ヤマダ^
タロウ^^^^^^L^^^^^P||123456^山田^太郎^^^^^^L^^^^^I^^ヤマダ^タロウ^^^^^^L^^^^^P|||||01^内科
^L|||||||0^外来患者オーダー^HL70482<CR>
RXE||105271807^プレドニン錠 5 m g ^HOT9|1||TAB^錠^MR9P|||||7|TAB^錠^MR9P||||||1||OHP^外来処
方^MR9P~OHI^院内処方^MR9P<CR>
TQ1|||PCM&朝食後&HL70335~Q2D&隔日&HL70335|||14^D|20000826||||||7<CR>
RXR|PO^ロ^HL70162<CR>
<EOM>

```

■ ORCセグメント (Rp1 プレドニン錠)

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	オーダー制御	NW	
2	依頼者オーダー番号	12345678_01	オーダー番号_版数
4	依頼者グループ番号	12345678_01_01	オーダー番号_版数_Rp 番号
9	トランザクション日時	20070821114323	依頼日時
10	入力者	123456^山田^太郎^^^^^^L^^^^^I^^ヤマダ^タロウ ^^^^^^L^^^^^P	入力者

12	オーダ発行者	123456^山田^太郎^^^^^^L^^^^I^^ヤマダ^タロウ ^^^^L^^^^P	依頼者
17	入力組織	01^内科^L	依頼科
29	オーダタイプ	O^外来患者オーダ^HL70482	入外区分

■ RXEセグメント (Rp1 プレドニン錠)

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	与薬コード	105271807^プレドニン錠5mg^HOT9	薬剤コードとその名称
3	与薬量-最小	3	1回の投与量(最小値)
5	与薬単位	TAB^錠^MR9P	RXE-3の単位コードと名称
10	調剤量	21	指示した薬品の総量
11	調剤単位	TAB^錠^MR9P	RXE-10の単位コードと名称
19	1日あたりの総投与量	3	1日の投与量
21	薬剤部門/治療部門による特別な調剤指示	OHP^外来処方^MR9P~OHI^院内処方^MR9P	処方区分、薬品コメント、処方箋コメント

■ TQ1セグメント (Rp1 プレドニン錠)

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
3	繰返しパターン	PCM&朝食後&HL70335~Q2D&隔日&HL70335	用法を表すコードとその名称
6	サービス期間	14^D	薬剤の投与日数・回数
7	開始日時	20070825	投与開始日時
14	総発生	7	投与の総回数

■ RXRセグメント (Rp1 プレドニン錠)

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	経路	PO^口^HL70162	指示された投与経路

■ ORCセグメント (Rp2 プレドニン錠)

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	オーダ制御	NW	
2	依頼者オーダ番号	12345678.01	オーダ番号_版数
4	依頼者グループ番号	12345678.01.02	オーダ番号_版数_Rp_番号
9	トランザクション日時	20070821114323	依頼日時
10	入力者	123456^山田^太郎^^^^^^L^^^^I^^ヤマダ^タロウ ^^^^L^^^^P	入力者
12	オーダ発行者	123456^山田^太郎^^^^^^L^^^^I^^ヤマダ^タロウ ^^^^L^^^^P	依頼者
17	入力組織	01^内科^L	依頼科
29	オーダタイプ	O^外来患者オーダ^HL70482	入外区分

■ RXEセグメント (Rp2 プレドニン錠)

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	与薬コード	105271807^プレドニン錠5mg^HOT9	薬剤コード
3	与薬量-最小	1	1回の投与量(最小値)
5	与薬単位	TAB^錠^MR9P	RXE-3の単位コードと名称
10	調剤量	7	指示した薬品の総量
11	調剤単位	TAB^錠^MR9P	RXE-10の単位コードと名称
19	1日あたりの総投与量	1	1日の投与量
21	薬剤部門/治療部門による特別な調剤指示	OHP^外来処方^MR9P~OHI^院内処方^MR9P	処方区分、薬品コメント、処方箋コメント

■ TQ1セグメント (Rp2 プレドニン錠)

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
3	繰返しパターン	PCM&朝食後&HL70335~Q2D&隔日&HL70335	用法を表すコードとその名称
6	サービス期間	14^D	薬剤の投与日数・回数
7	開始日時	20000826	投与開始日時
14	総発生	7	投与の総回数

■ RXRセグメント (Rp2 プレドニン錠)

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	経路	PO^口^HL70162	指示された投与経路

### (A-1) 患者情報の照会

項目名	項目値	備考
照会条件	患者ID : 2581159	受信レコード件数 : 最大99件
QPD-3	2581159	患者リスト

MSH|...<CR>

QPD|Z01^Patient Query Sample^L|Q001|2581159<CR>

RCP||99^RD&レコード&HL70126|R^リアルタイム^HL70394<CR>

<EOM>

#### ■ QPD セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	メッセージ 照会名	Z01^Patient Query Sample^L	照会名
2	照会 タグ	Q001	応答と照会を突合する識別子
3	患者リスト	2581159	

#### ■ RCP セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	照会優先度	I	応答が期待されるタイムフレーム
2	数量制限要求	99^RD&レコード&HL70126	受け入れられる応答の最大長
3	応答様式	R^リアルタイム^HL70394	応答メッセージのタイミングとグルーピング

## (A-2) 患者情報の応答

項目名	項目値	備考
依頼日時	20070821114323	
患者ID	2581159	
患者氏名	山田太郎	
性別	男	
生年月日	19700101	

MSH|...<CR>

MSA|AA|8332<CR>

QAK|Q001|OK|Z01^Patient Query Sample^L|1<CR>

QPD|Z01^Patient Query Sample^L|Q001|2581159<CR>

PID|||2581159^^^PI||山田^太郎^^^L^I^ヤマダ^タロウ^^^L^P||19700101|M<CR>

PV1|||E02^21^^^N|||123456^山田^二郎^^^L^^^I^^ヤマダ^ジロウ^^^L^^^P<CR>  
<EOM>

### ■ QAK セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	照会タグ	Q001	照会識別子
2	照会応答状態	OK	応答状態
3	メッセージ照会名	Z01^Patient Query Sample^L	照会名
4	ヒットカウント合計	4	ヒットしたレコードの合計

### ■ QPD セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	メッセージ 照会名	Z01^Patient Query Sample^L	照会名
2	照会タグ	Q001	
3	患者 ID リスト	2581159	

### ■ PIDセグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
3	患者 ID リスト	2581159^^^PI	10 バイト以内
5	患者氏名	山田^太郎^^^L^I^ヤマダ^タロウ^^^L^P	第 7 成分(名前タイプコード)と第 8 成分(名前表示コード)は必須。
7	生年月日	19700101	年は西暦
8	性別	M	性別

### ■ PV1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	患者クラス	I	入外区分
3	患者所在場所	E02^21^^^N	E02 病棟 21 病室
7	主治医	123456^山田^二郎^^^L^^^I^^ヤマダ^ジロウ^^^L^^^P	

## (B-1) 処方依頼情報照会メッセージ

項目名	項目値	備考
照会条件	照会期間 : 2007年8月15日~2007年8月25日	受信レコード件数 : 最大99件
QPD-8	20070815	調剤日付.LL
QPD-9	20070825	調剤日付.UL

MSH|...<CR>

QPD|Z01^Pharmacy Query Sample^L|Q002|||||20070815|20070825<CR>

RCP||99^RD&レコード&HL70126|R^リアルタイム^HL70394<CR>

<EOM>

### ■ QPD セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	メッセージ 照会名	Z01^Pharmacy Query Sample^L	照会名
2	照会 タグ	Q002	応答と照会を突合する識別子
8	調剤日付.LL	20070815	調剤日時の最も早い値
9	調剤日付.UL	20070825	調剤日時の最も遅い値

### ■ RCP セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	照会優先度	I	応答が期待されるタイムフレーム
2	数量制限要求	99^RD&レコード&HL70126	受け入れられる応答の最大長
3	応答様式	R^リアルタイム^HL70394	応答メッセージのタイミングとグルーピング

**(B-2) 処方依頼情報応答メッセージ**

項目名		項目値	備考
オーダ番号		12345678	
版数		1	
依頼日時		20070821114323	
依頼医／入力者		山田二郎(123456)	
依頼科		内科(01)	
入外区分		外来(O)	
処方区分		外来院内処方	
処方箋受付日時		20070821103025	
Rp1	Rp番号	01	
	薬剤	ダーゼン錠 (5mg)(10866501)	
	1日用量	3錠	
	用法	1日3回 毎食後	
	開始日	2007-08-21	
	投与期間	3日分	
Rp2	Rp番号	02	
	薬剤	パンスポリンT錠 (100mg)(110626901)	
	1日用量	6錠	
	用法	1日3回 毎食後	
	開始日	2007-08-21	
	投与期間	3日分	
オーダ番号		23456789	
版数		1	
依頼日時		20070825114323	
依頼医／入力者		山田二郎(123456)	
依頼科		内科(01)	
入外区分		外来(O)	
処方区分		外来院内処方	
処方箋受付日時		20070825103025	
Rp1	Rp番号	01	
	薬剤	アレピアチン10倍散(100607002)	
	1日用量	100mg	
	用法	1日2回 朝夕食後	
	開始日	2007-08-25	
	投与期間	14日分	
Rp2	Rp番号	02	
	薬剤	フェノバルビタール10倍散(100565305)	
	1日用量	100mg	
	用法	1日2回 朝夕食後	
	開始日	2007-08-25	
	投与期間	14日分	

MSH|...<CR>  
MSA|AA|8332<CR>  
QAK|Q002|OK|Z01^Pharmacy Query Sample^L|4<CR>  
QPD|Z01^Pharmacy Query Sample^L|Q002|20070815|20070825<CR>  
PID|1||2581159^PI||山田^太郎^L|^ヤマダ^タロウ^L^P||19700101|M<CR>  
ORC|RE|12345678\_01||12345678\_01\_01||20070821114323|123456^山田^二郎^L|^ヤマダ^ジロウ^L^P||123456^山田^二郎^L|^ヤマダ^ジロウ^L^P||20070821103025||01^内科^L|||0^外来患者オーダ^HL70482<CR>  
RXE||10866501^ダーゼン錠(5mg)^HOT9|1|TAB^錠^MR9P|||9|TAB^錠^MR9P|||3^TAB||OHP^外来処方^MR9P^OHI^院内処方^MR9P<CR>  
TQ1||TID&1日3回&HL70335~PC&食後&HL70335||3^D|20070821<CR>  
RXR|PO^ロ^HL70162<CR>  
ORC|RE|12345678\_01||12345678\_01\_02||20070821114323|123456^山田^二郎^L|^ヤマダ^ジロウ^L^P||123456^山田^二郎^L|^ヤマダ^ジロウ^L^P||20070821103025||01^内科^L|||0^外来患者オーダ^HL70482<CR>  
RXE||110626901^パンスポリンT錠(100mg)^HOT9|2|TAB^錠^MR9P|||18|TAB^錠^MR9P|||6^TAB||OHP^外来処方^MR9P^OHI^院内処方^MR9P<CR>  
TQ1||TID&1日3回&HL70335~PC&食後&HL70335||3^D|20070821<CR>  
RXR|PO^ロ^HL70162<CR>  
PID|2||3656328^PI||患者^太郎^L|^カンジャ^タロウ^L^P||19851229|M<CR>  
ORC|RE|23456789\_01||23456789\_01\_01||20070825114323|123456^山田^二郎^L|^ヤマダ^ジロウ^L^P||123456^山田^二郎^L|^ヤマダ^ジロウ^L^P||20070825103025||01^内科^L|||0^外来患者オーダ^HL70482<CR>  
RXE||100607002^アレピアチン10倍散^HOT9|50|MG^ミリグラム^MR9P|PWD^散剤^MR9P|||1400|MG^ミリグラム^MR9P|||100^MG||OHP^外来処方^MR9P^OHI^院内処方^MR9P<CR>  
TQ1||BID&1日2回&HL70335~PCM&朝食後&HL70335~PCV&夕食後&HL70335||14^D|20070825<CR>  
RXR|PO^ロ^HL70162<CR>  
ORC|RE|23456789\_01||23456789\_01\_02||20070825114323|123456^山田^二郎^L|^ヤマダ^ジロウ^L^P||123456^山田^二郎^L|^ヤマダ^ジロウ^L^P||20070825103025||01^内科^L|||0^外来患者オーダ^HL70482<CR>  
RXE||100565305^フェノバルビタール10倍散^HOT9|50|MG^ミリグラム^MR9P|PWD^散剤^MR9P|||1400|MG^ミリグラム^MR9P|||100^MG||OHP^外来処方^MR9P^OHI^院内処方^MR9P<CR>  
TQ1||BID&1日2回&HL70335~PCM&朝食後&HL70335~PCV&夕食後&HL70335||14^D|20070825<CR>  
RXR|PO^ロ^HL70162<CR>  
<EOM>

■ MSAセグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	肯定応答コード	AA	肯定応答コード
2	メッセージ制御 ID	8332	メッセージ制御 ID

■ QAK セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	照会タグ	Q002	照会識別子
2	照会応答状態	OK	応答状態
3	メッセージ照会名	Z01^Pharmacy Query Sample^L	照会名
4	ヒットカウント合計	4	ヒットしたレコードの合計

■ QPD セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	メッセージ照会名	Z01^Pharmacy Query Sample^L	照会名
2	照会タグ	Q002	
8	調剤日付.LL	20070815	調剤日時の最も早い値

9	調剤日付.UL	20070825	調剤日時の最も遅い値
---	---------	----------	------------

■ PIDセグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	セット ID- PID	1	
3	患者 ID リスト	2581159^^^PI	10 バイト以内
5	患者氏名	山田^太郎^^^^L^I^ヤマダ^タロウ^^^^L^P	第7成分(名前タイプコード)と第8成分(名前表示コード)は必須
7	生年月日	19700101	年は西暦
8	性別	M	性別

■ ORCセグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	オーダ制御	RE	
2	依頼者オーダ番号	12345678_01	オーダ番号_版数
4	依頼者グループ番号	12345678_01_01	オーダ番号_版数_Rp 番号
9	トランザクション日時	20070821114323	依頼日時
10	入力者	123456^山田^二郎^^^^L^^^^I^ヤマダ^ジロウ^^^^L^^^^P	入力者
12	オーダ発行者	123456^山田^二郎^^^^L^^^^I^ヤマダ^ジロウ^^^^L^^^^P	依頼者
15	オーダ有効日時	20070821103025	処方箋受付日時
17	入力組織	01^内科^L	依頼科
29	オーダタイプ	O^外来患者オーダ^HL70482	入外区分

■ RXE セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	投与コード	10866501^ダーゼン錠(5mg)^HOT9	薬剤コードとその名称
3	投与量-最小	1	1 回の投与量
5	投与単位	TAB^錠^MR9P	RXE-3 の単位コードと名称
10	調剤量	9	指示した薬品の総量
11	調剤単位	TAB^錠^MR9P	RXE-10 の単位コードと名称
19	1 日あたりの総投与量	3^TAB	1 日の投与量
21	薬剤部門/治療部門による特別な調剤指示	OHP^外来処方^MR9P~OHI^院内処方^MR9P	処方区分、薬品コメント、処方箋コメント

■ TQ1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
3	繰返しパターン	TID&1日3回&HL70335~PC&食後&HL70335	用法を表すコードとその名称
6	サービス期間	3^D	薬剤の投与日数・回数
7	開始日時	20070821	投与開始日時

■ RXR セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	経路	PO^口^HL70162	指示された投与経路

■ ORCセグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	オーダ制御	RE	
2	依頼者オーダ番号	12345678_01	オーダ番号_版数
4	依頼者グループ番号	12345678_01_02	オーダ番号_版数_Rp 番号

9	トランザクション日時	20070821114323	依頼日時
10	入力者	123456^山田^二郎^^^^^^L^^^^I^^ヤマダ^ジロウ^^^^^^L^^^^P	入力者
12	オーダ発行者	123456^山田^二郎^^^^^^L^^^^I^^ヤマダ^ジロウ^^^^^^L^^^^P	依頼者
15	オーダ有効日時	20070821103025	処方箋受付日時
17	入力組織	01^内科^L	依頼科
29	オーダタイプ	O^外来患者オーダ^HL70482	入外区分

■ RXE セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	投与コード	110626901^パンスポリンT錠(100mg)^HOT9	薬剤コードとその名称
3	投与量-最小	2	1回の投与量
5	投与単位	TAB^錠^MR9P	RXE-3の単位コードと名称
10	調剤量	18	指示した薬品の総量
11	調剤単位	TAB^錠^MR9P	RXE-10の単位コードと名称
19	1日あたりの総投与量	6^TAB	1日の投与量
21	薬剤部門/治療部門による特別な調剤指示	OHP^外来処方^MR9P~OHI^院内処方^MR9P	処方区分、薬品コメント、処方箋コメント

■ TQ1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
3	繰返しパターン	TID&1日3回&HL70335~PC&食後&HL70335	用法を表すコードとその名称
6	サービス期間	3^D	薬剤の投与日数・回数
7	開始日時	20070821	投与開始日時

■ PIDセグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	セット ID- PID	2	
3	患者 ID リスト	3656328^^^^PI	10バイト以内
5	患者氏名	患者^太郎^^^^L^I^カンジャ^タロウ^^^^L^P	第7成分(名前タイプコード)と第8成分(名前表示コード)は必須。
7	生年月日	19851229	年は西暦
8	性別	M	性別

■ ORCセグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	オーダ制御	RE	
2	依頼者オーダ番号	23456789_01	オーダ番号_版数
4	依頼者グループ番号	23456789_01_01	オーダ番号_版数_Rp 番号
9	トランザクション日時	20070825114323	依頼日時
10	入力者	123456^山田^二郎^^^^^^L^^^^I^^ヤマダ^ジロウ^^^^^^L^^^^P	入力者
12	オーダ発行者	123456^山田^二郎^^^^^^L^^^^I^^ヤマダ^ジロウ^^^^^^L^^^^P	依頼者
15	オーダ有効日時	20070825103025	処方箋受付日時
17	入力組織	01^内科^L	依頼科
29	オーダタイプ	O^外来患者オーダ^HL70482	入外区分

■ RXE セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	投与コード	100607002^アレピアチン10倍散^HOT9	薬剤コードとその名称

3	投与量-最小	50	1回の投与量
5	投与単位	MG^ミリグラム^MR9P	RXE-3の単位コードと名称
6	投与剤形	PWD^散剤^MR9P	与薬剤形
10	調剤量	1400	指示した薬品の総量
11	調剤単位	MG^ミリグラム^MR9P	RXE-10の単位コードと名称
19	1日あたりの総投与量	100^MG	1日の投与量
21	薬剤部門/治療部門による特別な調剤指示	OHP^外来処方^MR9P~OHI^院内処方^MR9P	処方区分、薬品コメント、処方箋コメント

■ TQ1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
3	繰返しパターン	BID&1日2回&HL70335~PCM&朝食後 &HL70335~PCV&夕食後&HL70335	用法を表すコードとその名称
6	サービス期間	14^D	薬剤の投与日数・回数
7	開始日時	20070825	投与開始日時

■ RXR セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	経路	PO^口^HL70162	指示された投与経路

■ ORCセグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	オーダ制御	RE	
2	依頼者オーダ番号	23456789_01	オーダ番号_版数
4	依頼者グループ番号	23456789_01_02	オーダ番号_版数_Rp 番号
9	トランザクション日時	20070825114323	依頼日時
10	入力者	123456^山田^二郎^~~~~~L^~~~~I^ヤマダ^ジロ ウ^~~~~~L^~~~~P	入力者
12	オーダ発行者	123456^山田^二郎^~~~~~L^~~~~I^ヤマダ^ジロ ウ^~~~~~L^~~~~P	依頼者
15	オーダ有効日時	20070825103025	処方箋受付日時
17	入力組織	01^内科^L	依頼科
29	オーダタイプ	O^外来患者オーダ^HL70482	入外区分

■ RXE セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	投与コード	100565305^フェノバルビタール10倍散^HOT9	薬剤コードとその名称
3	投与量-最小	50	1回の投与量
4	投与量-最大		
5	投与単位	MG^ミリグラム^MR9P	RXE-3の単位コードと名称
6	投与剤形	PWD^散剤^MR9P	与薬剤形
10	調剤量	1400	指示した薬品の総量
11	調剤単位	MG^ミリグラム^MR9P	RXE-10の単位コードと名称
19	1日あたりの総投与量	100^MG	1日の投与量
21	薬剤部門/治療部門による特別な調剤指示	OHP^外来処方^MR9P~OHI^院内処方^MR9P	処方区分、薬品コメント、処方箋コメント

■ TQ1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
3	繰返しパターン	BID&1日2回&HL70335~PCM&朝食後 &HL70335~PCV&夕食後&HL70335	用法を表すコードとその名称
6	サービス期間	14^D	薬剤の投与日数・回数

7	開始日時	20070825	投与開始日時
---	------	----------	--------

■ RXR セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	経路	PO^口^HL70162	指示された投与経路